

令和5年度 法人本部拠点区分事業報告書

1. 大東福祉会の経営状況について

今年度大東福祉会の経営状況について、一般企業の経常利益に相当する経常増減差額は、法人全体で前期比 4.0%減の 2,500 万円程となり 2 期連続の減益となった。主な要因としては、老人福祉部においてはコロナ禍からの利用率の低迷、子育て支援部では出生率低下に伴う入園児の減少、法人全体としては最低賃金の上昇や職員の処遇改善に伴う人件費の増加によるものである。

事業活動資金収支差額は、老人福祉部（大東苑、くにやす苑、小笠老人ホーム）では 960 万円程の黒字となった。子育て支援部（きとうこども園、おおさかこども園、ちはまこども園）については、前期比 119.6%増の 6,200 万円程の黒字となった。公定価格の改正による教育・保育給付費単価の上昇により、入園児減少による収入減を補う結果となった。

当法人の中長期経営計画での積立資産目標を、子育て支援部では 1 億 670 万円の積み立てにより達成できたが、老人福祉部では未達となった。今後、より一層の利用率の向上を図り、安定した経営を目指していく。

事業活動収入は、介護保険事業収入が前期比 0.6%増の 10 億 1,300 万円、老人福祉事業収入は前期比 3.7%減の 1 億 1,000 万円、保育事業収入は前期比 12.5%増の 5 億 7,500 万円となり、全体の事業活動収入は前期比 3.8%増の 17 億 2,900 万円となった。

事業活動支出は、全体で前期比 1.2%増の 16 億 5,900 万円、内訳は人件費が 12 億 6,200 万円と支出の大半を占めており、法人全体の事業活動人件費比率は 73.9%となり、前期より 0.7 ポイント上がっている。これは保育士等の賃金改善を図ったことによる増加が主な要因である。

サービスの質の向上を図りながら、地域の方により多く利用して頂くことで、持続可能な法人経営とすることが、地域貢献に繋がる。また、職員一人一人の生産性を上げることで、人件費の増加を補っていく。

2. 事業毎の総括について

令和5年度はコロナ感染対策を継続しつつ、それぞれの施設での行事等を通常活動に近づけていく施設運営を行った。今後も施設での感染対応を適切に実施し、利用者や地域住民から信頼される施設として福祉サービスの提供に努める。

子育て支援事業については、きとうこども園、おおさかこども園、ちはまこども園の利用率は、それぞれ 76.5%、65.4%、76.3%で出生率の低下により園児数が減少し、利用率が低下している。また、保育ニーズの変化により 1 号認定（教育時間）の利用率が、おおさかこども園、ちはまこども園共に 40%未満となった。現状に則した定員とするため、掛川市に 1 号認定児の利用定員の減少届を提出し受理された。

認定こども園事業については、当法人の 3 園目となるきとうこども園が開園し、安心・安全に園生活を送れるよう環境整備に細心の注意を払いながら、教育・保育を行った。

老人福祉事業については、くにやす苑の移転建て替えについて市長並びに市議会議長に移転用地提供等の要望書を提出した。くにやす苑の移転建設計画を作成し、早期に建て替えが実現できるよう移転用地の協議を市と行っていく。

当法人が指定管理を受けている小笠老人ホーム「小笠の郷」の指定管理については、小笠老人ホーム施設組合より令和 6 年 4 月から令和 11 年 3 月までの 5 年間の延長指定を受けた。安定経営を図るため施設組合と地域包括支援センターに働きかけ、入所対象者の掘り起こしの要望を行っていく。

老人福祉事業における各サービスの年間平均利用率等と目標利用率等を示す。

| | | | |
|--------|--------------------------|--------|-------------------------|
| 大東居宅 | 年間平均作成件数 278 件（目標 285） | 大東ヘルパー | 年間平均利用時間 389 時間（目標 455） |
| 大東デイ | 月間平均利用者数 41.2 人（目標 43 人） | なかよし | 月間平均利用者数 5.8 人（目標 8 人） |
| 大東ショート | 年間平均利用者数 11.2 人（目標 11 人） | 大東苑 | 年間平均利用率 95.2%（目標 98%） |
| くにやすデイ | 月間平均利用者数 20.9 人（目標 24 人） | | |

くにやすショート 月間平均利用者数 10.5 人（目標 13.6 人）

くにやす苑 年間平均利用率 95.8%（目標 98%） 小笠老人ホーム 年間平均利用率 78.0%（目標 94%）

大東福社会の経営理念に掲げる、教育の振興と地域福祉の推進をするために優秀な人材の確保と職員の育成及び組織の活性化を図ることで、国や掛川市の教育・福祉ニーズが的確に反映された質の高い福祉サービスを安定的に提供していく。

3. 理事会の開催について

（理事の定員 6 名、監事の定員 2 名）

令和 5 年 4 月 19 日（水）（出席理事数 6 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 1 号 令和 5 年度 大東苑空調熱源機設備更新工事について
- 2) 議案第 2 号 令和 5 年度 大東苑拠点区分積立金の取り崩しについて
- 3) 議案第 3 号 令和 5 年度 くにやす苑拠点区分積立金の取り崩しについて
- 4) 議案第 4 号 令和 5 年度社会福祉法人大東福社会 収入支出補正予算について
- 5) 議案第 5 号 社会福祉法人大東福社会 評議員会の開催について

令和 5 年 4 月 26 日（水）（出席理事数 6 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 6 号 令和 5 年度 大東苑空調熱源機設備更新工事に伴う業者選定について

令和 5 年 5 月 16 日（火）（出席理事数 6 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 7 号 令和 5 年度 大東苑空調熱源機設備更新工事業者選定に伴う入札結果について
- 2) 議案第 8 号 令和 5 年度 大東苑空調熱源機設備更新工事請負契約について
- 3) 議案第 9 号 社会福祉法人大東福社会 大東ヘルパーステーション運営規程(居宅介護及び重度訪問介護)の一部改正について

令和 5 年 6 月 14 日（水）（出席理事数 5 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 10 号 令和 5 年度 くにやす苑ナースコール更新工事について
- 2) 議案第 11 号 令和 5 年度 くにやす苑拠点区分積立金の取り崩しについて
- 3) 議案第 12 号 令和 5 年度 社会福祉法人大東福社会 収入支出補正予算について
- 4) 議案第 13 号 令和 4 年度 社会福祉法人大東福社会 事業報告について
- 5) 議案第 14 号 令和 4 年度 社会福祉法人大東福社会 会計収入支出決算認定について
- 6) 議案第 15 号 社会福祉法人大東福社会 評議員候補者の推薦について
- 7) 議案第 16 号 社会福祉法人大東福社会 評議員選任・解任委員会の開催について
- 8) 議案第 17 号 社会福祉法人大東福社会 理事候補者の推薦について
- 9) 議案第 18 号 社会福祉法人大東福社会 監事候補者の推薦について
- 10) 議案第 19 号 社会福祉法人大東福社会 評議員会の開催について

令和 5 年 6 月 28 日（水）（出席理事数 6 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 20 号 社会福祉法人大東福社会 理事長の選定について
- 2) 議案第 21 号 令和 5 年度 くにやす苑 ナースコール設備更新工事 業者選定について

令和 5 年 7 月 28 日（金）（出席理事数 6 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 22 号 令和 5 年度 くにやす苑 ナースコール設備更新工事業者選定に伴う入札結果について
- 2) 議案第 23 号 令和 5 年度 くにやす苑 ナースコール設備更新工事請負契約について

令和 5 年 9 月 29 日（金）（出席理事数 5 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 24 号 社会福祉法人大東福社会 給与規程の一部改正について
- 2) 議案第 25 号 社会福祉法人大東福社会 職員給与の改正について
- 3) 議案第 26 号 社会福祉法人大東福社会 非常勤職員給与規程の一部改正について
- 4) 議案第 27 号 社会福祉法人大東福社会 慶弔規程の一部改正について

令和 5 年 10 月 31 日（火）（出席理事数 6 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 28 号 旧城東保育園の土地建物売買契約について
- 2) 議案第 29 号 社会福祉法人大東福祉会 収入支出補正予算について
- 3) 議案第 30 号 社会福祉法人大東福祉会 評議員会の開催について

令和6年3月13日(水)(出席理事数 6名、出席監事数2名)

- 1) 議案第 31 号 社会福祉法人大東福祉会 就業規則の一部改正について
- 2) 議案第 32 号 社会福祉法人大東福祉会 経理規程の一部改正について
- 3) 議案第 33 号 社会福祉法人大東福祉会 育児休業規程の一部改正について
- 4) 議案第 34 号 社会福祉法人大東福祉会 入所者預かり金等管理規程の制定について
- 5) 議案第 35 号 おおさかこども園運営規程の一部改正について
- 6) 議案第 36 号 ちはまこども園運営規程の一部改正について
- 7) 議案第 37 号 社会福祉法人大東福祉会 苦情解決第三者委員の選任について
- 8) 議案第 38 号 社会福祉法人大東福祉会 特別養護老人ホーム大東苑 給食業務委託契約について
- 9) 議案第 39 号 社会福祉法人大東福祉会 特別養護老人ホームくにやす苑 給食業務委託契約について
- 10) 議案第 40 号 養護老人ホーム小笠老人ホーム 給食業務委託契約について
- 11) 議案第 41 号 令和6年度 役員等賠償保険加入について
- 12) 議案第 42 号 社会福祉法人大東福祉会 幼保連携型認定こども園 3施設の火災保険契約について
- 13) 議案第 43 号 令和5年度 きとうこども園拠点区分積立金の積み立てについて
- 14) 議案第 44 号 令和5年度 おおさかこども園拠点区分積立金の積み立てについて
- 15) 議案第 45 号 令和5年度 ちはまこども園拠点区分積立金の積み立てについて
- 16) 議案第 46 号 令和5年度 社会福祉法人大東福祉会 収入支出補正予算について
- 17) 議案第 47 号 令和6年度 社会福祉法人大東福祉会 事業計画について
- 18) 議案第 48 号 令和6年度 社会福祉法人大東福祉会 収入支出予算について
- 19) 議案第 49 号 社会福祉法人大東福祉会 評議員会の開催について

4. 評議員会の開催について

(評議員の定員7名)

令和5年4月26日(水)(出席評議員数 5名、出席理事数1名、出席監事数2名)

- 1) 議案第 1 号 令和5年度社会福祉法人大東福祉会 収入支出補正予算について

令和5年6月28日(水)(出席評議員数 7名、出席理事数1名、出席監事数2名)

- 1) 議案第 2 号 令和5年度社会福祉法人大東福祉会 収入支出補正予算について
- 2) 議案第 3 号 令和4年度社会福祉法人大東福祉会 事業報告について
- 3) 議案第 4 号 令和4年度社会福祉法人大東福祉会 計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の認定について
- 4) 議案第 5 号 社会福祉法人大東福祉会 理事の選任について
- 5) 議案第 6 号 社会福祉法人大東福祉会 監事の選任について

令和5年11月10日(金)(出席評議員数 5名、出席理事数1名、出席監事数2名)

- 1) 議案第 7 号 旧城東保育園の土地建物売買契約について
- 2) 議案第 8 号 令和5年度社会福祉法人大東福祉会 収入支出補正予算について

令和6年3月26日(水)(出席評議員数 5名、出席理事数1名、出席監事数2名)

- 1) 議案第 9 号 令和5年度社会福祉法人大東福祉会 収入支出補正予算について
- 2) 議案第10号 令和6年度社会福祉法人大東福祉会 事業計画について
- 3) 議案第11号 令和6年度社会福祉法人大東福祉会 収入支出予算について

5. 評議員会選任・解任委員会の開催について

(委員5名)

令和5年6月21日(水)(出席委員数 4名、出席理事数 1名)

- 1) 議案第 1 号 社会福祉法人大東福祉会 評議員の選任について

6. 監事監査の実施について

1. 開催日時・場所

| 内 容 | 開 催 日 時 | 場 所 |
|------|-------------------------------|--------------------|
| 決算監査 | 令和5年5月23日(火) 午前8時45分～午後5時00分 | ちはまこども園・くにやす苑 |
| 決算監査 | 令和5年5月26日(金) 午前8時45分～午後4時00分 | きとうこども園・おおさかこども園 |
| 決算監査 | 令和5年5月30日(火) 午前8時45分～午後6時10分 | 小笠老人ホーム・大東苑・本部 |
| 定期監査 | 令和5年10月20日(金) 午前9時00分～午後5時00分 | おおさかこども園・くにやす苑 |
| 定期監査 | 令和5年10月24日(火) 午前9時00分～午後4時15分 | きとうこども園・大東苑 |
| 定期監査 | 令和5年10月25日(水) 午前9時00分～午後5時15分 | ちはまこども園・小笠老人ホーム・本部 |

7. 令和5年度社会福祉施設等の指導監査の実地について

1. 静岡県指導監査 開催日時等

| 実 施 施 設 | 開 催 日 時 | 静岡県担当課 |
|----------|-------------------------------|--------|
| おおさかこども園 | 令和6年2月13日(火) 午前10時00分～午後4時00分 | 福祉指導課 |
| きとうこども園 | 令和6年2月20日(火) 午後10時00分～午後4時00分 | 〃 |
| ちはまこども園 | 令和6年3月12日(火) 午後10時00分～午後4時00分 | 〃 |

2. 結果

| 実 施 施 設 | 改 善 指 導 事 項 | 是正・改善の具体的方策 |
|----------|------------------------------|--------------------------|
| おおさかこども園 | 改善指導事項なし | — |
| きとうこども園 | 消火訓練を毎月1回以上実施し、訓練内容を記録に残すこと。 | 毎月1回消火訓練を実施し、訓練内容を記録します。 |
| ちはまこども園 | 改善指導事項なし | — |

1. 掛川市指導監査 開催日時等

| 実 施 施 設 | 開 催 日 時 | 掛川市担当課 |
|---------|------------------------------|--------|
| 法人全体 | 令和6年1月26日(金) 午前9時30分～午後5時30分 | 福祉課 |

2. 結果

| 該 当 施 設 | 改 善 指 導 事 項 | 是正・改善の具体的方策 |
|---------|---|---|
| 法人本部 | 評議員会の開催日時及び場所等を理事会の決議により議事録に記載すること。 | 理事会において、評議員会開催に関する決議を行った場合、内容を議事録に記載します。 |
| 各拠点施設 | 経理規程第51条で定める固定資産現在高報告書の作成を行ない、同上第2項に定める報告を行うこと。 | 会計年度終了後、速やかに固定資産現在高報告書を作成し、固定資産管理台帳との照合を行ない、統括会計責任者及び理事長に報告します。 |
| 法人本部 | その他の積立金を計上する際は、中区分の勘定科目で積み立ての目的を具体的に示す名称を付すること。 | 予算書に記載する中区分での勘定科目名称を、人件費積立金と施設設備整備積立金とし、記載します。 |

8. 苦情解決結果について

大東苑

■受付日 令和5年5月22日、5月24日

申出人 入所者

内 容 職員の言葉遣いがきつく感じられ辛い。退所したい。特定の職員から強い口調で物を言われ辛い。どの職員かは言いたくない。

結 果 職員に聞き取りをしたところ、対応した職員には思い当たることが無いとのことであった。入所者及び入所者家族に報告し、謝罪した。特定の職員が誰であるか不明なため、特養職員全員に向けて、当該入所者が辛い思いをしていること、ご家族にも謝罪したことを伝えた。加えて、の利用者へのかかわり方についての文書を示すとともに、入所者のケア会議にてかかわり方を改善するよう指導した。また本件について、ケアの内容を振り返る機会として捉え、拠点内の全職員を対象として不適切ケアについての研修も行った。

くにやす苑

■受付日 令和5年8月19日

申出人 入所者家族

内 容 面会時に衣類が汚れていた。衣類は汚れていなくても日が空けば交換して欲しい。また、汚れた時には替えて欲しい。傷の処置方法について、乾燥させていると聞いたが、処置方法を改めて欲しい。

結 果 入所者、ご家族に謝罪した。衣類の交換については汚れてしまったときには食後の着床前に着替える事、夜間のパジャマへの更衣については、入所者が安楽な服をご家族に用意してもらい着用していく対応にした。傷の処置等の新しい取り組みに対しては、看護職員等の専門職種間で話し合いの機会を設け、検討していくことなどでご家族に理解して頂いた。

ちはまこども園

■受付日 令和5年6月8日

申出人 保護者

内 容 行事のお知らせで、行事への参加について『ご都合をつけてご参加ください。』と書かれている。強制されているように感じた。仕事をしているので仕事を休んで参加しなくてはならない。参加できなければ、当日子どもは休ませなくてはならないのか、とまで考えてしまう。保護者に配慮した書き方にして欲しい。

結 果 施設長会議にて今後の対応について話し合った結果、教育の日の行事であるため、原則として保護者には参加して頂きたい行事であることを踏まえ、来年度については年度初めに教育の日の行事参加についてご家族に丁寧に説明し、参加への協力を呼び掛けていくこととした。苦情申出人が匿名のため、申出人への対応は出来ない。

令和5年度 事業報告付属明細書 本部拠点区分

令和5年度 事業報告の内容を補足する重要な事項として、以下を報告する。

1. 役員人事

理事及び監事の任期満了に伴い、定時評議員会にて、以下のとおり理事及び監事が選任された。評議員会後の理事会において理事長が以下のとおり選定された。

| | | | |
|-----|-------|-------|------|
| 理事長 | 中 井 | 勝 | 理事重任 |
| 理 事 | 笠 原 | 眞 史 | 重任 |
| 理 事 | 石 田 | 壽 美 | 重任 |
| 理 事 | 安 村 | な お み | 重任 |
| 理 事 | 曾 根 | 正 規 | 新任 |
| 理 事 | 長 谷 川 | 薫 | 重任 |
| 監 事 | 赤 堀 | 和 彦 | 重任 |
| 監 事 | 石 川 | 安 宏 | 新任 |

評議員 1 名の辞任に伴い、評議員選任解任委員会にて以下のとおり評議員が選任された。

評議員 溝 口 武 司 新任

2. 基本財産の追加及びその他財産の処分、定款の変更

城東保育園を閉園し、きとうこども園の事業を開始した。きとうこども園の用地を基本財産とし、城東保育園の土地及び建物を基本財産からその他財産とし、定款を変更した。

以上

令和5年度 きとうこども園拠点区分事業報告書

1 令和5年度の総括

令和5年度は開園1年目に当たり、子どもたちが安心・安全に過ごすことができるように各クラスの部屋や園舎内・園庭などの環境整備に配慮した。園生活を行う上で、特に安全面において改良すべき箇所については、早急に対応し改善した。保護者に対しても不安にならないよう、疑問や要望等には丁寧に対応した。行事については子どもたちの成長につなげるためには何が良いか、また、どのような成長につながるのかを考え、早い時期から話し合いを重ねた。子どもたちが遊びの中から経験したことを運動会や発表会へとつなげるように進めたことで子どもたちと一緒に創り上げた一年となった。保護者アンケートでは、日程や内容などについて「よかった」という感想が多かったが、課題点や反省点もあったため検討し来年度へ生かしていく。

運営面では184名でスタートし、3月までに、0歳児6名、1歳児2名、3、4、5歳児4名の途中入園を積極的に受け入れ、年度末には196名となった。

保育面では、子どもたちが主体的に活動に取り組むことができるよう子どもの実態について話し合い、学年ごとに環境を整えた。支援を必要とする子に対しても、担任や補助として寄り添う職員だけでは難しいこともあることから、園全体で支援し育てていくという視点を職員に周知し、取り組んだ。

職員の資質向上については、多くの職員がキャリアアップ研修などの多彩な講義を受講し専門性が高まった。今後、非常勤職員に対しても園内研修等で研修報告を行い、さらに学びを深めていきたい。

2 事業内容報告

1) 園児数月別報告 全体 (R5.4.1~R6.3.31)

定員250名 (1号68名、2号105名、3号77名)

| 歳児月 | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 1号 | | 4歳児 | 5歳児 | | 計 | 1号 | | 定員割合(%) |
|-----|-----|-----|-----|-----|----------|----|----------|-----|----------|-----|-----------|------|---------|
| | | | | | 2号 | 2号 | | 2号 | 2.3号 | | | | |
| 4 | 3 | 18 | 24 | 49 | 16 33 | 43 | 13 30 | 47 | 16 31 | 184 | 45 139 | 73.6 | |
| 5 | 3 | 20 | 24 | 49 | 15 34 | 43 | 12 31 | 47 | 16 31 | 186 | 43 143 | 74.4 | |
| 6 | 3 | 20 | 24 | 49 | 15 34 | 43 | 12 31 | 47 | 16 31 | 186 | 43 143 | 74.4 | |
| 7 | 4 | 20 | 24 | 49 | 15 34 | 44 | 13 31 | 47 | 16 31 | 188 | 44 144 | 75.2 | |
| 8 | 5 | 20 | 24 | 50 | 14 36 | 44 | 13 31 | 48 | 16 32 | 191 | 43 148 | 76.2 | |
| 9 | 6 | 19 | 24 | 50 | 14 36 | 45 | 13 32 | 48 | 16 32 | 193 | 43 149 | 76.8 | |
| 10 | 6 | 19 | 24 | 50 | 14 36 | 45 | 13 32 | 48 | 17 31 | 192 | 44 148 | 76.8 | |
| 11 | 6 | 20 | 24 | 50 | 14 36 | 45 | 13 32 | 48 | 17 31 | 193 | 44 149 | 77.2 | |
| 12 | 8 | 20 | 24 | 50 | 14 36 | 45 | 13 32 | 48 | 17 31 | 195 | 44 151 | 78.0 | |
| 1 | 9 | 20 | 24 | 50 | 15 35 | 45 | 13 32 | 48 | 18 30 | 196 | 46 150 | 78.4 | |
| 2 | 9 | 20 | 24 | 50 | 15 35 | 45 | 13 32 | 48 | 18 30 | 196 | 46 150 | 78.4 | |
| 3 | 9 | 20 | 24 | 50 | 15 35 | 45 | 13 32 | 48 | 18 30 | 196 | 46 150 | 78.4 | |

2) 学級編成

(3月31日現在 196人)

| クラス | 年齢 | 男児 | 女児 | 計 | 外国人 | 要支援児 | 担任数 |
|--------|-----|-----|----|-----|-----|------|-----|
| ちゅうりっぷ | 0歳児 | 6 | 3 | 9 | 0 | 0 | 3 |
| ひまわり | 1歳児 | 6 | 4 | 10 | 0 | 0 | 2 |
| たんぽぽ | | 7 | 3 | 10 | 0 | 0 | 2 |
| さくら | 2歳児 | 7 | 5 | 12 | 2 | 0 | 2 |
| ばら | | 4 | 8 | 12 | 1 | 0 | 2 |
| ばんだ | 3歳児 | 9 | 8 | 17 | 3 | 0 | 1 |
| うさぎ | | 9 | 7 | 16 | 1 | 0 | 1 |
| こあら | | 10 | 7 | 17 | 1 | 1 | 1 |
| ぞう | 4歳児 | 9 | 13 | 22 | 0 | 1 | 1 |
| くま | | 12 | 11 | 23 | 3 | 0 | 1 |
| らいおん | 5歳児 | 13 | 12 | 25 | 3 | 1 | 1 |
| きりん | | 10 | 13 | 23 | 2 | 0 | 1 |
| 給食業務 | | | | | | | 6 |
| 担任外 | | | | | | | 12 |
| 支援センター | | | | | | | 2 |
| 計 | | 102 | 94 | 196 | 16 | 3 | 38 |

(正規職員 18人、非常勤職員 19人、育児休暇 1人)

3) 年間主要行事

| 月 | 行事内容 | 月 | 行事内容 |
|------------------|-------------------|----|----------------------|
| 4 | 始業式 | 10 | 運動会 (3.4.5歳児) |
| | 入園式 | | 秋の遠足 (4.5歳児) |
| | 保護者の会総会 | | お楽しみ弁当の日 (0.1.2.3歳児) |
| 5 | 城東学園引き渡し訓練 | 11 | 収穫祭 |
| | こいのぼり会 | | 施設防災訓練 (炊き出し訓練) |
| | 城東中学校交流 | | サツマイモ掘り (5歳児) |
| 6 | 親子バス遠足 (4.5歳) | 12 | 光る泥団子づくり (5歳児) |
| | 参観会 (2.3.4.5歳) | | 七五三 |
| | プール開き | | 花育教室 (5歳児) |
| | 民生委員児童委員訪問 | 1 | 発表会 (4.5歳児) |
| | 第一回園評議員会 | | クリスマス会 |
| | 交通安全教室 | | 終了式 |
| | 茶道体験 | | 始業式 |
| 7 | 幼年消防クラブ結成式 | 1 | 餅つき会 |
| | 花火教室 | | 交通安全教室 (3.4.5歳児) |
| | 七夕会 | | 中学校交流 |
| | 茶道体験 | 2 | 交通安全教室 (5歳児) |
| | 夏まつり | | 土方小学校交流 |
| | プール自由参観 (全園児) | | 豆まき会 |
| 8 | 個別面談 (0.1.2.3.4歳) | 2 | 発表会 (2.3歳児) |
| | 終了式 | | 第二回評議員会 |
| 9 | 個別面談 (0,1,2,4歳児) | 3 | 参観会 (0.1歳児) |
| | トトロの会 (0.1.2歳児) | | 人権教室 |
| | 始業式 | | ひなまつり会 |
| | プール納め | | 城東学園音楽祭 |
| | 茶道体験 | | お別れ会 |
| 祖父母参観 (2日に分けて実施) | 修了式 | | |
| トトロの会 (3.4.5歳) | 卒園式 (5歳児) | | |

4) 避難訓練

年間を通して、地震、火災、保護者参加の引き渡し訓練、炊き出し訓練等、あらゆる場合を想定して訓練を実施した。

| 月 | 日 | 訓練種別 | 災害状況想定 | 訓練目的及び内容 |
|----|----|------------------|-------------------------------|--|
| 4 | 18 | 避難誘導訓練 | 保育中、地震発生 | 地震について伝える。防災頭巾の被り方確認 避難の仕方、避難場所を確認。 |
| 5 | 19 | 避難誘導訓練 引き渡し訓練 | 保育中、地震発生 | 地震時の行動（机の下、指示を聞くなど）地震の 避難方法を再確認。保護者への引き渡し訓練を実 施し、確認。 |
| 6 | 15 | 避難誘導訓練 | 保育中、地震発生後 火災発生 | 避難方法、避難場所伝達方法確認。 消火器の場所、使い方を確認。 |
| 7 | 22 | 避難誘導訓練 | 保育中、地震発生後 保育室から火災発生 | 水遊び、プール時の避難、誘導方法確認。 消火器の場所、使い方を確認。 |
| 8 | 1 | 避難誘導訓練 | 夕保育中、地震発生後 火災発生 | 夕保育時の避難方法を確認。 職員の避難誘導方法、人数確認について確認。 |
| 9 | 20 | 避難誘導訓練 | 保育中、地震発生後 火災発生、土砂災害 | 園庭での地震発生時の避難方法確認。 土砂災害を想定し、避難場所の確認。 |
| 10 | 27 | 避難誘導訓練 | 保育中、給食室から 火災発生 | おやつ後の地震発生時の避難方法を確認。 放送設備の取り扱い方法を確認。 |
| 11 | 1 | 施設防災訓練 | 保育中、地震発生後火 災発生 | 避難誘導、炊き出し訓練実施。防災倉庫の点検。 発電機の取り扱い。備蓄品確認。 |
| 12 | 5 | 避難誘導訓練 | 給食後、地震発生後 支援センターから火災 発生 | 給食後、避難誘導訓練実施。指示内容を静かに聞 く方法確認。 消火器の持ち出し訓練実施、確認。 |
| 1 | 15 | 避難誘導訓練 | 給食中、地震発生後 給食室から火災発生 | 職員は連携をとり役割分担の確認。 芝生から園庭へ避難方法確認。 |
| 2 | 14 | 避難誘導訓練 | 保育中、地震発生後 地震と火災発生 | AED 持ち出し訓練。園児救護訓練に伴う担架利用 方法確認、三角巾による怪我対応方法確認。 |
| 3 | 22 | 避難誘導訓練 | 保育中、地震発生後、 給食室から火災発生 | 午後の保育中地震発生時の避難方法確認。 放送設備の取り扱い方法確認。 |

5) 不審者防犯訓練

毎月1回防犯訓練を行う中で、園児の安全確保の方法や職員間の連携、役割等の検討改善に努めた。

6) 健康管理

| 月 | 実施日 | 検査内容 | 対象者 | 備考 |
|-----|---------------------------|-------------|---------|-----------|
| 4 | 4/19 | 尿検査（一次） | 3、4、5歳児 | 静岡県予防医学協会 |
| 5 | 5/17 | 尿検査（二次） | 3、4、5歳児 | 静岡県予防医学協会 |
| 5・6 | 5/16, 6/13, 6/20 | 内科健診 | 園児全員 | 大貫園医 |
| 6 | 5/24, 5/26 | 歯科健診 | 園児全員 | 中島園医 |
| 6 | 6/21, 6/29 | 職員健診 | 職員 | 笠南医療センター |
| 10 | 10/10, 10/17 | 内科健診 | 園児全員 | 大貫園医 |
| 10 | 10/4, 10/10, 10/18, 10/23 | インフルエンザ予防接種 | 職員 | 鷲山医院 |
| 11 | | ストレスチェック | 職員 | 静岡県予防医学協会 |
| 10 | 10/31 | 視力検査 | 4歳児 | 園実施 |

*園児は毎月発育測定、職員は毎月保菌検査を実施した。（給食職員は月2回、ノロ年1回）

*4・5歳児はフッ素洗口を毎日実施した。

7) 訪問・教室

*茶道体験（5歳児）各クラス年2回。

8) 延長保育利用者数 (7:00~7:29)

| 月 | 一日平均(人) | 月 | 一日平均(人) | 月 | 一日平均(人) |
|---|---------|----|---------|----|---------|
| 4 | 7 | 8 | 6.3 | 12 | 7.1 |
| 5 | 7.4 | 9 | 7.5 | 1 | 7.3 |
| 6 | 8.5 | 10 | 9.7 | 2 | 9.6 |
| 7 | 8.2 | 11 | 8 | 3 | 9.5 |

*年間延べ人数 1931名 (一日平均7.4名)

9) 給食(食育)

給食が子どもたちの楽しみの一つとなるよう、「意欲的に楽しく食べる元気な子」を目標に、安心・安全でおいしい給食作りを心掛けた。また、給食担当者は、常に衛生面や健康面に留意しながら調理を行った。アレルギー児の除去食や代替食、乳児に対する離乳食等は、保護者や担任と連携を取りながら進めることができた。

給食担当者が保育室へ出向いて子どもたちの食べる様子を見たり、担任の様子を聞いたりすることで、個々の嗜好や適切な食事量を知り、健やかな成長に必要な栄養量の確保に努めた。また、4月と9月の年2回、子どもの身長と体重を成長曲線に記入して個々の栄養管理に努めるとともに、給食の給与栄養目標量の見直しをした。

食育活動として、食材展示や栄養指導(ぱくぱくらんど)、絵本、紙芝居の読み聞かせや食育かるたを行い、食材や栄養に対する関心を高めるとともに食べる意欲を育てることができた。畑で収穫した野菜は給食食材として使用し、提供した。

保護者に対しては、毎日のサンプル食展示、アンケート調査、食育活動についての掲示や給食メニューのレシピ配信を行った。

毎月の法人栄養士会議では、各園の新メニューや行事食、食品衛生や栄養管理に関する情報交換を行った。また、9月の法人給食研修会では大量調理衛生管理マニュアルの確認、11月にはスチームコンベクションを使った調理について学び、給食担当者の資質向上に努めた。

10) 主な職員研修

①施設外研修

| 月 日 | 研 修 名 | 人数 | 主催者 |
|-------|------------------------------|----|-----------------------|
| 4月14日 | 特別支援コーディネーター研修会 | 1 | 掛川市こども希望課 |
| 4月23日 | 掛川小笠保育士会総会 記念講演 | 2 | 掛川小笠保育士会 |
| 5月16日 | 保育連合会西部支部総会研修会 | 1 | 静岡県保育連合会 |
| 5月17日 | キャリアアップ(障害) 障害の理解 | 1 | 袋井市子ども未来課 |
| 5月18日 | 掛川小笠保育士会給食研修会 | 1 | 掛川小笠保育士会 |
| 5月19日 | キャリアアップ(食育) 栄養に関する基礎知識 | 1 | 袋井市子ども未来課 |
| 5月20日 | かけがわ乳幼児未来学会記念講演 | 4 | 未来学会 |
| 5月24日 | 未来学会教育研究部公開保育 | 1 | 未来学会 |
| 5月25日 | 第1回歳児別グループ研修会 | 1 | 掛川小笠保育士会 |
| 5月27日 | 小笠地区乳幼児保健会総会 | 2 | 乳幼児保健会 |
| 5月30日 | 静岡県保育士会研修会 | 1 | 静岡県保育士会 |
| 6月10日 | キャリアアップ(乳児保育) | 1 | 袋井市子ども未来課 |
| 6月13日 | リズムに合わせて遊ぼう踊ろう | 1 | 未来学会 |
| 6月16日 | キャリアアップ(乳児保育) | 1 | 菊川市子ども未来部 こども政策課 |
| 6月16日 | 第1回掛川幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会 | 1 | 掛川市学校教育課 掛川市こども希望課 |
| 6月19日 | キャリアアップ(幼児教育の意義) | 2 | 未来学会 |
| 6月21日 | キャリアアップ(障害保育の環境) | 1 | 袋井市子ども未来課 |
| 6月21日 | 城東学園第1回全体研修会 | 4 | 城東学園 |
| 6月21日 | 中堅職員研修会 | 1 | 静岡県保育連合会西部支部 |
| 6月22日 | かけがわ乳幼児未来学会発達支援部研修会 | 1 | 未来学会 |

| | | | |
|-----------|------------------------|----|---------------------|
| 6月22日 | 小笠地区学校保健会講演会 | 1 | 小笠地区乳幼児保健会 |
| 6月26日 | 未来学会教育研究部第1回園務主任研修会 | 1 | 未来学会 |
| 6月28日 | キャリアアップ(マネジメント) | 3 | 未来学会 |
| 6月30日 | 未来学会健康安全部第1回研修会 | 1 | 未来学会 |
| 7月1日 | キャリアアップ(乳児保育) | 1 | 菊川市子ども未来部 こども政策課 |
| 7月4~6日 | キャリアアップ(障害児保育) | 1 | 静岡県保育連合会 |
| 7月10日 | キャリアアップ(幼児教育の意義) | 2 | 未来学会 |
| 7月19日 | キャリアアップ(障害) | 1 | 袋井市子ども未来課 |
| 7月20日 | 第2回歳児別グループ研修会 | 1 | 掛川小笠保育士会 |
| 7月21日 | キャリアアップ(食育) | 1 | 袋井市子ども未来課 |
| 7月21日 | 未来学会健康安全部第2回研修会 | 1 | 未来学会 |
| 7月25日 | 未来学会教育研究部公開保育 | 1 | 未来学会 |
| 7月25日 | 教職員指導技術研修「第1回教材研究」 | 1 | 未来学会 |
| 7月26日 | 第2回特別支援コーディネーター研修会 | 1 | 掛川市こども希望課 |
| 7月26~27日 | 甲種防火管理新規講習 | 1 | 掛川市消防本部 予防課予防係 |
| 7月29日 | キャリアアップ(乳児) | 1 | 磐田市 |
| 7月31日 | 第2回城東学園全体研修会 | 4 | 城東学園 |
| 8月1日 | 未来学会教育研究部第2回園務主任研修会 | 1 | 未来学会 |
| 8月4日 | 未来学会遊び研究部 | 1 | 未来学会 |
| 8月5日 | キャリアアップ(乳児) | 1 | 磐田市 |
| 8月9日 | キャリアアップ(マネジメント) | 3 | 未来学会 |
| 8月11日 | キャリアアップ(乳児) | 1 | 磐田市 |
| 8月18日 | 小児の難聴と人工内耳 | 1 | 静岡県聴覚支援センター |
| 8月24日 | キャリアアップ(マネジメント) | 3 | 未来学会 |
| 8月24日 | 未来学会発達支援部 発達の特性理解と家庭支援 | 1 | 未来学会 |
| 8月25日 | 未来学会園経営研究部 講演会 | 1 | 未来学会 |
| 8月26日 | キャリアアップ(乳児) | 1 | 磐田市 |
| 9月3日 | キャリアアップ(乳児) | 1 | 磐田市 |
| 9月7日 | 教職員指導研修「第3回リズム表現と遊び」 | 1 | 未来学会 |
| 9月14日 | 第2回グループ研修 | 1 | 掛川小笠保育士会 |
| 9月16日 | 掛川小笠保育士会 研究発表会 | 11 | 掛川小笠保育士会 |
| 9月19日 | キャリアアップ(小学校との接続) | 1 | 未来学会 |
| 9月20~22日 | キャリアアップ(保健衛生・安全対策) | 1 | 静岡県保育連合会 |
| 9月21日 | キャリアアップ(障害) | 1 | 袋井市子ども未来課 |
| 9月21日 | 未来学会教育研究部 公開保育 | 2 | 未来学会 |
| 9月22日 | 未来学会健康安全部第3回研修会 | 1 | 未来学会 |
| 10月11~13日 | キャリアアップ(保護者支援・子育て支援) | 1 | 静岡県保育連合会 |
| 10月18日 | キャリアアップ(乳児保育) | 1 | 袋井市子ども未来課 |
| 10月26日 | 未来学会遊び研究部第2回教材研修会 | 1 | 未来学会 |
| 10月26日 | 発達の特性の理解と家庭支援について | 1 | 未来学会 |
| 11月1日 | 静岡県子育て支援研修地域子育て支援拠点事業 | 1 | 静岡県健康福祉部 |
| 11月8日 | PCITから学ぶ子育てのヒント | 1 | 発達相談センター のびる一む |
| 11月10日 | 未来学会健康安全部第4回研修会 | 1 | 未来学会 |

| | | | |
|---------|-----------------------------|----|-----------------------|
| 11月10日 | キャリアアップ（食育） | 1 | 袋井市子ども未来課 |
| 11月16日 | 第4回グループ研修会 | 1 | 掛川小笠保育士会 |
| 11月17日 | 第3回 教材研究 | 1 | 未来学会 |
| 11月18日 | 第17回かけがわ教育の日 | 3 | 掛川市教育委員会 |
| 11月21日 | なごみこども園視察 | 1 | 掛川市支援センター |
| 11月29日 | 初任職員研修会 | 1 | 静岡県保育連合会 |
| 11月29日 | 桜木こどもの森こども園視察 | 3 | 掛川市こども希望課 |
| 12月4日 | 衛生推進者養成講習 | 11 | 静岡県労働基準協会連合会 |
| 12月4～6日 | キャリアアップ研修会（マネジメント） | 1 | 静岡県保育連合会 |
| 12月6日 | 保育士・保育教諭研修会 | 1 | 静岡県保育士会 |
| 12月22日 | キャリアアップ研修会（食育） | 1 | 袋井市子ども未来課 |
| 1月23日 | 第2回掛川市幼児教育と小学校の円滑な接続に向けた研修会 | 1 | 掛川市学校教育課 掛川市こども希望課 |
| 1月28日 | 子どもの発達を見守るために知っておきたいこと | 2 | 小笠医師会 |
| 2月3日 | 保育のつどい | 1 | 掛川小笠保育士会 |
| 2月5日 | 保育所等給食関係者研修会 | 1 | 西部保健所健康増進課 |

城東学園

- ・校長園長会、教務園務会、全体研修会
- ・園小連絡会（土方、中、佐東）

②施設内研修

*子育て支援部

- 3園全体研修会（年1回）
- 子育て支援部歳児別研修（各園1回ずつ）
- 中堅職員、新人職員研修（各年2回）
- 3園合同給食研修会（年1回）

*法人会議

- 施設長会議、園長会、副園長会、給食会議（月1回）主幹研修会（年5回）

*園内会議・研修

- 職員会議、園内研修（月1回）・乳児会議、幼児会議・学年会議
- こども希望部園訪問（1回）

11) 実習生・ボランティア受け入れ

| 種 別 | 期 間 | 延べ人数 | 学校・団体等 |
|-----------------|----------------------------------|------|-----------------------|
| 保育実習 （栄養士実習） | 5/22～6/2 | 10 | 常葉大学 |
| | 5/29～6/16 | 15 | 浜松学院大学短期大学部 |
| | 7/3～7/7（栄養士） | 5 | 静岡英和学院大学短期大学部 |
| | 1/15～1/26 | 10 | 浜松未来総合専門学校 |
| | 1/15～1/26 | 10 | 東海こども専門学校 |
| | 1/31～2/14 | 10 | 常葉大学短期大学部 |
| 自主実習 | 5/12, 6/28, 7/5, 8/7, 8/8 8/9 | 6 | 常葉大学、東海こども専門学校、常葉大学短期 |
| インターンシップ | 8/2～8/4 | 6 | 静岡県立小笠高等学校 |
| 中学生職場体験 | 8/29～8/31 | 27 | 掛川市立城東中学校 |
| | 10/2～10/4 | 27 | 掛川市立大浜中学校 |
| | 11/14～11/16 | 18 | 掛川市立掛川東中学校 |
| 中学生ボランティア | 7/28～8/10 | 8 | 城東中学校、大浜中学校 |
| 合計 | | 152 | |

12) 地域交流活動

| 種 別 | 期 日 | 参加人数 |
|-------------|----------------------|------|
| 畑作業 | 5/2, 5/8, 6/26, 10/4 | 6 人 |
| コスモス畑交流 | 9/ | 10 人 |
| 北公民館遠足交流 | 10/27 | 2 人 |
| 吉岡彌生記念館遠足交流 | 10/27 | 1 人 |
| サツマイモ掘り | 11/6 | 5 人 |
| 光る泥団子作り | 11/9 | 17 人 |
| クリスマス会 | 12/19 | 1 人 |
| 絵本読み聞かせ | 1/24, 2/21, 3/1, 3/6 | 16 人 |
| 計 | | 58 人 |

3 子育て支援センター事業

子どもの健やかな成長を支援し、子育てをしている親同士の交流を促進することで子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感を緩和することを目的とし事業を進めた。温かくアットホームな雰囲気の中で、親子でゆったり過ごしたり季節の行事や制作を楽しんだり、子育て中の親子の交流や育児相談ができるよう取り組んできた。

今後も、それぞれの年齢の子どもに対し適切な援助を行い、利用者が安心して遊べる場所、育児について学べる場所となるよう、気軽に相談しやすい環境を整え、保護者に寄り添ったサポートを行っていく。

1) 活動内容

ホール開放、支援活動、園庭開放、絵本読み聞かせ、身体測定、電話・来園相談等

| 月 | 支援活動内容 | 月 | 支援活動内容 |
|---|------------------------------|----|--------------------------------------|
| 4 | こいのぼり制作 | 10 | 運動遊び、お散歩 ハロウィン製作、仮装パーティー |
| 5 | シャボン玉で遊ぼう 動くおもちゃ作り | 11 | ボールプール、ふれあい遊び、 マラカス作り、食育講座 |
| 6 | シャボン玉、風船、新聞紙で遊ぼう たなばた飾り作り | 12 | 折り紙（サンタさん）、クリスマス会 スノードーム作り、楽器で遊ぼう |
| 7 | たなばた飾り、水遊び | 1 | お正月遊び、鬼のお面作り、 コマ作り |
| 8 | ペットボトルシャワー作り、水遊び 夏まつり | 2 | 豆まき会、親子リトミック おひな様作り |
| 9 | 祖父母プレゼント作り、小麦粉粘土 お散歩バッグ作り | 3 | ひなまつり会、小麦粉粘土 マラカス作り、お楽しみ会 |

開館時間 9：00～15：00（コロナ対策の室内消毒の為12:00～13:00は休み7月まで）

2) 利用者数(延べ人数)及び相談件数

| 月 | 利用者数（人） | | 相談件数 （件） | 月 | 利用者数（人） | | 相談件数 （件） |
|--------|---------|-----|-------------|----|---------|-----|-------------|
| | 大人 | 子ども | | | 大人 | 子ども | |
| 4 | 13 | 14 | 1 | 10 | 53 | 59 | 3 |
| 5 | 24 | 25 | 2 | 11 | 61 | 64 | 4 |
| 6 | 48 | 53 | 2 | 12 | 42 | 45 | 2 |
| 7 | 41 | 45 | 1 | 1 | 62 | 68 | 6 |
| 8 | 25 | 27 | 2 | 2 | 91 | 101 | 2 |
| 9 | 48 | 56 | 3 | 3 | 95 | 105 | 2 |
| 合計（年間） | | | | | 603 | 662 | 30 |

4 一時預かり幼稚園型事業

1号認定児を保護者の希望により教育課程修了時以降、預かり保育を行なった。

| 月 | 利用延べ人数 | 月 | 利用延べ人数 | 月 | 利用延べ人数 |
|--------|--------|----|--------|----|--------|
| 4 | 87 | 8 | 72 | 12 | 74 |
| 5 | 86 | 9 | 86 | 1 | 83 |
| 6 | 117 | 10 | 90 | 2 | 85 |
| 7 | 101 | 11 | 87 | 3 | 73 |
| 合計（年間） | | | | | 1041 |

令和5年度 事業報告附属明細書 きとうこども園拠点区分

令和5年度 事業報告の内容を補足する重要な事項について

1. 基本財産の追加及びその他財産の処分、定款の変更

城東保育園を閉園し、きとうこども園の事業を開始した。きとうこども園の用地を基本財産とし、城東保育園の土地及び建物を基本財産からその他財産とし、定款を変更した。

以上

令和5年度 おおさか子ども園拠点区分事業報告書

1 令和5年度の総括

今年度は新型コロナウイルス感染が5類に移行したことで園の在り方を見直す1年だった。以前の日常に戻しつつ、行事等の対応については職員間での話し合いを深め、改めてそれぞれの行事によって育つ姿、大切にしていきたい姿を明確にして進めることが出来た。保護者には園の行事に積極的に参加してもらうことで、園の取り組みや子ども達の様子を理解していただいた。保護者による一日先生体験に加え、ボランティアを募り園活動に参加していただいたことにより、園の教育、保育に対する理解がより一層深まったと感じた。12月に実施した保護者アンケートでも98%の保護者から園の取り組みに対して、満足・やや満足と評価された。

保育面では、保育の質の向上についての取り組みとして、「不適切な保育」に関する研修を受け、自身の保育を振り返ることで、保育に対する意識の向上に繋がる反面、過敏になりすぎて自信を持ってない、活動を躊躇してしまうなど、不安を持つ保育者が出てきている。保育者自身が自信を持って保育にあたるよう職員間のコミュニケーションを活発化し、保育の質の向上に努めたい。

運営面では、産育休の保育士の代替が確保できず、途中入園を受け入れることが出来なかったが、経費の節減に努め、無駄な支出を抑えるよう努めた。また、地域の方々や保護者の協力で環境を整えることもでき、コロナ禍前の日常に戻りつつある。

2 事業内容報告

1) 園児数月別報告 全体 (R5.4.1~R6.3.31)

定員 300名 (1号75名、2号160名、3号65名)

| 園児月 | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | | 5歳児 | | 計 | 定員割合(%) | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|----|-----|---------|------|
| | | | | | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 | | 1号 | 2.3号 |
| 4 | 6 | 21 | 28 | 37 | 8 | 52 | 5 | 48 | 192 | 23 | 64.0 |
| | | | | | 29 | | 47 | | | 169 | |
| 5 | 6 | 23 | 29 | 37 | 8 | 52 | 5 | 48 | 195 | 23 | 65.0 |
| | | | | | 29 | | 47 | | | 172 | |
| 6 | 6 | 23 | 29 | 37 | 8 | 52 | 5 | 48 | 195 | 23 | 65.0 |
| | | | | | 29 | | 47 | | | 172 | |
| 7 | 6 | 23 | 29 | 37 | 8 | 52 | 5 | 48 | 195 | 23 | 65.0 |
| | | | | | 29 | | 47 | | | 172 | |
| 8 | 6 | 23 | 29 | 37 | 8 | 52 | 5 | 48 | 195 | 23 | 65.0 |
| | | | | | 29 | | 47 | | | 172 | |
| 9 | 8 | 23 | 29 | 37 | 8 | 52 | 5 | 48 | 197 | 23 | 65.7 |
| | | | | | 29 | | 47 | | | 172 | |
| 10 | 8 | 23 | 29 | 37 | 8 | 52 | 6 | 48 | 197 | 24 | 65.7 |
| | | | | | 29 | | 46 | | | 173 | |
| 11 | 8 | 23 | 29 | 37 | 8 | 52 | 6 | 48 | 197 | 24 | 65.7 |
| | | | | | 29 | | 46 | | | 173 | |
| 12 | 8 | 23 | 29 | 37 | 8 | 52 | 6 | 48 | 197 | 24 | 65.7 |
| | | | | | 29 | | 46 | | | 173 | |
| 1 | 8 | 23 | 29 | 37 | 8 | 52 | 6 | 48 | 197 | 24 | 65.7 |
| | | | | | 29 | | 46 | | | 173 | |
| 2 | 8 | 23 | 29 | 37 | 8 | 52 | 6 | 48 | 197 | 24 | 65.7 |
| | | | | | 29 | | 46 | | | 173 | |
| 3 | 7 | 23 | 30 | 36 | 8 | 52 | 5 | 48 | 196 | 24 | 65.3 |
| | | | | | 28 | | 47 | | | 173 | |

2) 学級編成

(3月31日現在 196人)

| クラス | 年 齢 | 男児 | 女児 | 計 | 外国人 | 要支援児 | 担任数 |
|--------|-----|-----|----|-----|-----|------|-----|
| いちご | 0歳児 | 5 | 2 | 7 | 2 | 0 | 3 |
| ばなな | 1歳児 | 8 | 5 | 13 | 0 | 0 | 3 |
| みかん | | 6 | 4 | 10 | 0 | 0 | 2 |
| めろん | 2歳児 | 9 | 9 | 18 | 2 | 0 | 3 |
| もも | | 7 | 5 | 12 | 2 | 1 | 2 |
| ばんだ | 3歳児 | 6 | 6 | 12 | 1 | 0 | 1 |
| くま | | 6 | 5 | 11 | 0 | 1 | 1 |
| ぞう | | 7 | 6 | 13 | 0 | 0 | 1 |
| ひまわり | 4歳児 | 14 | 12 | 26 | 1 | 0 | 1 |
| ばら | | 12 | 14 | 26 | 2 | 1 | 1 |
| にじ | 5歳児 | 11 | 13 | 24 | 2 | 2 | 1 |
| そら | | 12 | 12 | 24 | 2 | 0 | 1 |
| 給食業務 | | | | | | | 8 |
| 担任外 | | | | | | | 12 |
| 支援センター | | | | | | | 2 |
| 計 | | 103 | 93 | 196 | 14 | 5 | 42 |

(正規職員 19人、非常勤職員 23人 育休 1人)

3) 年間主要行事

| 月 | 行 事 内 容 | 月 | 行 事 内 容 | |
|-----|------------------|----|--------------------|--------------|
| 4 | 始業式 | 11 | 施設防災訓練 | |
| | 入園式 | | 七五三 | |
| | 保護者会総会(書面評決) | | 収穫祭 | |
| 5 | こいのぼり集会 | | バス遠足(5歳児) | |
| | 参観会(3.4.5歳児) | | 親子花育教室(5歳児) | |
| 6 | 収穫祭 | | 理学療法士講話(5歳児) | |
| | プール開き | | ジュビロサッカー教室(5歳児) | |
| | 座禅体験(雨天中止) | | ぼかぼか発表会(2.3歳児) | |
| | 園評議員会 | | クリスマス会 | |
| 7 | 七夕会 | | 12 | 親子しめ縄作り(5歳児) |
| | 夏祭り | | | 修了式 |
| | プール自由参観(3.4.5歳児) | 1 | | 始業式 |
| | 個別面談(3.4歳児) | | もちつき会 | |
| | 民生委員児童委員訪問 | 2 | 豆まき会 | |
| 修了式 | ぼかぼか発表会(4.5歳児) | | | |
| 8 | 個別面談(0.1.2.5歳児) | | 園評議員会 | |
| | 始業式 | | 交通安全教室(5歳児) | |
| 9 | 引き渡し訓練 | 3 | 園小交流会(5歳児) | |
| | プール納め | | 大浜学園ふれあいコンサート(5歳児) | |
| | 祖父母参観(3.4.5歳児) | | ひな祭り会 | |
| 10 | 運動会(3.4.5歳児) | | 終業式 | |
| | 交通安全教室(4.5歳児) | | 卒園式(5歳児) | |
| | 参観講演会(0.1.2歳児) | | | |

保護者の一日先生体験は年間を通して8回実施した。茶道教室は年間6回実施した。

4) 避難訓練

年間を通して、地震、火災、保護者参加の引き渡し訓練、炊き出し訓練等、あらゆる場合を想定して訓練を実施した。

| 月 | 日 | 訓練種別 | 災害状況想定 | 訓練目的及び内容 |
|----|----|--------|------------------------|---|
| 4 | 19 | 避難誘導訓練 | 地震火災発生 | 避難の仕方避難場所を知る。 消火器の位置や取り扱い方法を確認する。(職員) |
| 5 | 12 | 避難誘導訓練 | 保育中、地震発生後 火災発生 | 防災頭巾の被り方を覚える。 火災と地震の避難方法を知らせる。 |
| 6 | 12 | 避難誘導訓練 | 保育中、地震発生後 火災発生 | 避難方法、場所の確認をする。 消火器の使い方を確認する。 |
| 7 | 4 | 避難誘導訓練 | 保育中、地震発生後 給食室から火災発生 | 緊急速報を聞き落ち着いて避難する。 消火器の取扱いに慣れる。 |
| 8 | 3 | 避難誘導訓練 | 保育中(水遊び)、地震 発生後火災発生 | 水遊び中の避難の仕方を覚える。 園児への情報伝達、避難指示を知る。 |
| 9 | 4 | 避難誘導訓練 | 保育中、地震発生後 火災発生 | 逃げ遅れ者の確認。 引き渡しについての確認。 |
| 10 | 10 | 避難誘導訓練 | 保育中、給食室から 火災発生 | 地震と火災の合図の違いがわかり避難する。 放送設備の取り扱い方法の確認。 |
| 11 | 1 | 施設防災訓練 | 自由遊び中、 地震発生後火災発生 | 避難誘導、炊き出し訓練。防災庫の点検。発電機 の取り扱い。救護訓練、消防署への通報訓練。 |
| 12 | 12 | 避難誘導訓練 | 保育中、地震発生後 給食室から火災発生 | 逃げ遅れ者の確認。 消火器の持ち出し訓練。 |
| 1 | 16 | 避難誘導訓練 | 自由遊び中、 給食室から火災発生 | 職員は連携をとり役割分担の徹底を図る。 自由遊び中の人数確認の徹底。 |
| 2 | 19 | 避難誘導訓練 | 保育中、 地震と火災発生 | 避難方法、避難経路人数把握など。 水消火器を使つての模擬消火訓練。 消防署への通報訓練。 |
| 3 | 5 | 避難誘導訓練 | 自由遊び中 給食室から火災発生 | 合図、指示を理解し、敏速に行動する。 予告なしの実施訓練にも慌てず、臨機応変に行動 する。 |

5) 不審者防犯訓練

毎月1回防犯訓練を行う中で、園児の安全確保の方法や職員間の連携、役割等の検討改善に努めた。

6) 健康管理

| 月 | 実施日 | 検査内容 | 対象者 | 備考 |
|----|------------|-------------|-------|-----------|
| 4 | 19 | 尿検査(一次) | 4・5歳児 | 静岡県予防医学協会 |
| 5 | 17 | 尿検査(二次) | 4・5歳児 | 静岡県予防医学協会 |
| 5 | 11 18 25 | 内科検診 | 園児全員 | 大貫園医 |
| 6 | 15 | 歯科健診 | 園児全員 | 牧野園医 |
| 6 | 21 | 職員検診 | 職員 | 笠南医療センター |
| 10 | 12 19 | 内科検診 | 園児全員 | 大貫園医 |
| 10 | | ストレスチェック | 職員 | 静岡県予防医学協会 |
| 10 | 4 10 18 23 | インフルエンザ予防接種 | 職員 | 鷺山医院 |

*園児は毎月発育測定、職員は毎月保菌検査を実施した。(給食職員は月2回、ノロ年1回)

*4・5歳児はフッ素洗口を毎日実施した。

7) 訪問・教室

*茶道体験(5歳児)各クラス年2回。

*大東苑・くにやす苑・小笠の郷との交流は感染拡大防止のため、今年度は全て中止した。

8) 延長保育利用者数 (7:00~7:29)

| 月 | 一日平均(人) | 月 | 一日平均(人) | 月 | 一日平均(人) |
|---|---------|----|---------|----|---------|
| 4 | 7.6 | 8 | 7.0 | 12 | 6.0 |
| 5 | 8.8 | 9 | 7.8 | 1 | 8.2 |
| 6 | 9.5 | 10 | 8.6 | 2 | 10.1 |
| 7 | 9.5 | 11 | 8.1 | 3 | 9.6 |

*年間延べ人数 1931名 (一日平均7.4名)

9) 給食(食育)

常に衛生面、健康面に留意しながら「季節の食材や食べることに興味を持ち、好きな食べ物が増える子」を目標に安全でおいしい給食づくり、健康な体づくりに努めた。栄養士、調理員が毎月「栄養ランド」を開いた。栄養ランドでは、食物に関するクイズや話を、園児にわかりやすく、さらに興味を持ってもらえるような内容となるように給食職員で計画し、その様子を掲示して保護者に紹介した。5歳児の廊下に設置している食育コーナーは、季節感を大切にし、定期的に新しい媒体を作成した。実際に野菜を育て収穫する食育活動は、収穫した野菜を給食の食材として使用することで食べ物に対する興味を育むことができた。また、給食室を見学できることで、調理する姿をみせることができ、園児の給食への関心が高まり、徐々に苦手な物も食べてみようとする姿勢がみられた。給食に使われている食材を、赤・黄色・緑の食べ物(3色食品群)に分類ができるように献立表に記載しているため、園児にもわかりやすく、食材の分類を楽しんで取り組む姿がみられた。定期的に「かみかみメニュー」を献立に組みこみ、咀嚼力向上を目指したことで良く噛んで食べる姿につながった。また、学校給食等で発生した誤嚥事故を受け、使用できる食材に限られる中、安易に禁止食材を増やすのではなく、食べやすい形状になるように調理方法の工夫や適切な大きさになるようにカットするなど、臨機応変に対応した。

家庭への働きかけとして、園で人気のレシピを給食だよりに掲載した。給食サンプルの展示をし、給食への関心を高めるよう努めた。年1回の嗜好調査では、家庭での食事状況の把握に努め、結果をおたより等で報告すると共に食育活動に反映させた。園児一人一人の身長、体重を成長曲線に記入し、個々の栄養管理に努め、栄養価の見直しにも反映させることができた。

アレルギー児対応、乳児の離乳食作りにも配慮し、園と家庭での連携を取りながら今後も安全な給食提供を心掛けていく。

①施設外研修

| 月 日 | 研 修 名 | 人 数 | 主 催 者 |
|-----------|-------------------------|-----|------------|
| 4月22日 | 子どもたちの育ちを保障し続けるための保育の実践 | 1 | 静岡県保育士会 |
| 4月26日 | 掛川市子育て支援所連絡会 | 1 | こども政策課 |
| 5月9日 | 第1回 開発会議 | 2 | 掛川市教育委員会 |
| 5月12日 | 園務教務研究部会 | 1 | |
| 5月16日 | 中小連絡会 | 1 | |
| 5月20日 | かけがわ乳幼児未来学会総会 | 20 | 未来学会 |
| 5月23日~24日 | 新規採用職員研修 | 1 | 静岡県保育連合会 |
| 5月23日 | 掛川市子育て支援所連絡会 | 1 | こども政策課 |
| 5月24日 | 葛ヶ丘保育園公開保育 | 1 | 未来学会 |
| 5月25日 | 第1回歳児別グループ研修会 | 1 | 掛川小笠保育士会 |
| 5月27日 | 小笠地区乳幼児保健会 | 1 | 小笠地区乳幼児保健会 |
| 5月30日 | 静岡県保育士会総会及び研修会 | 1 | 静岡県保育士会 |
| 6月13日 | 第2回 開発会議 | 2 | 掛川市教育委員会 |
| 6月13日 | 未来学会あそび研究部 | 1 | 未来学会 |
| 6月14日 | 保育教諭研修会(さやの森) | 1 | 未来学会 |
| 6月16日 | 第1回掛川市幼児教育と小学校教育の円滑の接続 | 3 | こども希望課 |

| | | | |
|-----------|--|----|-------------|
| 6月19日 | キャリアアップ研修 | 1 | 未来学会 |
| 6月21日 | 第1回 園小連絡会（大坂小学校） | 2 | 大坂小学校 |
| 6月21日 | 子どもたちの笑顔のために～10年先の健康と運動～ | 1 | アクトシティ浜松 |
| 6月22日 | 園小連絡会 | 2 | |
| 6月22日 | 発達支援部 第1回講話 | 1 | 掛川乳幼児未来学会 |
| 6月26日 | 教育研究部 園務主任研修会 | 2 | 未来学会 |
| 6月27日 | 掛川市子育て支援所連絡会 | 1 | こども政策課 |
| 6月28日 | マネジメントの理解 | 2 | 未来学会 |
| 6月28日 | 掛川市保育等キャリアアップ研修 | 1 | 未来学会 |
| 6月28日 | 新人部会 | 2 | |
| 6月29日 | 未来学会健康安全部 | 1 | 未来学会 |
| 6月29日 | 今求められる危機管理体制とは？ | 1 | 未来学会 |
| 7月1日 | 療育後援会 | 12 | 小笠保育士会 |
| 7月4日 | 開発会議 | 2 | |
| 7月10日 | 未来学会キャリアアップ研究部 | 1 | 未来学会 |
| 7月20日 | 第2回歳児別グループ研修会 | 1 | 掛川小笠保育士会 |
| 7月21日 | 未来学会健康安全研究部会 | 1 | 未来学会 |
| 7月25日 | 未来学会あそび研部「教材研究」 | 3 | 掛川市教育委員会 |
| 7月26日 | 掛川市子育て支援所連絡会 | 1 | こども政策課 |
| 7月26日 | 幼児教育の意義 | 2 | 静岡県保育連合会 |
| 7月27日 | 幼児の発達に応じた保育内容。幼児教育の指導計画記録及び評価 | 2 | 静岡県保育連合会 |
| 7月28日 | 幼児教育の環境 保育の原理再考とともに 小学校との接続 学校を楽しみにしている子どもたち | 2 | 静岡県保育連合会 |
| 8月4日 | 第2回リズム表現と遊び | 3 | 掛川市教育委員会 |
| 8月7日 | みなみめばえ事例検討 | 1 | こども発達支援センター |
| 8月9日 | 未来学会キャリアアップ | 2 | 未来学会 |
| 8月22日 | 掛川市子育て支援所連絡会 | 1 | こども政策課 |
| 8月24日 | 未来学会キャリアアップ研究部 | 2 | 未来学会 |
| 8月24日 | 〃 | 2 | 未来学会 |
| 8月24日 | かけがわ乳幼児教育未来学会 発達支援研究部会 第2回講話1 | 2 | 未来学会 |
| 8月25日 | 5年後に向けて保護者からも職員からも選ばれる園づくりを | 1 | 未来学会 |
| 8月30日 | 保育士・保育教諭研修会（危機管理） | 9 | 静岡県保育会 |
| 9月7日 | 未来学会園経営研究部講演会 | 3 | 未来学会 |
| 9月8日 | 開発会議 | 2 | 掛川市教育委員会 |
| 9月14日 | 第3回歳児別グループ研修会 | 1 | 掛川小笠保育士会 |
| 9月8日 | 開発会議 | 8 | 掛川小笠保育士会 |
| 9月14日 | 第3回歳児別グループ研修会 | 1 | 掛川小笠保育士会 |
| 9月16日 | 研究発表 | 8 | 掛川小笠保育士会 |
| 9月20日 | 保健衛生・安全対策～保健計画の作成と活用～ | 1 | 静岡県保育連合会 |
| 9月21日 | 保健衛生・安全対策 ～教育・保育施設などにおける事故防止及び事故防止 及び事故発生時の対応のためのガイドライン～ | 1 | 静岡県保育連合会 |
| 9月22日 | 未来学会健康安全研究部会 | 1 | 未来学会 |
| 9月26日 | 掛川市子育て支援所連絡会 | 1 | こども政策課 |
| 9月27日 | 掛川市子育て支援所連絡会 | 1 | こども政策課 |
| 10月11～13日 | キャリアアップ | 1 | 静岡県保育士連合会 |

| | | | |
|------------|----------------------------------|---|--------------------|
| 10月25日 | 掛川市子育て支援所連絡会 | 1 | こども政策課 |
| 10月26日 | 未来学会発達支援部研究部会 | 1 | 未来学会 |
| 10月10日 | 教職員指導技術研修「第二回教材研」 | 1 | 掛川市教育委員会 |
| 10月30日 | 3歳児部会 | 1 | |
| 11月1日 | 子育て支援員研修地域子育て支援コース | 1 | 静岡県健康福祉部 こども未来課 |
| 11月9日 | 乳幼児未来学会第三回園務主任研修会 | 1 | 未来学会 |
| 11月10日 | 開発会議 | 2 | 乳幼児未来学会 |
| 11月16日 | 園経営研究部第4回研修会 | 2 | 掛川市学校教育課 |
| 11月16日 | 第4回歳児別グループ研修会 | 1 | 未来学会 |
| 11月17日 | 教職員指導技術研修 | 1 | 掛川小笠保育士会 |
| 11月18日 | 第17回かけがわ教育の日 | 3 | 掛川市教育委員会 |
| 11月18日 | 教えから学びへ ～夢中で遊ぶように自ら学ぶ子を育てるには～ | 5 | 掛川市教育委員会 教育政策課 |
| 11月22日 | 主任保育士・主幹保育教諭研修会 | 1 | 静岡県保育士会 |
| 11月27日 | 桜木こどもの森 まなざし訪問 | 1 | こども希望課 |
| 11月29日 | 初任職員研修会 | 1 | 掛川市教育委員会 |
| 12月4日 | リーダーシップについて | 1 | 静岡県保育連合会 |
| 12月4日～6日 | キャリアアップ研修 マネジメント（西部） | 1 | 静岡県保育連合会 |
| 12月5日 | マネジメントの理解 組織目標の設定 | 1 | 静岡県保育連合会 |
| 12月6日 | 人材育成 働きやすい環境作り | 1 | 静岡県保育連合会 |
| 12月6日 | 保育士・保育教諭研修会 | 1 | 静岡県保育士会 |
| 12月11日～13日 | キャリアアップ研修 マネジメント（中部） | 1 | 静岡県保育連合会 |
| 1月23日 | 掛川市子育て支援所連絡会 | 1 | こども政策課 |
| 1月23日 | 掛川市幼児教育と小学校教育の円滑な接続 | 2 | 掛川市教育委員会 |
| 2月3日 | ほいくのつどい | 2 | 掛川小笠保育士会 |
| 2月6日 | 第7回開発会議 | 2 | 掛川市教育委員会 |
| 2月5日 | 中小連絡会 | 1 | |
| 2月13日 | 大坂小連絡会 | 3 | |
| 3月12日 | 歯科保健連絡会 | 1 | 徳育保健センター |

*大浜学園

- ・園長校長研究部会、園務教務研究部会、生徒指導部会に年4回ずつ出席
- ・全体研修会に5名参加(千浜小)
- ・園小連絡会を年2回実施
- ・異校種交流に正規職員参加(大坂小)

②施設内研修

*子育て支援研修会

- ・歳児別部会を各園1回ずつ実施、新人部会
- ・リーダー部会を年2回実施
- ・3園合同研修会を1回実施

*法人会議

- ・施設長会議、園長会、副園長会、給食会議を毎月1回実施、主幹会議を5回実施
- ・園内研修を毎月実施、必要に応じて適宜追加で実施
- ・リーダー会議は学期に1回実施
- ・幼児、乳児、学年会議は随時実施

11) 実習生・ボランティア受け入れ

| 種 別 | 期 間 | 延べ人数 | 学校・団体等 |
|------|-----------|------|----------|
| 保育実習 | 8/28～9/12 | 24 | 浜松学院短期大学 |

| | | | |
|-----------|-----------------|----|-------------|
| | 9/11～9/16 | 6 | 東海大学 |
| | 9/25～10/6 | 11 | 豊橋創造短期大学 |
| | 11/13～11/17 | 10 | 常葉短期大学（2人） |
| | 11/27～12/9 | 11 | 東海こども専門学校 |
| | 11/27～12/1 | 5 | 浜松みらい総合専門学校 |
| | 1/29～2/9 | 1 | 豊橋創造短期大学 |
| 中学生ボランティア | 8/2・8/4・8/7・8/9 | 8 | 大浜中 |
| インターンシップ | 7/25～7/27 | 12 | 小笠高校 |
| | 1/29～2/2 | 10 | 横須賀高校 |
| 計 | | 98 | |

12) 地域交流活動

| 種 別 | 期 日 | 参加人数 |
|-------------|--------|------|
| 野菜の苗植え | 5月14日 | 1人 |
| じゃがいも、玉ねぎ収穫 | 6月1日 | 8人 |
| さつまいもつるさし | 6月13日 | 7人 |
| 大根種まき | 9月8日 | 1人 |
| さつまいも掘り | 10月27日 | 7人 |
| 玉ねぎ植え | 11月2日 | 7人 |
| しめ縄作り | 12月18日 | 15人 |
| じゃがいも植え | 2月15日 | 2人 |
| 計 | | 48人 |

3 子育て支援センター事業

親子が気軽に利用して遊べる場、子育てをする親同士が知り合えるきっかけの場作りを目指して事業を進めてきた。今年度も感染対応として室内消毒を行い、感染防止に努めた。親子が利用しやすい対応や子育ての不安や悩み等を語り合うことができる温かい雰囲気となるような環境作りを心掛け、季節の遊びやイベント等、親子で楽しめるような内容を工夫して取り組んだ。また、育児の悩みの解消やヒントになるような講座を開催した。

天気の良い日は支援センター横のワイーの森でのびのびと遊ぶことができ、笑顔で親子の触れ合いを楽しむ姿が見られた。

今後も地域の親子の支援の場、安心できる場として、親子に親しまれるよう新しい活動を取り入れながら支援を進めていきたい。

1) 活動内容

ホール開放、支援活動、園庭開放、絵本読み聞かせ、身体測定、電話・来園相談等

| 月 | 支援活動内容 | 月 | 支援活動内容 |
|---|---------------------|----|--------------------------------|
| 4 | こいのぼり作り、母の日のプレゼント作り | 10 | 誕生会、ハロウィン製作 |
| 5 | | 11 | 親子交通教室、散歩バック作り 誕生会、育児力アップ講座 |
| 6 | 誕生会、父の日のプレゼント作り | 12 | クリスマスの製作、子育てフェア、歳児別サークル |
| 7 | プール遊び、七夕飾り作り、夏祭りごっこ | 1 | お正月遊び、鬼のお面作り、歳児別サークル |
| 8 | プール遊び | 2 | 誕生会、おひな様作り |

| | | | |
|---|--------------------------|---|-------|
| 9 | 歳児別サークル、お月見製作、祖父母プレゼント作り | 3 | 思い出製作 |
|---|--------------------------|---|-------|

開館時間 9:00~15:00 (室内消毒の為12:00~13:00は休み)

2) 利用者数(延べ人数)及び相談件数

| 月 | 利用者数(人) | | 相談件数(件) | 月 | 利用者数(人) | | 相談件数(件) |
|--------|---------|-----|---------|----|---------|-----|---------|
| | 大人 | 子ども | | | 大人 | 子ども | |
| 4 | 36 | 43 | 2 | 10 | 81 | 111 | 4 |
| 5 | 31 | 40 | 3 | 11 | 25 | 33 | 4 |
| 6 | 38 | 50 | 4 | 12 | 52 | 70 | 1 |
| 7 | 43 | 36 | 4 | 1 | 75 | 89 | 3 |
| 8 | 26 | 31 | 3 | 2 | 97 | 104 | 1 |
| 9 | 40 | 52 | 1 | 3 | 56 | 64 | 1 |
| 合計(年間) | | | | | 600 | 723 | 31 |

4 一時預かり幼稚園型事業

1号認定児を保護者の希望によって教育課程修了時以降、預かり保育を行った。

| 月 | 利用延べ人数 | 月 | 利用延べ人数 | 月 | 利用延べ人数 |
|--------|--------|----|--------|----|--------|
| 4 | 49 | 8 | 35 | 12 | 45 |
| 5 | 44 | 9 | 40 | 1 | 38 |
| 6 | 46 | 10 | 44 | 2 | 61 |
| 7 | 35 | 11 | 45 | 3 | 56 |
| 合計(年間) | | | | | 538 |

5 一時預かり一般型事業 令和3年11月~休止

一時預かり事業に配置する職員が確保できない為、休止。

令和5年度 事業報告附属明細書 おおさか子ども園拠点区分

令和5年度 事業報告の内容を補足する重要な事項について
該当事項なし。

令和5年度 ちはまこども園拠点区分事業報告書

1 令和5年度の総括

今年度は5月に新型コロナウイルスが5類感染症に移行されたことにより、感染状況を把握しながら園運営を行ってきた。5月には3、4、5歳児の親子遠足、7月には人数制限なしでの自由参観、3歳児給食試食会等計画していた行事をすべて実施することができた。運動会や発表会も、開園以来初めて来賓を招待して行うことができ、園の様子や子どもたちの成長を見てもらうことができた。また、11月には保護者を対象として、『スマホのある子育てを考えよう』というテーマで講演会を開催し、保護者から「メディアとの付き合い方を見直すきっかけになった。」という意見も多数いただくなど、保護者支援の活動も出来るようになった。

保育面では、本年度も園目標に向けて取り組む中で、子どもの思いに寄り添い、思いを受け止めたり共感したりすることが安定の基盤となり、子どもたちが自分の思いを出して生活する姿へとつながった。長い廊下やエントランスなど、園の環境を最大限に生かした保育環境を作ったことで、異年齢児の関わりが深まった。また、環境を再構成していくことで遊びへの意欲を引き出し「やってみよう」と心を動かし遊ぶ姿へとつながった。園内研修では支援が必要な子への対応についての講演を2回行い、職員全員で共通理解し、具体的な支援方法を学び実践につなげることができた。12月に実施した保護者アンケートの結果では、99%が園の取り組みに満足、やや満足しているという結果となり、園評議員による園関係者評価では、日々の教育・保育や保護者対応への努力を感じるという評価を得ることができた。

運営面については、4月は定員130人に対し92人と70.8%の入園率でのスタートとなったが、5月から乳児を積極的に受け入れ、3月までに11人の園児を受け入れることが出来た。

設備面では昨年度から計画していた南園庭の園庭の砂の流出を防ぐための改修工事を9月に実施することが出来た。

子育て支援センター事業については、毎月手作りのフォトスポットを用意したり、子育ての不安等相談ができる温かな関わりを大切にしてきた。また、栄養士が離乳食の個別相談等を行うなど、地域の未就園児の親子が支援センターを身近に感じ、子育てを楽しみながら利用できるように努めた。

2 事業内容報告

1) 園児数月別報告 (R5.4.1～R6.3.31) 定員130名 (1号45名、2号45名、3号40名)

| 歳月 | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | | 18 | 4歳児 | | 23 | 5歳児 | | 計 | 定員割合 (%) |
|----|-----|-----|-----|-----|---------|----------|---------|----------|----|---------|----------|-----|----------|
| | | | | 1号 | 2号 | | 1号 | 2号 | | 1号 | 2号 | | |
| 4 | 1 | 14 | 15 | 21 | 1号 6 | 2号 15 | 1号 4 | 2号 14 | 23 | 1号 7 | 2号 16 | 92 | 70.8 |
| 5 | 5 | 14 | 15 | 21 | 1号 6 | 2号 15 | 1号 4 | 2号 14 | 23 | 1号 7 | 2号 16 | 96 | 73.8 |
| 6 | 5 | 15 | 15 | 21 | 1号 6 | 2号 15 | 1号 4 | 2号 14 | 23 | 1号 7 | 2号 16 | 97 | 74.6 |
| 7 | 6 | 15 | 15 | 21 | 1号 6 | 2号 15 | 1号 4 | 2号 14 | 23 | 1号 7 | 2号 16 | 98 | 75.4 |
| 8 | 6 | 15 | 15 | 22 | 1号 6 | 2号 16 | 1号 4 | 2号 14 | 23 | 1号 7 | 2号 16 | 99 | 76.2 |
| 9 | 8 | 14 | 15 | 22 | 1号 6 | 2号 16 | 1号 4 | 2号 14 | 23 | 1号 7 | 2号 16 | 100 | 76.9 |
| 10 | 8 | 14 | 15 | 22 | 1号 6 | 2号 16 | 1号 4 | 2号 14 | 23 | 1号 7 | 2号 16 | 100 | 76.9 |
| 11 | 9 | 14 | 15 | 23 | 1号 7 | 2号 16 | 1号 4 | 2号 14 | 23 | 1号 7 | 2号 16 | 102 | 78.5 |
| 12 | 9 | 15 | 15 | 23 | 1号 7 | 2号 16 | 1号 3 | 2号 14 | 23 | 1号 7 | 2号 16 | 102 | 78.5 |

| 歳 月 | 0歳 児 | 1歳 児 | 2歳 児 | 3歳児 | | | 4歳児 | | | 5歳児 | | 計 | 定員割合 (%) | |
|--------|---------|---------|---------|-----|----------|-----------|-----|----------|-----------|-----|----------|-----------|-------------|------|
| | | | | 1号 | 7 | | 17 | 1号 | | 3 | 23 | | | 1号 |
| 1 | 9 | 15 | 15 | 22 | 1号 2号 | 7 15 | 17 | 1号 2号 | 3 14 | 23 | 1号 2号 | 7 16 | 101 | 77.7 |
| 2 | 9 | 15 | 15 | 22 | 1号 2号 | 7 15 | 17 | 1号 2号 | 3 14 | 23 | 1号 2号 | 7 16 | 101 | 77.7 |
| 3 | 9 | 15 | 15 | 22 | 1号 2号 | 7 15 | 17 | 1号 2号 | 3 14 | 23 | 1号 2号 | 7 16 | 101 | 77.7 |
| 合計 | 84 | 175 | 180 | 262 | 1号 2号 | 77 185 | 212 | 1号 2号 | 44 168 | 276 | 1号 2号 | 84 192 | 1189 | 76.2 |

2) 学級編成・職員数

3月31日現在 (人)

| クラス | 年 齢 | 男児 | 女児 | 計 | 外国人 | 要支援 児 | 職員 |
|-------------|-----|----|----|-----|-----|----------|----|
| ひよこ | 0歳児 | 5 | 4 | 9 | | | 4 |
| りす | 1歳児 | 9 | 6 | 15 | 1 | | 3 |
| うさぎ | 2歳児 | 7 | 8 | 15 | 2 | | 3 |
| ぱんだ | 3歳児 | 6 | 5 | 11 | 1 | 1 | 1 |
| こあら | 3歳児 | 7 | 5 | 11 | 2 | 1 | 1 |
| きりん | 4歳児 | 12 | 6 | 17 | 1 | 1 | 1 |
| ぞう | 5歳児 | 14 | 9 | 23 | 2 | 2 | 1 |
| 給食業務 担任外 | | | | | | | 3 |
| 支援センター | | | | | | | 10 |
| 計 | | 59 | 43 | 101 | 9 | 5 | 29 |

正規 11人
非常勤 18人

3) 年間主要行事

| 月 | 行 事 内 容 | 月 | 行 事 内 容 |
|---|--|----|--|
| 4 | 入園式 始業式 尿検査 | 10 | 運動会 どんぐり拾い 内科健診 サツマイモ収穫 収穫祭 |
| 5 | 親子バス遠足 玉葱収穫 サツマイモつるさし いちご摘み 園小合同避難訓練 内科健診 園小連絡会 交通安全教室 民生委員訪問 | 11 | 玉葱苗植え 参観・講演会 福祉施設防災訓練 防犯教室 |
| 6 | 体操教室 園小交流 歯科健診 ジャガイモ掘り 家族参観 園小交流会 プール開き 園評議員訪問 花火教室 | 12 | 発表会 (4,5歳) クリスマス会 しめ縄飾り作り (5歳) 終業式 |
| 7 | 七夕会 夏まつり 自由参観 終業式 個別懇談 | 1 | 始業式 餅つき会 茶道体験 園小合同避難訓練 陶芸教室 発表会 (2,3歳) |
| 8 | 個別懇談 | 2 | 豆まき会 交通安全教室 茶道体験 陶芸教室 |
| 9 | 始業式 祖父母参観 交通安全教室 | 3 | ひな祭り会 座禅体験 お別れ会 修了式 卒園式 |

4) 避難訓練 年間を通して12回（地震訓練9回、火災訓練2回、洪水訓練1回）を実施した。

| 月 | 日 | 訓練種別 | 災害状況想定 | 訓練目的及び内容 |
|----|----|--------|-------------------------------|---|
| 4 | 25 | 避難誘導訓練 | 保育中中度地震発生 | 地震の合図、避難方法を知る。 |
| 5 | 17 | 避難誘導訓練 | 保育中強度地震・津波発生 | 地震、津波発生。千浜小3階への避難方法を知る。(4, 5歳) |
| 6 | 28 | 避難誘導訓練 | 保育中中度地震発生 | 地震発生。避難方法を確認する |
| 7 | 19 | 避難誘導訓練 | 保育中火災発生 | 火災時の避難方法を確認する。 |
| 8 | 29 | 避難誘導訓練 | 水遊び中中度地震発生 | 水遊び中での避難方法を確認する。 |
| 9 | 4 | 総合防災訓練 | 保育中強度地震発生 | 保護者への引き渡し方法の確認をする。 防災庫の用品の確認をする。 |
| 10 | 19 | 避難誘導訓練 | 保育地震発生 | 南門付近が変わったため、避難の仕方を知る。 |
| 11 | 2 | 総合防災訓練 | 社会福祉施設の防災訓練 (強度地震発生後、火災発生) | 様々な訓練を行い、保育者自身の災害への意識を高めていく。(消火訓練・通報訓練・炊き出し訓練・救護訓練) 防災倉庫の用品を点検。 |
| 12 | 11 | 避難誘導訓練 | 昼寝後、給食室より火災発生 | 地震と火災の避難方法の違いを理解して行動する。 |
| 1 | 16 | 避難誘導訓練 | 保育中強度の地震・津波発生 | 地震、津波発生。小学校合同避難訓練として小学校3Fまで避難をする。 |
| 2 | 9 | 避難誘導訓練 | 保育中強度の地震・津波発生 (抜き打ち訓練) | 抜き打ちでの避難訓練を実施し、避難方法を確認する。 |
| 3 | 4 | 避難誘導訓練 | 保育中強度の地震発生 (抜き打ち訓練) | 避難、消火活動についての確認をし、職員の災害に対する危機意識を高める。 |

5) 不審者訓練

年間計画に基づき、園児や職員が不審者への対応や安全確保の仕方について12回の訓練を行った。また、11月には掛川警察署による講習を行ない、不審者に対しての話や実践訓練等、園児にも判りやすい指導を受けた。

6) 健康管理

| 月 | 実施日 | 検査内容 | 対象者 | 備考 |
|----|------------|-------------|---------|-----------|
| 4 | 19 | 尿検査 | 3.4.5歳児 | 静岡県予防医学協会 |
| 5 | 19・23 | 内科健診 | 園児全員 | 笠原園医 |
| 6 | 7・21 | 歯科健診 | 園児全員 | 安間園医 |
| 6 | 21・29 7/3 | 健康診断 | 職員 | 笠南医療センター |
| 10 | 6・20 | 内科健診 | 園児全員 | 笠原園医 |
| 10 | 4・10・18・23 | インフルエンザ予防接種 | 職員 | 鷲山医院 |
| 12 | 25 | ストレスチェック | 職員 | 静岡県予防医学協会 |

*4.5歳児 フッ素洗口実施 *職員の保菌検査毎月実施。(給食担当者は月2回実施)

7) 訪問・教室

茶道体験(5歳児)及び体操教室(4,5歳児)はそれぞれ年間3回行った。
くにやす苑とは年6回のリモートでの交流を行った。

8) 延長保育利用者数 (7:00~7:29)

| 月 | 一日平均(人) | 月 | 一日平均(人) | 月 | 一日平均(人) |
|---|---------|----|---------|----|---------|
| 4 | 4.2 | 8 | 4.1 | 12 | 3.7 |
| 5 | 3.5 | 9 | 3.4 | 1 | 3.5 |
| 6 | 4.1 | 10 | 4.3 | 2 | 3.9 |
| 7 | 4.1 | 11 | 2.9 | 3 | 3.9 |

※年間延べ人数 914人 1日平均 3.8人

9) 給食(食育)

給食を楽しみの一つとし、生きる力の素となるよう、安心安全な調理を心掛けた。また、アレルギー児への除去食や乳児への離乳食等も、保護者と密に相談しながら提供することができた。

給食担当者がクラスへ出向いて園児の食べる様子を見たり、担任に聞き取りをしたりすることで個々の嗜好や適切な食事量を知り、成長に必要な栄養量の確保に努めた。特に極端な偏食のある園児に対し、毎日の御飯に強化米等を加えることで栄養バランスが崩れないよう注意を払った。

年2回の給与栄養目標量の算定と4月と10月の身体測定をもとに身体発育調査を行い、肥満ややせの判定をしながら栄養量が適切であったか確認すると共に、必要に応じて園児と保護者に食生活の指導を行った。

また、食材展示や栄養指導(もぐもぐ講座)、食育紙芝居の読み聞かせを行ない、食材や栄養にも興味や関心を持たせ、食べる意欲を育てるよう努めた。実際に季節の野菜や魚の解体ショーを行い見たり触れたり感触を楽しむ等の展示も行ない食の大切さを発信した。

保護者に対しては、毎日のサンプル食を展示し、アンケート調査、給食だよりの配信を行った。エントランスに子どもに人気の給食レシピを掲示し、給食のメニューを家庭でも作れるように工夫したことで、園の給食を通して親子で食への関心が高まった。

また、毎月のおおさかこども園、きとうこども園との給食会議では、新メニューの検討や食品衛生についての最新情報の確認を行った。

10) 主な職員研修

①施設外研修

| 月 日 | 研 修 名 | 人数 | 主 催 者 |
|-------|------------------------|----|-------------------------------|
| 4月14日 | 特別支援コーディネーター研修会 | 1 | 掛川市こども希望課 |
| 4月22日 | 掛川小笠保育士会総会、講演会 | 3 | 掛川小笠保育士会 |
| 5月16日 | 県保連総合会西部支部研修会 | 1 | 静岡県保育連合会 |
| 5月18日 | 掛川小笠保育士会給食研修会 | 1 | 掛川小笠保育士会 |
| 5月20日 | かけがわ乳幼児教育未来学会総会記念講演 | 10 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 5月27日 | 小笠地区乳幼児保健会総会、講演会 | 1 | 小笠地区乳幼児保健会 |
| 5月30日 | 県保育士会総会 | 1 | 静岡県保育士会 |
| 6月13日 | 未来学会遊び研究部研修 | 1 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 6月14日 | 未来学会教育研究部公開保育 | 1 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 6月14日 | 大浜学園全体研修会 | 4 | 大浜学園 |
| 6月16日 | 第1回掛川市幼児教育と小学校説読研修会 | 1 | 掛川市こども希望課 |
| 6月19日 | 未来学会キャリアアップ研修会(幼児教育) | 3 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 6月21日 | 中堅職員研修会 | 1 | 静岡県保育連合会西部支部 |
| 6月22日 | 静岡県保育連合会総会、所長研修会 | 1 | 静岡県保育連合会 |
| 6月22日 | 未来学会発達支援部研修会 | 1 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 6月28日 | 未来学会キャリアアップ研修会(マネジメント) | 3 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 6月29日 | かけがわ未来学会健康安全部研修会 | 1 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 7月1日 | 療育講演会 | 7 | 掛川小笠保育士会 東遠学園組合 西部健康福祉センター |
| 7月21日 | かけがわ未来学会健康安全研究部研修会 | 1 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 月 日 | 研 修 名 | 人数 | 主 催 者 |

| | | | |
|-----------|----------------------|---|------------------|
| 7月25日 | かけがわ未来学会遊び研究部研修 | 1 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 7月4日～6日 | キャリアアップ研修会（障害児保育） | 1 | 静岡県保育連合会 |
| 7月10日 | 未来学会キャリアアップ研修会（幼児保育） | 2 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 7月26日 | 特別支援コーディネーター研修会 | 1 | 掛川市こども希望課 |
| 7月26日27日 | 防火管理者講習 | 1 | 掛川市消防署 |
| 8月1日 | かけがわ未来学会教育研究部研修会 | 1 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 8月4日 | かけがわ未来学会遊び研究部研修会 | 1 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 8月9日 | 未来学会キャリアアップ（マネジメント） | 3 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 8月21日 | 未来学会キャリアアップ（幼児保育） | 2 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 8月24日 | かけがわ未来学会発達支援研究部研修 | 1 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 8月24日 | 未来学会キャリアアップ（マネジメント） | 3 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 8月25日 | かけがわ未来学会園経営研究部研修会 | 1 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 9月6日 | 衛生推進者養成講習 | 1 | 静岡県労働貴人協会連合会 |
| 9月7日 | かけがわ未来学会遊び研究部研修会 | 1 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 9月16日 | 掛川小笠保育士会研究発表 | 1 | 掛川小笠保育士会 |
| 9月19日 | 未来学会キャリアアップ（幼児保育） | 1 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 9月21日 | かけがわ未来学会教育研究部研修会 | 1 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 9月22日 | かけがわ未来学会健康安全部研修会 | 1 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 9月22日 | 社会福祉法人予算管理講座（ズーム） | 3 | 静岡県社会福祉協議会 |
| 10月11～13日 | キャリアアップ研修会（保護者支援） | 1 | 静岡県保育連合会 |
| 10月19日20日 | 全国保育士会研究大会 | 1 | 全国保育士会 |
| 10月26日 | かけがわ未来学会発達支援研究部研修 | 1 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 11月1日 | 子育て支援員研修 | 1 | 静岡県健康福祉部 |
| 11月7日 | キャリア形成セミナー | 1 | 静岡県経済産業部 労働雇用政策課 |
| 11月9日 | かけがわ未来学会教育研究部研修会 | 1 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 11月9日 | 小児医療研修会 | 1 | 静岡県保育連合会西部支部 |
| 11月10日 | かけがわ未来学会健康安全部研修会 | 1 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 11月17日 | かけがわ未来学会遊び研究部研修会 | 1 | かけがわ乳幼児教育未来学会 |
| 11月18日 | かけがわ教育の日 | 3 | 掛川教育委員会 |
| 11月22日 | 主任保育士・主幹保育教諭研修会 | 1 | 静岡県保育士会 |
| 12月6日 | 保育士・保育教諭研修会 | 1 | 静岡県保育士会 |
| 12月11～13日 | キャリアアップ研修会（マネジメント） | 1 | 静岡県保育士会 |
| 1月23日 | 第2回掛川市幼児教育と小学校説読研修会 | 1 | 掛川市こども希望課 |
| 1月26日 | 静岡県人権教育指導者研修会（リモート） | 1 | 静岡県教育委員会 |
| 2月3日 | 保育のつどい | 4 | 掛川小笠保育士会 |
| 2月5日 | 保育士・保育教諭研修会（食育） | 1 | 静岡県保育士会 |
| 2月19日 | 就学に向けた説明会 | 1 | 掛川市教育委員会 |

大浜学園

- ・園長校長研究部会、園務教務研究部会、生徒指導研究部会に年4回ずつ出席。
- ・全体研修会に4名参加。
- ・園小連絡会を年2回実施。
- ・異校種交流に正規職員全員参加(千浜小・大坂小)

②施設内研修

☆子育て支援部研修

- ・歳児別部会を各園1回ずつ実施。
- ・リーダー部会を年2回実施。

☆法人会議

- ・施設長会議、園長会、副園長会、給食会議を毎月1回実施。主幹会議を適宜実施。

☆園内会議・研修

- ・園内研修 月1回実施。

- ・職員会議 月1回実施。
- ・乳児幼児会議 月1回実施。
- ・支援を要する園児のケース会議を実施。
- ・掛川市こども希望部園訪問11月。

11) 実習生・ボランティア受け入れ

| 種 別 | 期 間 | 延べ人数 | 学校・団体等(実人数) |
|----------|-------------|------|--------------|
| インターンシップ | 1月29日～2月2日 | 10 | 横須賀高校(2) |
| ボランティア | 8月4日 | 1 | 大浜中学校(1) |
| 保育実習 | 5月15日～6月9日 | 20 | 浜松学院大学(1) |
| | 5月22日～6月3日 | 10 | 常葉大学(1) |
| | 5月29日～6月16日 | 15 | 浜松学院短期大学部(1) |
| | 8月7日～8月9日 | 3 | 常葉大学(1) |
| | 8月8日～8月10日 | 3 | 常葉大学(1) |
| | 1月29日～2月14日 | 12 | 浜松学院短期大学部(1) |
| | 2月7日～2月21日 | 10 | 常葉大学(1) |
| | 2月19日～2月26日 | 5 | 浜松学院短期大学部(1) |
| 職業体験 | 8月29日～8月31日 | 3 | 城東中学校(1) |
| | 10月2日～10月4日 | 12 | 大浜中学校(4) |
| 3年次職員研修 | 7月26日～7月28日 | 3 | 掛川市立大坂小学校(1) |
| | 計 | 107 | |

12) 地域交流・ボランティア

| 種 別 | 期 間 | 延べ人数 | 団体等 |
|---------------|--------|------|---------|
| 絵本読み聞かせボランティア | 6月～3月 | 26 | わたぼうし |
| 畑の先生 | 5月～2月 | 20 | 千浜地区の皆様 |
| しめ縄飾り作り指導 | 12月20日 | 9 | 千浜地区の皆様 |
| | 計 | 55 | |

3 子育て支援センター事業

利用日が週3日となっており、地域の親子が中心に利用した。親子が遊べる場、子育て中の親同士が知り合えるきっかけづくりの場として、気軽に利用してもらえるように提案してきた。

年度初めは新型コロナウイルス感染予防対策をして、一度の利用が5組以上にならないようにしていたが、5類移行後は制限をなくした。

0歳児の利用も多く、離乳食への移行や子育ての相談に対応し、栄養士による離乳食相談も行った。子育ての不安や悩み等を語り合うことができる、温かい雰囲気となるような環境作りを心掛けフोटスポットの設置や、製作遊び、季節の遊び等、親子で楽しみながら子どもの成長を感じられるような内容を工夫し取り組んだ。

1) 活動内容

| | | | |
|----------|----|-------|---------------|
| ・センター開放日 | 毎週 | 火～木曜日 | 9時00分～15時00分 |
| ・支援活動 | 毎週 | 火～木曜日 | 10時00分～10時30分 |
| ・園庭開放 | 毎週 | 火～木曜日 | 10時30分～15時00分 |
| ・絵本読み聞かせ | 毎週 | 水曜日 | 10時30分～ |
| ・身体測定 | 毎月 | 2回 | |
| ・電話・来園相談 | 毎週 | 火～木曜日 | 9時00分～15時00分 |

| 月 | 内 容 | 月 | 内 容 |
|---|--|----|--|
| 4 | こいのぼり作り ふれあい遊び 母の日のプレゼント作り | 10 | 手作りおもちゃ作り 小麦粉粘土遊び 園外散歩 ハロウィン飾り作り |
| 5 | ふれあい遊び 小麦粉粘土遊び 手形足形製作 | 11 | 風船遊び 園外散歩 体操教室 製作遊び 手形足形製作 |
| 6 | 風船遊び 園外散歩 じゃがいも掘り 父の日のプレゼント作り さかな釣りゲーム シャボン玉遊び | 12 | クリスマス製作（オーナメント、帽子、 スノードーム） 3支援センター合同クリスマス会 |
| 7 | 七夕飾り作り 水遊び 足形製作 | 1 | お正月遊び 手形足形製作 製作遊び 小麦粉粘土 |
| 8 | 水遊び 食育講座 夏祭り | 2 | 鬼退治をしよう 手形足形製作 サーキット お雛様製作 |
| 9 | 敬老の日のプレゼント作り お散歩バッグ作り 足形製作 手作りおもちゃ作り | 3 | 足形製作 園外散歩 小麦粉粘土 |

2) 利用者数(延べ人数)及び相談件数

| 月 | 利用者数（人） | | 相談件数 （件） | 月 | 利用者数（人） | | 相談件数 （件） |
|--------|---------|-----|-------------|----|---------|-----|-------------|
| | 大人 | 子ども | | | 大人 | 子ども | |
| 4 | 24 | 24 | 2 | 10 | 23 | 25 | 4 |
| 5 | 15 | 18 | 3 | 11 | 25 | 35 | 2 |
| 6 | 24 | 22 | 4 | 12 | 14 | 20 | 3 |
| 7 | 19 | 23 | 1 | 1 | 12 | 17 | 3 |
| 8 | 10 | 11 | 4 | 2 | 27 | 44 | 4 |
| 9 | 41 | 43 | 5 | 3 | 30 | 45 | 3 |
| 合計（年間） | | | | | 264 | 327 | 38 |

4 一時預かり幼稚園型事業

1号認定児の保護者からの申請により、教育課程終了時以降、預かり保育を行った。

| 月 | 利用延べ人数 | 月 | 利用延べ人数 | 月 | 利用延べ人数 |
|--------|--------|----|--------|----|--------|
| 4 | 32 | 8 | 18 | 12 | 27 |
| 5 | 31 | 9 | 33 | 1 | 24 |
| 6 | 42 | 10 | 36 | 2 | 30 |
| 7 | 30 | 11 | 32 | 3 | 29 |
| 合計（年間） | | | | | 364 |

令和5年度 事業報告附属明細書 ちはまこども園拠点区分

令和5年度 事業報告の内容を補足する重要な事項について
該当事項なし。

令和5年度 大東苑及び障害福祉拠点区分 事業報告

1 令和5年度の総括について

利用者一人ひとりの今の喜び、楽しみを共に感じ合い、分かち合い、かけがえのない時間を一緒に積み重ねていくことが支援者として求められている。何の為の、誰の為の介護であるのか、常に自問しながら、プロとしてしっかり利用者にお応えしていかなければいけない。日々のケアについて進んで学習し、研鑽する組織づくりを目指し、「人材を育てる」、「チーム意識の強化」、「感染対応力の高い施設になる」の3項目を重点目標とした。

(1) 人材を育てる

取り組み内容：

ア 上司との個人面談の実施（年1回）と評価の実施（例年）

イ 研修ネット配信プログラム、介護保険情報検索サービスの導入等による学ぶ環境の整備

ウ 人材開発支援助成金を活用し、資格取得に向けた研修受講の促進

効果及び評価

個人面談を進めるに当たり、課題の確認と今期の取り組みを共有できたが、具体的なアプローチが明確でなく、効果的に展開できなかった。職員が意欲的に取り組める仕組みとして、プランの共有、具体的な取り組みの確認、定期的な評価というプロセスの定着化が必要である。

介護情報の確認手段として「介護さがせるネット」の導入、施設内研修の充実に向け「フォローアップ研修ネット」の導入等、情報環境及び研修環境を整えた。便利にはなったが、個別な活動に限られがちである。同僚との意見交換、気づきの共有を経て、それぞれの意識、行動の変化という成果が認めにくかった。

介護福祉士資格未取得者に関し、必要な研修の受講を計画的に進めた。また、関連資格取得に積極的な職員もおり、今後もバックアップしていく。

(2) チーム意識の強化

取り組み内容：

ア 調査・アンケート等の実施により職員意向の把握に努め、適切な対応を協議

イ 多くのメンバーが参加しやすい委員会活動を調整

効果及び評価

各種委員会、意識調査等の実施等により把握された課題については適宜協議の上改善に努めた。大東苑は多くの事業所があり、多くの職種が働く職場環境にある。その特徴を活かし職員相互の関わりを大切にしている。引き続き縦横の連携の機会を積極的に設けていく。いいことはいいと互いを評価でき、おかしいと思うことはおかしいと意見できる風通しの良い職場環境とし、管理職、リーダー職とも育て育む意識の涵養に努めていく。

(3) 感染対応力の高い施設になる

取り組み内容：

ア 職員の感染予防対策に関して、感染委員会を中心に研修の実施、情報交換等を継続した。

イ 感染発生時においても柔軟に事業運営が継続できるよう、介護職員に関わらず、サポートスタッフ含め業務をシェアしていく視点から短時間勤務者等の採用により人員の確保に努めた。

効果及び評価

各職員において感染対策の基本は定着してはいるが、継続的な注意喚起は必要である。また、人員体制上の備えに関しては、年度期間では退職者数が採用者数を上回っている状況となっているため、通常事業の体制確保が優先となり、事業所間の相互協力体制に到っていない。

(4) 利用目標と結果

| 事業所 | 目標 | 結果 | 事業所 | 目標 | 結果 |
|--------------|-----------------|-------|----------------------|-----------------|-------|
| 大東苑 | 利用率 98% | 95.2% | 大東ショートステイサービス | 月間平均利用者数 11人 | 11.2人 |
| 大東デイサービスセンター | 月間平均利用者数 43人 | 41.2人 | 大東デイサービスセンター なかよし | 月間平均利用者数 8人 | 5.8人 |

| | | | | | |
|------------------|------------------------|----------|-----------------|-----------------------|-------|
| 大東ヘルパー ステーション | 月間平均利 用時間 455 時間 | 389.4 時間 | 大東居宅介護 支援事業所 | 月間平均作 成件数 285 件 | 278 件 |
|------------------|------------------------|----------|-----------------|-----------------------|-------|

各部署の取り組み

(大東苑)

今年度は、利用者の尊厳を守り、大東苑で過ごす日々安心して安全を感じてもらえるように、職員一人ひとりが利用者を知ること力を入れて取り組むことができた。日々の生活の中で利用者の精神的変化や身体的変化について、職員一人ひとりが意識して周りの職員へ情報発信を行い、“報告連絡相談”を繰り返しながらチームケアを提供することができた。また、ブロック会議を通して、個別ケアについて話し合い、ケアの質の向上に向けた取り組みを意識して行うことができた。

しかし、今年度を通して認知症ケアへの理解と接遇の改善について力を入れて取り組んできたが、まだ接遇面において改善が必要である。今後も利用者の尊厳とその人らしさを大切にケアを提供していくために、会議や研修を通して接遇の改善と不適切ケアの排除について職員一人ひとりが理解を深め、ケアの質の向上をしていけるよう取り組んでいきたい。そして、来年度も大東苑で過ごされる利用者が安心して暖かみを感じてもらえるように利用者一人ひとりに向き合い、その人らしい生活を大切にチームケアを提供していきたい。

(大東ショートステイサービス)

体調不良や施設入所等の理由により利用が中止、停止となる方が多い月もあったが、新規利用の希望も継続的にあり、利用状況が大幅に下がることはなく目標にも到達することが出来た。日頃よりケアマネージャーや家族との情報交換ややりとりを丁寧に行ってきた結果であると考えられる。引き続きより良い信頼関係の構築に努めたい。

ショートステイ会議は、毎月行うことが出来なかった。情報共有やケアの統一、研修などにおいても重要であるため、開催時間なども検討して職員が一丸となってショートステイを盛り上げていけるように話し合いが出来る場を設けていきたい。

研修の機会として、介護職員全員が他施設への視察に参加した。活動内容、業務内容等、取り入れてみたいことや参考となることが多かった。自分たち施設の中だけでは感じなかったことや、どのようなショートステイを目指して行けばいいのか等、改めて職員各自が顧みる貴重な機会となり、スキルアップにも繋がった。今後は施設間交流なども行い、さらに1つ上のサービスを提供できるよう努めていきたい。

(大東デイサービスセンター)

自立支援を促すために、取り組んでいる体操の効果について機能訓練担当職員より丁寧な説明を行い、意欲的に参加していただけるよう努めた。自宅での生活維持、継続に向け、少しでも出来ることが増やせるようチームとして利用者一人ひとりの状態の把握に努めた。利用者とのコミュニケーションを大切にすなかで、身体面や精神面の変化に関する視点も意識し、個人の気づきを職員間で共有しながら統一したサービスの提供を心掛けた。利用者とのコミュニケーションは基本であるが、サービスマナーを常に意識していかなければいけない。利用者一人ひとりとの良い関係づくりに今後も取り組んでいきたい。

(大東デイサービスセンターなかよし)

利用者が不安なく穏やかに過ごすことができる場を提供し、手厚い心のケアを届けることを心掛けた。その日その時の様子に気を配り、一緒に寄り添う時間を設ける等しながら心穏やかに過ごせるよう努めた。フロアでの時間に加えて、外気浴に出かける等効果的な気分転換にも配慮した。歩いて移動する、サイクルレーナーを活用する等、筋力低下予防を目的とした活動も取り入れながら1日のサービス内容を検討してきた。活動については、興味深く参加できる内容であることをまず考慮し、レクリエーションやおやつ作りを計画した。職員の学習する機会として、毎月のミーティングでミニ研修を実施してきたが、認知症ケアに関する知識、技術を深める研修や、他の事業所との情報交換の場へ参加する機会が持てなかった。

(大東ヘルパーステーション及び障害福祉サービス)

今年度のサービス利用率は前年度を下回ったが、新規契約数は介護保険・障害ともに前年度より多かった。入所や入院、看取り等でサービスが長期に続かないケースが多かった。営業活動として空き情報を月に1回各居宅介護支援事業所に配布し、他の事業所にも営業に行き、新規獲得に努めた。空き時間は事務ワークやデイサービスの応援に入った。サービスの質の向上のため、

ヘルパー会議で毎回ミニ研修を行い、個々のサービスについて見つめ直した。気になる内容は検討課題として取り上げ、職員間で話し合う機会を積極的に設けた。事業所内のコミュニケーションを大切にすることで、職員一人ひとりが利用者に寄り添う支援を目指すことが出来た。年々支援内容が細分化され、支援時間内に収まらないケースが増えているが、手順の見直しや支援内容を再度確認し合う事で良い解決策を見出せた。それが統一したサービスに繋がり、チーム力の向上にも繋がった。外部研修へはほとんど参加する事が出来なかったため、次年度は研修を計画的に実施し、さらに専門性の高い知識と技術の習得に努めていきたい。

(大東居宅介護支援事業所)

地域の拠点事業所としての認識を持ち、支援が困難な事例に対しても積極的に受け入れていく姿勢で臨んでいる。事業所内及び地域包括支援センターと共同し、事例検討会の機会を持ち、事業所全体で課題解決に向けて取り組む事ができた。また職員各自が自身のケアマネジメントスキルの課題を分析し、必要な研修に参加し、自己研鑽に努め、更に事業所内で情報共有を行い、事業所全体のスキルアップに努めた。感染症・災害時のBCPについても修正した物を作成し、教育的研修・シミュレーションを実施した。令和6年度は法改正で新しく規定された指定事項を遵守しつつ、適切なケアマネジメントが行われる様、今後の研修や指導を積極的に受けていきたい。

(掛川市南部大東地域包括支援センター)

包括への相談内容の中で「認知症に関する相談」が多いことから令和4、5年度(令和3、4年度新規認知症相談受付分83名)の相談内容分析を行った。その結果、令和5年度の傾向として、独居や高齢者世帯が増えていることもあり、周囲の者が対象者の異変に気づきにくく重症化してからの相談になっている事、家族の認知症への理解が薄く対応力が不足している事が分かった。分析内容を踏まえ、今年度は「認知症の理解」と「認知症予防」の観点で、「相談協力員懇話会」にて、民生委員をはじめとする関係者と「地域ケア会議」を6回開催した。また、法人内のQOL委員会(発表会)の中でも現状報告の機会を得ることができた。報告機会を得ても、課題に対する対策については十分な検討等が出来ておらず、具体的な取り組みについて方向性が見いだせていないのが現状である。「認知症の理解」においては、法人内のキャラバンメイトと共に「認知症サポーター養成講座」を全5回開催し、認知症の方やその家族を支える取り組みをすることができた。「チームオレンジ」の実施には至らなかった。「見守りネットワーク会議」へ13回参加し、地域との情報共有を行った。今後も、法人をはじめとし、関係機関との更なる連携強化を図りながら認知症施策へ取り組んでいく。

2 利用動向について

(1) 特別養護老人ホーム大東苑入所者延人数月別報告(定員50名)

| 月 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 計 | 利用率 |
|----|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 4 | 30 | 120 | 510 | 535 | 300 | 1,495 | 99.6% |
| 5 | 31 | 93 | 537 | 527 | 341 | 1,529 | 98.6% |
| 6 | 30 | 90 | 540 | 467 | 330 | 1,457 | 97.1% |
| 7 | 31 | 93 | 558 | 493 | 341 | 1,516 | 97.8% |
| 8 | 31 | 93 | 619 | 432 | 372 | 1,547 | 99.8% |
| 9 | 30 | 90 | 600 | 390 | 360 | 1,470 | 98.0% |
| 10 | 31 | 93 | 619 | 398 | 372 | 1,513 | 97.6% |
| 11 | 30 | 96 | 575 | 395 | 337 | 1,433 | 95.6% |
| 12 | 31 | 93 | 616 | 375 | 317 | 1,432 | 92.4% |
| 1 | 31 | 93 | 524 | 354 | 341 | 1,343 | 86.6% |
| 2 | 29 | 87 | 504 | 377 | 286 | 1,283 | 88.4% |
| 3 | 31 | 93 | 510 | 496 | 275 | 1,405 | 90.6% |
| 合計 | 366 | 1,134 | 6,712 | 5,239 | 3,972 | 17,423 | 95.2% |

地区別入所者及び待機者状況(令和6年3月31日時点)

| 地区 | 入所者 | 待機者 | 地区 | 入所者 | 待機者 |
|------|-----|-----|------|-----|-----|
| 掛川市 | 45 | 83 | 御前崎市 | 0 | 2 |
| 菊川市 | 1 | 8 | 県外 | 0 | 2 |
| 磐田市 | 0 | 0 | 計 | 46 | 97 |
| 牧之原市 | 0 | 2 | | | |

年間入退所状況

| 月 | 入所者数 | 退所者数 | 月末在苑数 | 月 | 入所者数 | 退所者数 | 月末在苑数 |
|---|------|------|-------|----|------|------|-------|
| 4 | 1 | 0 | 50 | 10 | 0 | 2 | 49 |
| 5 | 1 | 1 | 50 | 11 | 1 | 2 | 47 |
| 6 | 0 | 2 | 48 | 12 | 2 | 4 | 46 |
| 7 | 1 | 0 | 49 | 1 | 1 | 5 | 42 |
| 8 | 1 | 0 | 50 | 2 | 6 | 3 | 44 |
| 9 | 0 | 0 | 50 | 3 | 2 | 0 | 46 |

(2) 大東ショートステイサービス利用者延べ数月別報告 (定員 14名)

| 月 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 計 | 平均利用人数 |
|----|------|------|------|------|------|------|------|-------|--------|
| 4 | 2 | 0 | 48 | 168 | 48 | 49 | 15 | 330 | 11.0 |
| 5 | 0 | 0 | 68 | 158 | 51 | 49 | 14 | 340 | 10.9 |
| 6 | 0 | 0 | 57 | 126 | 68 | 53 | 14 | 318 | 10.6 |
| 7 | 5 | 0 | 58 | 164 | 68 | 55 | 19 | 369 | 11.9 |
| 8 | 5 | 0 | 67 | 124 | 89 | 62 | 17 | 364 | 11.7 |
| 9 | 5 | 0 | 67 | 104 | 99 | 58 | 6 | 339 | 11.3 |
| 10 | 5 | 0 | 69 | 139 | 79 | 51 | 0 | 343 | 11.0 |
| 11 | 5 | 0 | 60 | 125 | 77 | 54 | 0 | 321 | 10.7 |
| 12 | 4 | 0 | 81 | 111 | 87 | 47 | 0 | 330 | 10.6 |
| 1 | 5 | 2 | 71 | 110 | 104 | 56 | 0 | 348 | 11.2 |
| 2 | 5 | 15 | 74 | 109 | 90 | 52 | 0 | 345 | 11.9 |
| 3 | 5 | 4 | 73 | 125 | 85 | 52 | 0 | 344 | 11.0 |
| 合計 | 46 | 21 | 793 | 1563 | 945 | 638 | 85 | 4,091 | 11.2 |

(3) 大東デイサービスセンター利用者延べ数月別報告 (定員 55名)

| 月 | 事業対象 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 計 | 利用率 |
|----|------|------|------|-------|-------|-------|------|------|--------|-------|
| 4 | 25 | 61 | 49 | 429 | 382 | 52 | 42 | 0 | 1,040 | 75.6% |
| 5 | 32 | 43 | 66 | 517 | 445 | 57 | 45 | 0 | 1,205 | 81.1% |
| 6 | 21 | 39 | 43 | 470 | 434 | 72 | 50 | 0 | 1,129 | 78.9% |
| 7 | 47 | 70 | 47 | 480 | 407 | 84 | 57 | 0 | 1,192 | 83.3% |
| 8 | 23 | 67 | 45 | 502 | 409 | 99 | 65 | 0 | 1,210 | 81.5% |
| 9 | 14 | 57 | 43 | 445 | 386 | 76 | 70 | 0 | 1,091 | 76.3% |
| 10 | 14 | 55 | 46 | 453 | 374 | 82 | 80 | 0 | 1,104 | 77.2% |
| 11 | 18 | 62 | 70 | 428 | 322 | 93 | 71 | 0 | 1,064 | 74.4% |
| 12 | 12 | 52 | 74 | 430 | 296 | 105 | 63 | 0 | 1,032 | 72.2% |
| 1 | 12 | 58 | 88 | 414 | 243 | 113 | 49 | 0 | 977 | 74.0% |
| 2 | 11 | 59 | 84 | 377 | 304 | 112 | 56 | 0 | 1,003 | 72.9% |
| 3 | 8 | 55 | 80 | 401 | 303 | 109 | 47 | 0 | 1,003 | 70.1% |
| 合計 | 237 | 678 | 735 | 5,346 | 4,305 | 1,054 | 695 | 0 | 13,050 | 76.5% |

(4) デイサービスなかよし利用者延べ数月別報告 (定員 12名)

| 月 | 要支援1 | 要支援 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 計 | 利用率 |
|----|------|-----|------|------|------|------|------|-----|-------|
| 4 | 0 | 0 | 13 | 28 | 59 | 15 | 0 | 115 | 45.0% |
| 5 | 0 | 0 | 13 | 29 | 74 | 17 | 0 | 133 | 50.0% |
| 6 | 0 | 0 | 13 | 26 | 86 | 18 | 0 | 143 | 54.2% |
| 7 | 0 | 0 | 13 | 27 | 86 | 19 | 0 | 145 | 54.2% |
| 8 | 0 | 0 | 10 | 29 | 86 | 20 | 0 | 145 | 54.2% |
| 9 | 0 | 0 | 0 | 28 | 102 | 16 | 0 | 146 | 55.0% |
| 10 | 0 | 0 | 0 | 29 | 97 | 19 | 0 | 145 | 54.2% |

| | | | | | | | | | |
|----|---|---|----|-----|-----|-----|---|-------|-------|
| 11 | 0 | 0 | 0 | 38 | 63 | 18 | 0 | 119 | 46.7% |
| 12 | 0 | 0 | 0 | 40 | 77 | 18 | 0 | 135 | 50.8% |
| 1 | 0 | 0 | 0 | 13 | 82 | 13 | 0 | 108 | 45.0% |
| 2 | 0 | 0 | 0 | 13 | 69 | 12 | 0 | 94 | 36.7% |
| 3 | 0 | 0 | 0 | 11 | 77 | 9 | 0 | 97 | 36.7% |
| 合計 | 0 | 0 | 62 | 311 | 958 | 194 | 0 | 1,525 | 49.0% |

(5) 大東ヘルパーステーション利用者延べ数月別報告（介護保険ヘルパー）

| 月 | 事業対象 | 要支援 1 | 要支援 2 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 | 計 |
|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 4 | 0 | 12 | 12 | 63 | 169 | 66 | 72 | 20 | 414 |
| 5 | 0 | 9 | 13 | 81 | 175 | 61 | 75 | 18 | 432 |
| 6 | 0 | 9 | 14 | 74 | 170 | 62 | 74 | 20 | 423 |
| 7 | 0 | 9 | 13 | 55 | 153 | 88 | 71 | 18 | 407 |
| 8 | 0 | 8 | 14 | 56 | 142 | 78 | 63 | 17 | 378 |
| 9 | 0 | 8 | 12 | 49 | 139 | 65 | 60 | 19 | 352 |
| 10 | 0 | 9 | 13 | 55 | 90 | 134 | 62 | 18 | 381 |
| 11 | 0 | 9 | 13 | 50 | 94 | 139 | 60 | 18 | 383 |
| 12 | 0 | 4 | 12 | 56 | 84 | 142 | 62 | 22 | 382 |
| 1 | 0 | 5 | 12 | 74 | 89 | 119 | 62 | 20 | 381 |
| 2 | 0 | 4 | 13 | 65 | 99 | 111 | 58 | 33 | 383 |
| 3 | 0 | 4 | 12 | 60 | 121 | 117 | 62 | 31 | 407 |
| 合計 | 0 | 90 | 153 | 738 | 1525 | 1182 | 781 | 254 | 4,723 |

(6) 障害福祉サービス事業利用者延べ数月別報告（障害者ヘルパー）

| 月 | 精神障害者 | 身体障害者 | 計 |
|----|-------|-------|-------|
| 4 | 22 | 125 | 147 |
| 5 | 25 | 146 | 171 |
| 6 | 18 | 128 | 146 |
| 7 | 10 | 143 | 153 |
| 8 | 8 | 136 | 144 |
| 9 | 8 | 140 | 148 |
| 10 | 10 | 129 | 139 |
| 11 | 8 | 139 | 147 |
| 12 | 8 | 137 | 145 |
| 1 | 8 | 133 | 141 |
| 2 | 8 | 136 | 144 |
| 3 | 8 | 125 | 133 |
| 合計 | 141 | 1,617 | 1,758 |

(7) 大東居宅介護支援事業所プラン作成実件数月別報告

| 月 | 予防 | 要介護 1～2 | 要介護 3～5 | 予防 (0.5) | 要介護計 | 総計 | 一人当たり の件数 |
|----|----|------------|------------|-------------|------|-------|--------------|
| 4 | 41 | 185 | 61 | 20.5 | 246 | 266.5 | 33 |
| 5 | 38 | 184 | 66 | 19 | 250 | 269 | 33 |
| 6 | 40 | 179 | 67 | 20 | 246 | 266 | 33 |
| 7 | 40 | 176 | 68 | 20 | 244 | 264 | 33 |
| 8 | 39 | 174 | 70 | 19.5 | 244 | 263.5 | 33 |
| 9 | 40 | 171 | 74 | 20 | 245 | 265 | 33 |
| 10 | 40 | 166 | 75 | 20 | 241 | 261 | 33 |
| 11 | 43 | 168 | 70 | 21.5 | 238 | 259.5 | 32 |
| 12 | 42 | 167 | 69 | 21 | 236 | 257 | 32 |
| 1 | 44 | 163 | 72 | 22 | 235 | 257 | 32 |

| | | | | | | | |
|----|-----|-------|-----|-------|-------|--------|-----|
| 2 | 39 | 160 | 73 | 19.5 | 233 | 252.5 | 32 |
| 3 | 39 | 154 | 69 | 19.5 | 223 | 242.5 | 30 |
| 合計 | 485 | 2,047 | 834 | 242.5 | 2,881 | 3123.5 | 389 |

(8) 南部大東地域包括支援センタープラン作成実件数月別報告

| 月 | 包括直営 | | 他事業所委託 | | 計 |
|----|------|------|--------|------|-------|
| | 予防 | 総合事業 | 予防 | 総合事業 | |
| 4 | 7 | 16 | 40 | 26 | 89 |
| 5 | 7 | 17 | 38 | 24 | 86 |
| 6 | 10 | 16 | 44 | 26 | 96 |
| 7 | 9 | 15 | 51 | 22 | 97 |
| 8 | 9 | 17 | 48 | 24 | 98 |
| 9 | 11 | 15 | 50 | 24 | 100 |
| 10 | 10 | 18 | 51 | 25 | 104 |
| 11 | 10 | 19 | 57 | 26 | 112 |
| 12 | 8 | 19 | 56 | 26 | 109 |
| 1 | 8 | 15 | 56 | 27 | 106 |
| 2 | 8 | 16 | 56 | 23 | 103 |
| 3 | 8 | 15 | 57 | 20 | 100 |
| 合計 | 105 | 198 | 604 | 293 | 1,200 |

3 職員体制について

1) 職員配置状況 (令和6年3月31日時点)

| | 大東苑 | ショート | デイ | なかよし | ヘルパー | 居宅 | 包括 | 合計 | 内産休 休職 |
|------------|-----|------|----|------|------|----|----|-----|-----------|
| 総計 | 41 | 10 | 26 | 6 | 8 | 8 | 4 | 103 | 6 |
| 常勤 | 18 | 4 | 5 | 1 | 2 | 6 | 3 | 39 | 3 |
| 非常勤 フル | 6 | 3 | 4 | 3 | 3 | 2 | 0 | 21 | 0 |
| 非常勤 短時間 | 17 | 3 | 17 | 2 | 3 | 0 | 1 | 43 | 3 |

4 活動・行事について

5月に新型コロナウイルス感染症の扱いが5類移行となり、外出、面会、ボランティア活動の受け入れ等に関し模索しながら判断をしてきた。少なからず活動制限せざるを得ない状況は残るが、各事業所職員の創意により、日々の彩りとしての行事等が計画・実施されている。

(大東苑)

今年度の行事は、夕涼み会で「打ち上げ花火」や職員による「ダンス」を披露し、忘年会や新年会では「二人羽織り」や「正月遊び」などの余興を行った。年間を通して利用者が目や耳で楽しめるレクリエーションや余興を企画して実行することができた。

しかし、利用者さんの思いを踏まえた外出や外食の機会が少なかったことが反省点であり、来年度は、季節を感じてもらえるような外出を積極的に企画していきたい。

(大東ショートステイサービス)

季節の行事などを月に1回程度実施する予定で取り組んだが、実施出来ない月もあった。行事に参加されることで利用者はとても喜ばれ、次の利用にも繋がってくることもあり、行事担当を決め毎月計画的に行っていきたい。日々行っている体操等のプログラムも好評である。今後も続けていき、機能訓練の一環として内容の充実を図りたい。壁面づくりや手先を使う作業も毎月楽しみながら行うことが出来た。誕生日などの記念の日には、お祝いの色紙やメッセージカード等を作成し一緒にお祝いをしてとても喜ばれている。今後も利用者が喜んで泊まりに来てもらえるような内容を職

員全員で考えていきたい。

(大東デイサービスセンター)

四季折々の行事を計画しそれぞれの季節感を感じられるような活動を心がけた。毎月の誕生会では利用者一人ひとりに写真やメッセージをカードとして作成し、記念日として喜んでもらえるよう取り組んだ。敬老会での職員による出し物は好評で喜んでもらった。普段の活動に関しては、当初目標としていた、小集団や個別で取り組む活動の実施について、人員の都合もあり思うように出来なかった。脳トレーニングの活動も取り入れているが、内容が画一化してきており、興味を感じ意欲的に取り組むことが出来るよう検討していく。

(大東デイサービスセンターなかよし)

レクリエーションで使用する用具のデザインを工夫し、同じレクリエーションであっても季節に応じた趣向となるよう準備した。誕生会を誕生日当日や誕生日近くの利用日に計画し行った。メッセージカード(写真付き)を準備しプレゼントしている。誕生会の様子も写真に撮りご家族に渡している。おやつ作りを毎月行い、季節に合わせたおやつを、利用者と職員一緒に作り、皆で味わうことができた。以前より作り慣れている方は張りきって調理を手伝われ、楽しまれている様子がうかがえた。今後は、誰でも意欲的に取り組むことができるよう、レクリエーション活動のレパトリーを増やしていきたい。

(1) 主な行事内容

| 月 | 大東苑 | 大東ショートステイサービス | 大東デイサービスセンター (毎月:習字、体力測定、誕生会) | 大東デイサービスセンターなかよし (毎月:おやつ作り、誕生会) |
|-----|---------------|--------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| 4月 | お花見 | プランター花植え | つつじ見学 | お手玉入れ(ひな祭り ver) |
| 5月 | 新茶祭り | どら焼き作り | 芋掘り・花の植え付け | お手玉的当て(端午の節句 ver) |
| 6月 | スマイルショップ | スマイルショップ | じゃが芋収穫 さつま芋植え付け | じゃがいも掘り |
| 7月 | 七夕会 | 七夕会 | 七夕まつり | 七夕会 |
| 8月 | 夕涼み会【昼の部・夜の部】 | 夏祭り | 夏祭り | 夏祭り |
| 9月 | 敬老会 | 敬老会 | 敬老会 | 敬老会 |
| 10月 | 運動会 | カボチャの蒸しパン作り 運動会 | 運動会 | お手玉入れ(運動会 ver) |
| 11月 | 焼き芋 | | さつま芋収穫 | さつまいも掘り |
| 12月 | 忘年会 | クリスマス&忘年会 | クリスマス会・忘年会 | クリスマス会 |
| 1月 | 新年会 | 豚汁作り | 新年会 | 新年会 |
| 2月 | 節分 | 節分会 | 節分会 | お手玉的当て(節分 ver) |
| 3月 | 春のお楽しみ会 | 原子力発電所へドライブ | ひな祭り | 苑内散歩 |

5 防災計画・安全管理等について

今年度は、火災・地震災害時の避難誘導方法と「確認」「連絡」「報告」について同じ内容の避難訓練を繰り返し実施した。そのことで、職員に避難誘導方法や災害時の初期動作、点呼方法などの周知を図ることができた。

しかし、業務継続訓練を実施することができなかった。今後、起こりうる災害を乗り越えられる施設と体制を整えて行くために来年度は、業務継続訓練の研修と訓練を行っていきたい。

(1) 主な防災訓練等

| 月 | 災害状況想定 | 訓練項目 | 訓練目的 |
|----|-------------|-------------------------|--------------------------|
| 4月 | 火災(日中) | 避難誘導訓練 【大東苑・ショート】 | 基本的な避難誘導、職員の連携を確認する。 |
| 5月 | 火災(日中) | 避難誘導訓練 【大東苑・ショート】 | 問題を踏まえ基本的な避難誘導について確認する。 |
| 6月 | 火災(日中・合同訓練) | 避難誘導訓練 【大東苑・ショート・デイ】 | スロープを使用し、利用者を安全に避難させる。 |
| 7月 | 火災(夜間) | 避難誘導訓練① | 夜間における人員体制での基本的な避難誘導・職員連 |

| | | | |
|-----|-------------------------|---|--|
| | | 【大東苑・ショート】 放水訓練①「1階」 【消火栓・水消火器】 | 携について確認する。 非常時における消火器・消火栓の取り扱いを熟知する。 |
| 8月 | 土砂災害(日中・合同訓練) 情報伝達訓練 | 避難誘導訓練 【大東苑・ショート・デイ】 情報伝達訓練 | 土砂災害について適切な判断、対処を確認する。 緊急時の連絡方法を確認する。 |
| 9月 | 防災教育 | 防災機器の説明 BCPの周知 | 防災機器の説明、BCPの周知 |
| 10月 | 業務継続訓練 情報伝達訓練 | 業務継続訓練 【大東苑・ショート】 情報伝達訓練 | 水が出ない状況での排泄対応につき、対応方法を確認、 検証する。 緊急時の連絡方法を確認する。 |
| 11月 | 総合防災訓練(合同訓練) 【地震・火災】 | 避難誘導訓練 【大東苑・ショート・デイ】 避難所設営訓練 通報訓練① 放水訓練②「2階」 【消火栓】 | 社会福祉施設総合防災訓練 消防署への通報訓練 非常時における消火器・消火栓の取り扱いを熟知する。 |
| 12月 | 火災(日中) | 避難誘導訓練 【大東苑・ショート】 | 基本的な避難誘導、職員連携を確認する。 |
| 1月 | 地震・火災(夜間) | 避難誘導訓練 【大東苑・ショート】 | 夜間における人員体制での基本的な避難誘導、職員連携について確認する。 |
| 2月 | 地震・火災 (日中・合同訓練) | 避難誘導訓練 【大東苑・ショート・デイ】 通報訓練 | 基本的な避難誘導、職員連携を確認する。 消防署への通報方法を学ぶ。 |
| 3月 | 防災教育 | 防災器具の説明 | 防災器具の取り扱いを学び、理解する。 |

6 ボランティアの状況について

| 月 | 4月 | | 5月 | | 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | |
|----|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|----|---|
| | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 |
| 個人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 団体 | 0 | 0 | 0 | 0 | (2) | (47) | (1) | (16) | (1) | (26) | 0 | 0 |
| 月 | 10月 | | 11月 | | 12月 | | 1月 | | 2月 | | 3月 | |
| 個人 | 4 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 団体 | (1) | (26) | (1) | (8) | (1) | (23) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

7 衛生管理について

定期健康診断、インフルエンザワクチン接種に加え、新型コロナウイルス予防接種（入所者）を2回実施した。衛生委員会にて職場環境改善を目的とし、4S活動、危険個所確認を実施した。年3回施設内巡視し、改善箇所の指摘を行い、改善に繋げた。職員の腰痛予防を目的とし、体操教室を年1回実施した。ストレスチェックは例年の取り組みである。前年データと変わらず大きな問題は見受けられないが、働きやすい環境に向けた取り組みは職員に分かりやすい形で取り組んでいく必要がある。

(1) 主な健康診断等

| | 内 容 | 利用者 | 職 員 |
|-------|--------------------------------|--------|------|
| 5月 | 腰椎問診実施 4S活動（施設内巡視） | | 全職員 |
| 4月～5月 | 入所者定期健康診断 | 大東苑入所者 | |
| 6月～7月 | 新型コロナウイルス予防接種 職員定期健康診断 | 大東苑入所者 | 全職員 |
| 10月 | 新型コロナウイルス予防接種 危険個所確認（施設内巡視） | 大東苑入所者 | |
| 10月 | 安全衛生チェック | | 全事業所 |

| | | | |
|--------|-------------|--------|--------|
| 9月～10月 | 入所者定期健康診断 | 大東苑入所者 | |
| 11月 | インフルエンザ予防接種 | 大東苑入所者 | 全職員 |
| 12月 | 職員定期健康診断 | | 夜勤従事職員 |
| 1月 | 腰痛予防体操 | | 大東苑職員 |
| 2月 | ストレスチェック | | 全職員 |
| 定期、随時 | 嘱託医回診・歯科検診 | 大東苑入所者 | |

8 定例会議について

委員会については、各事業所職員が参加しやすい体制を考慮した。委員会を中心に、課題に応じた研修等を計画し実施している。

(1) 主な会議と委員会体制

| | 共通 | 大東苑 | ショート | デイサービス | ヘルパー | 居宅 | 包括 |
|------|--|--|----------------|----------------------------|----------------|-----------------|--|
| 主な会議 | (毎月) 経営調整会議 苦情処理委員会 QOL委員会 衛生委員会 給食委員会 感染対策委員会 防災委員会 (随時) 交通安全委員会 地域交流委員会 (年4回) 掛川市介護保険 事業者連絡会議 | (毎月) リーダー会議 ブロック会議 身体拘束委員会 看取り委員会 事故対策委員会 | (毎月) ショート会議 | (毎月) デイ会議 なかよし会議 | (毎月) ヘルパー会議 | (毎週) 特定事業所会議 | 責任者会議 運営協議会 相談協力員懇話会 3職種専門職会議 認知症地域支援推進員連絡会 地域ケア会議 資質向上検討委員会 ふくしあ調整会議 ふくしあ内連携会議 ふくしあ内ケース会議 つなぐ会実行委員会 |

| 委員会名 | 活動内容 |
|----------|---|
| QOL委員会 | 各事業所で1年の目標を設定し、具体的な取り組みについて進捗状況や進めていく上での相談を実施。居宅⇄各事業所との分科会(計4回)開催。事例研究発表会(動画閲覧)。第三者向け事例研究発表会開催。 |
| 衛生委員会 | 職員の健康の維持、向上に向けた取り組みとして、健康診断、ストレスチェック等を実施した。また、快適な職場環境の実現に向け施設内の巡視を行い整理整頓を促した。 |
| 給食委員会 | より豊かな食事の提供を目指し、委託業者と事業所職員とで毎月意見交換を行った。より楽しい行事となるような提案をするとともに、感染対応について確認する等相互連携を図った。 |
| 感染症対策委員会 | 大東苑の感染予防力を高め、衛生環境の継続的な維持を目指す。衛生研修会を企画する。基本的な感染対策、適切な研修の実施や感染予防に関する情報提供に取り組んだ。感染症にかかるBCPにつき各事業所にてシミュレーションする等検討を行った。感染対策マニュアルの見直しを行う。 |
| 防災委員会 | 防災訓練の実施及び防災教育等の計画を行う。 |
| 交通安全委員会 | 年4回の交通安全運動へ参加し地域の交通安全活動に協力した。またアルコールチェックの取り組みが定着するよう、機器の導入、記録用紙の整備等を行った。安全運動を目的とした研修は実施できていない。また、免許証の確認等が出来ず、次年度以降の実施に向け計画していく。 |
| 地域交流委員会 | クリーン作戦、講座(介護保険について:三浜・三井区サロン)、ふれあい広場参加 |
| 身体拘束委員会 | 身体拘束等の基礎的内容を周知し、適正なケアを徹底する。身体拘束廃止の適正化に向けた研修を年2回実施する。 |
| 看取り委員会 | (大東苑)看取りケアにあたり、その人らしい暮らしを実現するためのケアを検討し、実践に繋げた。 |
| 事故対策委員会 | (大東苑)事故発生状況を検証し、事故防止に向けた今後必要な対応につき検討し、職員に周知し、利用者のケア向上に繋がる取り組みをすすめた。 |

9 主な職員研修について

人員体制により勤務調整が難しい状況もあり、積極的な研修（OFFJT）参加は進められなかった。そのような中でも介護福祉士取得に必要な実務者研修は今年度2名受講することができた。また、大東ショートステイサービス、大東ヘルパーステーションでは他施設の視察を行い、職員が他施設職員と意見交換する機会を設けることができた。QOL委員会における各事業所の研究発表も継続し、全職員でその成果を共有している。研修ネット配信プログラムの導入も含め、学習できる環境については積極的に整備していく。基本的に、見て聞いて知って変わるというプロセスが研修には必要と捉えている。その為には、自己の課題、職場の課題を認識することがまず必要となる。その仕組みが、取り組みが未整備である。体系化を目指す。

(1) 施設内研修実績

| 月 | 共通 | 大東苑・ショート | デイサービス | ヘルパー |
|-----|------------------|---------------------------------|--------------------------|---------------|
| 4月 | | | 認知症及び認知症ケアについて | 接遇について |
| 5月 | | | プライバシー保護について | 認知症対応について |
| 6月 | | 虐待防止に関する理解 | 感染症及び食中毒の予防及びまん延防止に関する研修 | 認知症の専門知識について |
| 7月 | 感染対策研修「基本的な感染対策」 | | 身体拘束、虐待防止について | 虐待防止について |
| 8月 | | 事故防止の知識 | 事故発生の防止、事故対応、リスク管理について | 感染対策について |
| 9月 | 高齢者虐待について考える | | 入浴介助について | |
| 10月 | | | 緊急時の対応について | 緊急時対応について |
| 11月 | | 事故対策委員会研修「事故防止の知識」 | 感染症及び食中毒の予防及びまん延防止に関する研修 | 腰痛予防について |
| 12月 | | | 非常災害時の対応について | リスクマネジメント |
| 1月 | 感染対策研修「感染対策Q&A」 | 身体拘束廃止委員会「認知症と身体拘束」 | 事故発生の防止、事故対応、リスク管理について | |
| 2月 | | 身体拘束委員会「身体拘束と見守り機器」 看取りケアの基本 | 介護予防、要介護度進行予防について | 法改正・気付きを高める研修 |
| 3月 | | | 身体拘束・虐待防止について | QOL発表動画視聴 |

(2) 外部研修実績

| 部署 | 職名 | 年月日 | 人数 | 主催者 | 研修内容 |
|-----------------------|-------------|-----------|----|---------------------|-------------------------------|
| 大東苑 | 介護職員 | R5/7/～ | 1 | TAPアカデミー | 実務者研修 |
| | 看護職員 | R5/7/25 | 1 | 中東遠地区職種別研究会(医務) | 中東遠地区職種別研究会(白寿園) |
| | 介護職員 | R5/8/24 | 1 | 静岡県社会福祉人材センター 研修課 | 身体拘束は廃止できます(ZOOM) |
| | 主任 | R5/10/20 | 1 | 静岡県社会福祉人材センター 研修課 | 介護職が「働き続けたい」と思える職場のつくり方(ZOOM) |
| | 介護職員 栄養士 | R5/10/25～ | 5 | 静岡県社会福祉人材センター 研修会 | 介護現場でのターミナルケア 生き抜く人を見届ける |
| | ケアマネ | R5/12/15 | 1 | 中東遠地区職種別研究会(施設ケアマネ) | 中東遠地区職種別研究会(森町愛光園) |
| | 相談員 | R6/1/19 | 1 | 中東遠地区職種別研究会(相談員) | 中東遠地区職種別研究会(萬松の里) |
| | 主任、 看護職員 | R6/2/26 | 2 | 中東遠地区職種別研究会(中間管理職) | 中東遠地区職種別研究会(ワークピア磐田) |
| | 主任 | R6/3/7 | 1 | 中東遠総合医療センター | 排泄ケアについて(ZOOM) |
| 大東ショート ステイサー ビス | 介護職員 | R5/6/28 | 2 | 中東遠地区職種別研究会(ショート) | 中東遠地区職種別研究会(掛川福祉ノ郷) |
| | 介護職員 | R5/7/～ | 1 | TAPアカデミー | 実務者研修 |
| | 介護職員 | R5/11/7 | 3 | 施設見学 | 長上苑 ショートステイサービス |
| | 介護職員 | R6/2/16 | 3 | 施設見学 | 長上苑 ショートステイサービス |

| | | | | | |
|----------------------|-------------|--|--------------|-------------------|--------------------------------|
| 大東デイサービスセンター | 介護職員 | | 2 | 研修仙台センター | 認知症介護基礎研修(eラーニング) |
| | 介護職員 | | 1 | 研修仙台センター | 認知症介護基礎研修(eラーニング) |
| | 機能訓練指導員 | R6/3/11 | 1 | 掛川市長寿推進課 | 掛川市地域リハビリテーション研修会 |
| 大東デイサービスセンター なかよし | 介護職員 | R5/7/7 | 1 | 静岡県社会福祉協議会 | 認知症の人に寄り添うプロの介護セミナー |
| | 介護職員 | R5/12/22～ R6/3/14 | 1 | 静岡県介護支援専門員協会 | 静岡県介護支援専門員実務研修 |
| | 介護職員 | R6/2/21, 22 | 1 | 静岡県社会福祉協議会 | 令和5年度認知症対応型サービス事業管理者研修 |
| 大東ヘルパー ステーション | 副主任 | R5/7/25 | 1 | 安全運転管理協会 | 安全運転管理者 法定講習 |
| | 副主任 | R5/10/ | 1 | 事業所訪問 | 宮脇の家ヘルパーステーション |
| 大東居宅介護 支援事業所 | 副主任・介護支援専門員 | R5/5/26 | 2 | 地域デザインカレッジ | 被災高齢者リカバリーマネジメント報告会 |
| | 副主任・介護支援専門員 | R5/8/18 | 4 | 白寿園研修センター | パーソナリティ分析や応用心理学を用いたコミュニケーション技術 |
| | 介護支援専門員 | R5/9/14 | 7 | 掛川市介護支援専門員連絡協議会 | 知って得する栗倉流ケアマネジメント手法 |
| | 介護支援専門員 | R5/9/23～ R5/9/30 | 2 | 静岡県健康福祉部地域包括ケア推進室 | ケアマネージャー在宅医療研修 |
| | 副主任・介護支援専門員 | R5/10/18 | 5 | 地域包括支援センター | 生活困窮者の対応について |
| | 副主任・介護支援専門員 | R5/10/19 | 2 | 掛川市介護支援専門員連絡協議会 | 福祉避難所あり方研修会 |
| | 副主任・介護支援専門員 | R5/11/ 4 | 3 | 静岡県訪問看護ステーション協議会 | クレームを活用したスキルアップ研修 |
| | 副主任・介護支援専門員 | R5/11/22 R5/12/5 | 4 | 地域包括支援センター | 認知症キャラバンメイト講習会 |
| | 介護支援専門員 | R5/12/14 | 4 | 訪問看護ステーション大東 | 在宅におけるストーマ管理 |
| | 介護支援専門員 | R6/1/22 | 1 | 菊川市社会福祉協議会 | 権利擁護で暮らしを支える～令和5年度成年後見制度講演会～ |
| | 介護支援専門員 | R6/2/26 | 1 | 小笠医師会 | 小笠医師会主治医意見書研修会 |
| | 副主任 | R6/2/28 | 1 | 掛川市介護支援専門員連絡協議会 | ハラスメント防止研修 |
| 介護支援専門員 | R6/3/7 | 3 | 中東遠医療介護連絡協議会 | 排泄ケアについて | |
| 掛川市南部大東地域包括支援センター | 主任介護支援専門員 | R5/6/9、 6/23、6/29、 7/7、7/13、 7/25、7/31、 8/8、8/21 | 1 | 静岡県介護支援専門員協会 | 介護支援専門員更新研修 |
| | 社会福祉士 | R5/7/21、 9/8、2/14 | 1 | 掛川市 | 重層的支援体制整備事業研修会 |
| | 包括3職種 | R5/7/28 | 3 | お茶の水女子 | 虐待の理解 (ZOOM) |
| | 包括3職種 | R5/8/2、 12/19 | 3 | 掛川市 | ふくしあ入所団体研修会 |
| | 包括3職種 | R5/9/5、9/6 | 3 | 包括支援センター | 虐待研修 (大東苑・くにやす苑) |
| | 包括3職種 | R5/10/18 | 3 | 掛川市・5包括 | 経済的困窮者の支援 |
| | 保健師 | R5/10/28 | 1 | 訪問看護 S/T 大東 | 家族交流会 (看取り) |
| 社会福祉士 主任介護支援専門員 | R5/11/6 | 2 | 掛川市 | 虐待防止研修会 (ZOOM) | |

| | | | | | |
|--|--------------|----------|---|-----------------------|--------------------------|
| | 主任介護支援専門員 | R5/11/11 | 1 | 静岡県 CSW 研究会 | CSW 研修会 (モチベーション) |
| | 主任介護支援専門員 | R5/12/14 | 1 | 訪問看護 S/T 大東 | 訪問看護研修 (ストマー管理) |
| | 主任介護支援専門員 | R5/12/14 | 1 | 掛川東病院 | 認知症多職種研修会さてつ |
| | 主任介護支援専門員 | R6/1/31 | 1 | 静岡県 | 民生児童委員 1 期目委員へ研修 |
| | 主任介護支援専門員 | R6/2/16 | 1 | 静岡県地域包括・在宅介護支援センター協議会 | 令和 5 年度地域包括支援センターBCP |
| | 保健師 社会福祉士 | R6/2/26 | 2 | 小笠医師会 | 主治医意見書説明 |
| | 保健師 社会福祉士 | R6/2/28 | 2 | 掛川市介護支援専門員連絡協議会 | パワハラメント |
| | 主任介護支援専門員 | R6/3/7 | 1 | 掛川市介護支援専門員連絡協議会 | 医療連携 |
| | 包括 3 職種 | R6/3/8 | 3 | 大東苑 | QOL 委員会発表会 |
| | 包括 3 職種 | R5/3/11 | 3 | 掛川市 | 地域リハビリテーション研修会 (集合・ZOOM) |
| | 主任介護支援専門員 | R5/3/23 | 1 | 静岡県 CSW 研究会 | CSW 研修会 (重層的支援整備体制) |

10. 給食業務について

厨房職員、現場職員との情報共有、意見交換の場として給食会議を毎月実施した。互いにコミュニケーションを図ることで、日頃の給食業務や行事食等をスムーズに行うことができた。食材の高騰が続く中、経費削減や食材廃棄削減を目指した。利用予定の確認を早めに行ったことで、当日キャンセル者の減少に繋がった。食材高騰は続いており、使用できる食材の幅は狭まってしまった。マンネリ化を防ぐ工夫をしていく。

行事食の実施状況

| 月 | 行事内容 | 月 | 行事内容 |
|-----|------------------------------|------|---------------------------|
| 4 月 | 開苑記念献立、コロケカーニバル | 10 月 | ローカルラーメンフェア、全国郷土料理うまいもの紀行 |
| 5 月 | 端午の節句献立、北海道メニューフェア | 11 月 | みそ汁紀行、匠シェフ考案メニュー |
| 6 月 | みそ汁紀行、スマイルショップ | 12 月 | Xmas メニュー、忘年会 |
| 7 月 | 唐揚げフェア、土用の丑(うなぎちらし) | 1 月 | 新年会、あったかフェアメニュー |
| 8 月 | カレーフェア、納涼祭メニュー | 2 月 | 韓国フェア、バレンタインオムライス |
| 9 月 | 敬老祝い膳、たこまんケーキ、ラグビー日本代表応援メニュー | 3 月 | 東北応援フェアメニュー、お楽しみ会 |

11. 地域との交流について

地域の福祉交流会への講師参加、福祉懇談会での移送支援、介護事業者への研究発表会を実施した。地域包括支援センターと連携しながら、地域交流委員会の活動を中心に地域活動を積み重ねていきたい。

令和5年度 事業報告附属明細書 大東苑拠点区分

令和5年度 事業報告の内容を補足する重要な事項について
該当事項なし。

令和5年度 事業報告附属明細書 障害福祉居宅介護拠点区分

令和5年度 事業報告の内容を補足する重要な事項について
該当事項なし。

令和5年度 くにやす苑拠点区分事業報告書

1 令和5年度の総括について

令和5年度は、感染対策に十分配慮しつつ「その人らしい日常生活の実現と安心、安全、安定した施設運営」を目標に事業運営を行った。

個別ケア、ユニットケアの推進として、ユニットリーダー研修の受講や利用者の生活の質の向上のため、ドライブや移動コンビニ、季節のミニイベント等を開催し、ユニット間でも交流ができる集合イベントを実施した。

在宅サービスの利用率向上対策として、ケアマネ事業所への営業強化やInstagramを通じ、施設内での取り組み状況について情報発信に努めた。筋力維持を目的とした短期集中C型通所サービス事業は、1年を通して利用者があり、介護保険適用前の利用者が自立した生活を維持するための支援を行った。

防災対策として、日頃の避難訓練に加え、内水氾濫を防ぐための止水板の設置訓練等の大雨対策訓練を行った。防災マニュアルや事業継続計画については、より実効性が高くなるための見直しを行った。津波対策については、掛川市長や地元議員等と懇談の場を持つなど移転協議を継続し、早期実現のための用地提供等を要望した。事故防止対策として、介護ロボット補助金を活用したベッドの入替を行い、業務省力化と事故削減に努めた。

人材育成対策として、資格取得を奨励し、介護支援専門員1名の合格者を輩出し、個別ケア、ユニットケアの推進として、1名の職員がユニットリーダー研修を受講し、ユニットケアへの理解を深めた。

特養の入所状況は、年間入院者が延250名を超えたこと、新型コロナウイルスが特養内で発生し新規入所を延期するなどしたこともあり、年間利用率が95.8%と目標の98%に達することができなかった。ショートステイの利用状況としては、他施設への入所等により年度後半に利用率が低下し、52.4%と目標の65%を達成することができなかった。デイサービスの利用状況としては、年度後半には70%台となったが、年度当初が60%前半だったことが影響し、年間の平均利用率は69.5%と目標を達成することが出来なかった。

(特別養護老人ホームくにやす苑)

今年度は、感染対策を継続しつつ、日常生活を徐々に取り戻しながら、余暇活動の充実やサービスの質の向上を目指し、入所者が楽しみを持てる暮らしを継続できるよう努めた。

運営面では、新しいナースコールと記録ソフトを連動させ、業務軽減化に努めるとともに事故対策マニュアルや感染マニュアルの定期的な見直しを行った。また、桜餅、柏餅、かき氷、焼き芋等季節感のある手作りおやつを提供などのミニ行事や敬老会やオータムフェスタ等の集合イベントを、ユニットを越えて入所者が交流できるように配慮した。設備面では、見守り機能付きのベッドやナースコールの連携が出来るようになったことで、記録業務の効率化や事故発生リスクの軽減化に繋がった。また、各ユニット間での情報共有をおこない、サービスの質の向上に繋がるよう努めた。屋根塗装や厨房機器等の更新については、移転計画の進捗状況を見極めながら計画していく。

(くにやすショートステイサービス)

今年度は、情報発信による安定した利用者確保を目指し、利用者家族やケアマネジャーに日々の様子を写真等で伝え、情報共有・相談のしやすい関係づくりに努めた。

運営面では、利用予定者数に合わせた柔軟な勤務体制を作成しつつ、新規利用者の獲得のため、毎月空き情報や行事予定等をケアマネジャーに発信した。あわせて、緊急時の受け入れ対応を積極的に行ない、その後の定期利用に繋げていくように努めた。また、ほっと一息つけるような対応や雰囲気づくりの一環として、ショート玄関の飾りつけや壁面の模様替えを毎月行った。新規利用者については、年間79名(再契約を含む)の契約を獲得した。設備面では、記録ソフトと見守りベッドやナースコールの連携を行い、業務の効率化や職員間での情報共有の効率化が図れた。今後は、散歩やお茶会、レクリエーション等、楽しく機能維持向上ができるよう中庭の整備等を順次行っていく。

(くにやすデイサービスセンター)

今年度は、部署目標『おひとりおひとりに居心地のよいデイサービス作りを目指す』『その人らしさを大切に生活の質が高まるように支援します』『チームワークを大切にします』を目標に掲げ介護に取り組んだ。

運営面では、AI 歩行分析アプリを活用し、家族やケアマネジャーにも機能訓練の充実面をアピールし、利用者増加に向けた情報発信をすることができた。併せて「興味チェックシート」を導入し、一人一人の興味があることを掘り下げ、活動に活かすことができた。また、短期集中型C型通所サービス事業は実施日を

増やし、積極的に受け入れ8名の契約となった。そのうち1名がデイサービスの利用を開始し、利用者の獲得にも繋がった。設備面では、快適に過ごせるよう冷暖房機器や給湯器の更新を行った。利用者が徐々に重度化の傾向にあり、機械浴対応者も増加しているため、特殊浴槽の入替え等も検討していく。

2 利用動向について

1) 特別養護老人ホームくにやす苑入所者延べ人数月別報告 (定員 80 名)

| 月 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 計 | 利用率 |
|----|------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|
| 4 | 30 | 150 | 1,133 | 510 | 537 | 2,360 | 98.3% |
| 5 | 31 | 155 | 1,213 | 527 | 527 | 2,453 | 98.9% |
| 6 | 35 | 132 | 1,170 | 468 | 510 | 2,315 | 96.5% |
| 7 | 62 | 155 | 1,161 | 558 | 496 | 2,432 | 98.1% |
| 8 | 62 | 145 | 1,209 | 543 | 481 | 2,440 | 98.4% |
| 9 | 60 | 147 | 1,097 | 549 | 421 | 2,274 | 94.8% |
| 10 | 62 | 152 | 1,078 | 606 | 428 | 2,326 | 93.8% |
| 11 | 60 | 137 | 1,087 | 599 | 411 | 2,294 | 95.6% |
| 12 | 62 | 124 | 1,098 | 651 | 476 | 2,411 | 97.2% |
| 1 | 62 | 124 | 1,085 | 606 | 489 | 2,366 | 95.4% |
| 2 | 58 | 116 | 967 | 547 | 477 | 2,165 | 93.3% |
| 3 | 62 | 124 | 1,013 | 531 | 491 | 2,221 | 89.6% |
| 合計 | 646 | 1,661 | 13,311 | 6,695 | 5,744 | 28,057 | 95.8% |

地区別入所者及び待機者状況 (令和6年3月31日時点)

| 市町等名 | 入所者数 | 待機者数 |
|------|------|------|
| 掛川市 | 56 | 53 |
| 菊川市 | 10 | 11 |
| 袋井市 | 0 | 1 |
| 御前崎市 | 5 | 10 |
| 牧之原市 | 0 | 2 |
| 浜松市 | 1 | 1 |
| 藤枝市 | 0 | 1 |
| 静岡市 | 0 | 1 |
| 県外 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 |
| 計 | 72 | 80 |

年間入退所状況

| 月 | 入所者数 | 退所者数 | 月末在苑数 | 月 | 入所者数 | 退所者数 | 月末在苑数 |
|----|------|------|-------|-----|------|------|-------|
| 4月 | 2 | 1 | 79 | 10月 | 3 | 2 | 76 |
| 5月 | 1 | 1 | 79 | 11月 | 2 | 2 | 77 |
| 6月 | 1 | 2 | 78 | 12月 | 2 | 0 | 79 |
| 7月 | 1 | 0 | 79 | 1月 | 4 | 5 | 76 |
| 8月 | 1 | 2 | 78 | 2月 | 1 | 3 | 76 |
| 9月 | 1 | 4 | 75 | 3月 | 4 | 8 | 72 |

2) くにやすショートステイサービス 延べ利用者数 月別報告 (定員 20名)

| 月 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 計 | 利用率 |
|----|------|------|------|-------|-------|------|------|-------|-------|
| 4 | 0 | 0 | 55 | 116 | 103 | 5 | 9 | 288 | 48.0% |
| 5 | 0 | 0 | 47 | 117 | 131 | 0 | 10 | 305 | 49.2% |
| 6 | 0 | 3 | 56 | 100 | 128 | 0 | 26 | 313 | 52.2% |
| 7 | 0 | 2 | 80 | 87 | 136 | 0 | 37 | 342 | 55.2% |
| 8 | 0 | 2 | 58 | 111 | 148 | 0 | 36 | 355 | 57.3% |
| 9 | 0 | 13 | 59 | 91 | 146 | 0 | 37 | 346 | 57.7% |
| 10 | 0 | 2 | 89 | 94 | 101 | 18 | 31 | 335 | 54.0% |
| 11 | 0 | 2 | 82 | 100 | 99 | 15 | 37 | 335 | 55.8% |
| 12 | 0 | 2 | 82 | 89 | 102 | 18 | 40 | 333 | 53.7% |
| 1 | 0 | 2 | 84 | 79 | 104 | 30 | 33 | 332 | 53.5% |
| 2 | 0 | 2 | 79 | 102 | 88 | 10 | 7 | 288 | 49.7% |
| 3 | 0 | 2 | 56 | 94 | 85 | 19 | 7 | 263 | 42.4% |
| 合計 | 0 | 32 | 827 | 1,180 | 1,371 | 115 | 310 | 3,835 | 52.4% |

3) くにやすデイサービスセンター 延べ利用者数 月別報告 (定員 30名)

| 月 | 事業対象 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 計 | 利用率 |
|----|------|------|------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|
| 4 | 15 | 6 | 0 | 119 | 165 | 92 | 38 | 35 | 470 | 62.7% |
| 5 | 16 | 9 | 0 | 145 | 172 | 125 | 19 | 34 | 520 | 64.2% |
| 6 | 16 | 12 | 0 | 132 | 195 | 135 | 36 | 31 | 557 | 71.4% |
| 7 | 14 | 13 | 0 | 130 | 191 | 166 | 32 | 28 | 574 | 73.6% |
| 8 | 17 | 13 | 4 | 110 | 195 | 167 | 31 | 31 | 568 | 70.1% |
| 9 | 13 | 13 | 4 | 96 | 151 | 181 | 34 | 23 | 515 | 66.0% |
| 10 | 16 | 12 | 5 | 101 | 169 | 153 | 24 | 28 | 508 | 65.1% |
| 11 | 21 | 12 | 0 | 101 | 212 | 141 | 36 | 27 | 550 | 70.5% |
| 12 | 21 | 10 | 0 | 109 | 213 | 144 | 34 | 24 | 555 | 71.2% |
| 1 | 19 | 10 | 0 | 105 | 210 | 131 | 46 | 25 | 546 | 75.8% |
| 2 | 19 | 6 | 0 | 118 | 211 | 99 | 47 | 25 | 525 | 70.0% |
| 3 | 21 | 9 | 0 | 129 | 243 | 99 | 49 | 24 | 574 | 73.6% |
| 合計 | 208 | 125 | 13 | 1,395 | 2,327 | 1,633 | 426 | 335 | 6,462 | 69.5% |

3 職員体制について

各ユニットについては、常勤介護職員と8時間非常勤介護職員あわせて4名の体制を基本とし、夜勤明けでの残業削減に努めた。

1) 職員配置状況 (令和6年3月31日時点)

| | 特養 | ショート | デイ | 合計 | うち育休産休病欠 |
|--------------|----|------|----|----|----------|
| 総計 | 63 | 16 | 17 | 96 | 3 |
| 常勤 | 34 | 6 | 3 | 43 | 1 |
| 常勤6H | 0 | 2 | 0 | 2 | 1 |
| 8時間非常勤(再雇用含) | 8 | 2 | 3 | 13 | 1 |
| 短時間等 | 21 | 6 | 11 | 38 | 0 |

※資格：介護福祉士60名、社会福祉士2名、介護支援専門員9名(出産・育児休業・病休計3名宿直8名を含む)

4 活動・行事について

今年度もコロナ禍にあり、部署、ユニットまたはフロア単位での余暇活動、誕生会を行った。オータムフェスタは玄関ホールで行い、密にならないよう時間をずらして開催した。外出については感染症対策もあり、人出の多いところは控えたが、個別の希望等あれば対応可能な範囲で、感染リスクに注意しながら実施した。また、施設内で手作りおやつ作りなどの季節感のある行事を行った。

1) 主な行事内容

| 月 | 行事 | 内 容 |
|-----|----------|--|
| 4月 | 桜餅づくり | 数名の入所者と一緒に桜餅づくりを行い、玄関ホールで入居者様に楽しんで頂いた。 |
| 5月 | 柏餅づくり | 数名の入所者と一緒に柏餅づくりを行い、玄関ホールに集い、新茶とともに振舞った。 |
| 6月 | 出張たこまん | 買い物をしたいという入所者の希望を受けて実施した。自分で好きなお菓子を選んで購入し、召し上がっていただいた。 |
| 7月 | かき氷 | 職員が各ユニットを回り、かき氷を作成し、夏の暑さをしのいで頂いた。 |
| 11月 | オータムフェスタ | イベント委員会を中心に準備を行い、感染対策として密にならないよう配慮して対応することができた。 |
| 12月 | クリスマス会 | ユニットごとにクリスマスケーキを作り、クリスマス会を行った。 |
| 1月 | 新年のあいさつ | 新年のあいさつをしながら、各ユニットに甘酒を配布した。 |
| 2月 | 豆まき | 玄関の外で職員が鬼の恰好をして登場し、入所者に「鬼は外、福は内」と掛け声をしながら豆を投げていただいた。 |
| 毎月 | 移動コンビニ | R5年度より企画し、毎月第2木曜日にとすとす号の移動コンビニに来てもらい、入所者に買い物を楽しんで頂いた。 |
| 随時 | 誕生会 | 各ユニットでゲームを行う等の企画をし、誕生者をお祝いした。 |
| 随時 | ほのぼの広場 | 午前10時からユニットフロアに集まり、リハビリ体操・歌・ゲーム等を実施した。恒例の行事になり、職員も交替で参加することができた。 |
| 随時 | 喫茶ひまわり | 不定期開催で玄関ホールにて喫茶ひまわりを開店した。季節の手作りおやつ・飲み物等を提供し、会話を楽しみながらゆっくりとした時間を過ごした。 |
| 随時 | 生け花 | 当日の朝、花を仕入れ利用者に生けていただいた。 |

5 防災訓練について

今年度も継続的に毎月の防災訓練を実施した。11月には中東遠地区特養施設連絡会の防災訓練、伝達訓練に参加した。3月に行われた掛川市津波避難訓練に参加し、夜間帯想定での津波避難の確認作業を行った。また、能登半島地震を受け、静岡DWA Tの一員として職員1名を災害救助隊として派遣し、被災地支援に協力した。

1) 防災訓練実施状況

| 月 | 訓練種別 | 目的・内容 |
|------|--------------------|-----------|
| 5.1 | 地震、津波避難訓練（デイサービス） | 避難車両の活用訓練 |
| 5.12 | 地震、津波避難訓練（花・森） | 避難塔の活用訓練 |
| 5.18 | 地震、津波避難訓練（海・風） | 避難塔の活用訓練 |
| 5.26 | 地震、津波避難訓練（大地・月・太陽） | 避難塔の活用訓練 |
| 5.30 | 地震、津波避難訓練（ショートステイ） | 避難車両の活用訓練 |

| | | |
|--------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 6.2 | 夜間想定津波避難訓練 (森・花) | 夜間の職員・宿直体制を想定した避難訓練 |
| 6.9 | 夜間想定津波避難訓練 (海・そら・風) | 夜間の職員・宿直体制を想定した避難訓練 |
| 6.15 | 夜間想定津波避難訓練 (大地・月・太陽) | 夜間の職員・宿直体制を想定した避難訓練 |
| 6.23 | 夜間想定津波避難訓練 (ショートステイ) | 夜間の職員・宿直体制を想定した避難訓練 |
| 各会議時 | 災害対策机上訓練 ユニット会議時実施 (特養8ユニット・ショート) | 避難マニュアルの理解・避難ルート・避難生活の協議 (地震・避難・避難生活) |
| 7.21 | 消火器訓練 | 水消火器を使用し放水訓練と消火栓の使用説明 |
| 7.21 | 緊急連絡網&メール訓練 | 苑から半径5km圏内の職員招集、伝達訓練 |
| 8.11 | 風水害訓練 (海・そら・風) | 風水害対応二階避難訓練 |
| 8.18 | 風水害訓練 (花・森・大地・月・太陽) | 風水害対応二階避難訓練 |
| 8.25 | 風水害訓練 (ショートステイ) | 風水害対応二階避難訓練 |
| 9.8 | 総合防災訓練 | テント設営等、総合防災訓練 |
| 9.8.15 | 輪中設置訓練 | 水害等の恐れのある時、事前に止水版設置を行う |
| 9.27 | 地震津波訓練 (デイサービス) | |
| 10.6 | 地震津波避難訓練 (花・森) | 避難塔活用訓練 |
| 10.19 | 夜間津波避難訓練 (大地・月・太陽) | 避難等活用訓練 |
| 10.20 | 地震津波次男訓練 (海そら風) | 避難塔活用訓練 |
| 10.28 | 地震津波次男訓練 (ショートステイ) | 避難塔活用訓練 |
| 11.8 | 福祉施設防災の日 火災想定 | 火災想定と避難誘導 |
| 11.11 | 情報伝達訓練災訓練 デイサービス火災想定訓練 | 一斉メール伝達返信訓練 火災想定と避難誘導 |
| 12.22 | 火災想定 (ショートステイ) | 火災時の対応と避難誘導訓練 |
| 1.12 | 火災訓練 (花・森) | 火災時の対応と避難誘導訓練 |
| 1.18 | 火災訓練 (海・そら・風) | 火災時の対応と避難誘導訓練 |
| 1.26 | 火災訓練 (大地・月・太陽) | 火災時の対応と避難誘導訓練 |
| 2.7 | 夜間火災想定時対応訓練 (森・花) | 夜間警報作動時通報と非火災時の復旧 |
| 2.9 | 夜間火災想定時対応訓練 (海・そら・風) | 夜間警報作動時通報と非火災時の復旧 |
| 2.15 | 夜間火災想定時対応訓練 (大地・月・太陽) | 夜間警報作動時通報と非火災時の復旧 |
| 2.23 | 夜間火災想定時対応訓練 (ショートステイ) | 夜間警報作動時通報と非火災時の復旧 |
| 3.2 | 掛川市津波避難訓練 | 津波避難 |
| 3.19 | 警報装置と消防設備の操作 (デイサービス) | 火災時の対応 |

6 ボランティアの状況について

新型コロナウイルス感染対策を十分行った上で、福祉体験や地元ボランティア (草刈り)、赤十字奉仕団等の各ボランティアを受け入れた。

| 月 | 4月 | | 5月 | | 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | |
|----|------|------|------|------|-------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|
| | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 |
| 個人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 団体 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 11(2) | 11(2) | 0(0) | 11(2) | 4(1) | 15(5) | 5(1) | 20(6) |
| 月 | 10月 | | 11月 | | 12月 | | 1月 | | 2月 | | 3月 | |

| | | | | | | | | | | | | |
|----|------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|
| | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 |
| 個人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 団体 | 0(0) | 20(6) | 21(2) | 41(8) | 0(0) | 41(8) | 0(0) | 41(8) | 0(0) | 41(8) | 0(0) | 41(8) |

実=実人数 延=延べ人数 団体()=団体数 注) 草刈り除く

7 健康管理について

入所者の定期的な健康診断・職員の健康診断等について、計画に基づいて実施することができた。職員健康診断は、要再検・要精密の指摘者について、再度病院に通院してもらう等健康管理を呼び掛けた。嘱託医については、菅沼和人医師（内科）に入所者全員を担当して頂く体制を継続した。事故等による通院件数は前年度と比較して同程度だった。また、菅沼和人医師の指導の下、法人内各老人施設と連携を取り、新型コロナウイルスワクチンの予防接種を6回目まで施設内で行うことができたが、当施設の入所者について、コロナウイルス感染症が発生した。

1) 入所者の健康管理について

- ①胸部レントゲン 令和5年4月に実施(年1回)
- ②採血 令和5年4月・令和5年10月に実施(年2回)
- ③検尿 令和5年4月・10月に実施(年2回)
- ④歯科検診 令和5年5～6月に4回に分けて実施
- ⑤インフルエンザ予防接種 令和5年11月3回に分けて実施
- ⑥肺炎球菌ワクチン接種 令和5年9月実施
- ⑦新型コロナウイルスワクチン接種 令和5年6月に実施

2) 日常検診

- 体温測定 毎日測定
- 血圧・脈拍測定 1週間に2回及び体調により随時
- 体重測定 月1回実施

3) 回診

- 嘱託医：菅沼和人医師：第1・3火曜と毎週木13：30からの回診
 ※ 訪問歯科診療・口腔ケア：1カ月に2回実施（牧野歯科医院大坂診療所）

4) 職員の健康管理

- 令和5年6月・7月健康診断（全職員対象）実施
 令和5年12月 インフルエンザ予防接種（職員全員）2回に分けて実施
 令和6年1月（夜勤従事者対象）実施

5) 機能訓練について

重度化が進む中、本人と家族意向を踏まえ、状態に合わせた個別機能訓練計画書を作成し、機能訓練をした。

6) 口腔機能について

牧野歯科による口腔ケア指導については、介護職と連携し実施した。

8 定例会議について

定例会議等については、今年度も毎月第3金曜日を会議の日とし、会議時間の短縮のため、資料の事前配布を徹底した。

主な会議と委員会体制

| 会議名 | 開催時期 | 委員会名 | 開催時期 |
|-----------|-----------|---------|-----------|
| 代表者会議 | 月1回 第3金曜日 | 苦情処理委員会 | 月1回 第3金曜日 |
| デイサービス会議 | 月1回 | 防災委員会 | 月1回 第3金曜日 |
| ショートステイ会議 | 月1回 | 苦情処理委員会 | 月1回 第3金曜日 |
| 給食会議 | 月1回 第3金曜日 | 防災委員会 | 月1回 第3金曜日 |

| | | | |
|---------------|---------------|-----------|---------------|
| 特養リーダー会議 | 月1回 第3金曜日 | 衛生委員会 | 月1回 第3金曜日 |
| ユニット会議 | 月1回 (ユニット毎) | 身体拘束廃止委員会 | 3か月に月1回 第3金曜日 |
| 給食会議 | 月1回 第3金曜日 | 事故対策委員会 | 3か月に月1回 第3金曜日 |
| 医療的ケア対策会議 | 3か月に月1回 第3金曜日 | 感染対策委員会 | 3か月に月1回 第3金曜日 |
| サービス担当者・看取り会議 | 随時 | イベント委員会 | 随時 |
| 広報編集委員会 | 随時 | 事故対策委員会 | 3か月に月1回 第3金曜日 |

9 主な職員研修について

今年度も引き続き、コロナウイルスの影響を受け、リモートや動画を利用した外部・内部研修を中心に行った。職員は、リモートや動画研修に慣れ、出張先への移動時間や経費が削減できた。また、中東遠総合医療センターの認定看護師を講師に招き、看護の専門的な研修を行うことができた。

1) 外部研修実績

| 月 日 | 研 修 名 | 部署 | 職種 | 人数 | 主催者 |
|----------------------|---------------------------|------|-----------|----|-----------------------|
| 令和5年5月31日 | 安全対策担当者養成研修 (Eラーニング) | 特養 | 主任 | 1 | 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 |
| 令和5年6月2日 | 介護施設・事業所のBCP運用セミナー (リモート) | 特養 | 副施設長 | 1 | 第一法規株式会社 |
| 令和5年7月26日 ～10月26日 | 認知症介護実践研修 (5日間) | 特養 | 介護職員 | 1 | 静岡県社会福祉協議会 |
| 令和5年8月2日 ～9月9日 | 介護福祉士実習指導者講習会 (4日間) | 特養 | リーダー | 1 | 静岡県介護福祉士協会 |
| 令和5年8月23日 | 福祉・介護施設職員向け感染症対策研修 (リモート) | 特養 | 主任 | 1 | 静岡県健康福祉部感染症対策局感染症対策課 |
| 令和5年9月13日 | 令和5年度 栄養士研修会 | 特養 | 栄養士 | 1 | 静岡県給食協会掛川支部 |
| 令和5年9月20日 | 令和5年度 中東遠地区特養職種別研究会 | 特養 | 副主任 | 1 | 中東遠地区特養施設長連絡会 |
| 令和5年9月21日 | 静岡県高齢者福祉研究大会 | 特養 | リーダー 他 | 3 | 静岡県福祉施設協議会 |
| 令和5年10月19日 ～11月8日 | 施設間交流研修 (3日間) | 特養 | 介護職員 | 1 | 静岡県老人施設協議会 |
| 令和5年11月14日 | 健康づくり研修会 (リモート) | 特養 | 栄養士 | 1 | 静岡県給食協会 |
| 令和5年11月28日 | 安全運転法定講習 | ショート | リーダー | 1 | 掛川地区安全運転管理協会 |
| 令和5年11月29日 | 中東遠地区特養職種別研究会 (防災) | 特養 | リーダー | 1 | 中東遠地区特養施設長連絡会 |
| 令和5年12月15日 | 中東遠地区職種別研究会 (施設ケアマネ) | 特養 | ケアマネ | 1 | 中東遠地区施設長連絡会 |
| 令和6年1月25日 ～1月26日 | ユニットリーダー研修 (リモート2日間) | 特養 | リーダー | 1 | 日本ユニットケア推進センター |
| 令和6年2月3日 | 施設代表作業療法士会議 (リモート) | デイ | 機能訓練指導員 | 1 | 静岡県作業療法士会 |
| 令和6年2月6日 | 看護職のためのユニットケア研修 (リモート) | 特養 | 看護職員 | 2 | 一般社団法人 日本ユニットケア推進センター |
| 令和6年2月7日 | 高齢者入所施設職員を対象とした感染症研修会 | 特養 | 主任 | 1 | 静岡県西部保健所 |

| | | | | | |
|-----------|-------------------------|----|------|---|------------|
| 令和6年2月14日 | 静岡 DWAT 災害派遣 (5日間) | 特養 | リーダー | 1 | 静岡県社会福祉協議会 |
| 令和6年2月15日 | 調理技術研修会 | 特養 | 栄養士 | 1 | 静岡県給食協会 |
| 令和6年2月29日 | 介護報酬改定の7大ポイント (リモート) | 特養 | 相談員 | 1 | 第一法規株式会社 |
| 令和6年3月1日 | 給食協会事例研究発表会 | 特養 | 栄養士他 | 2 | 静岡県給食協会 |

2) 施設内研修実績

| 月 日 | 研 修 名 | 部署 | 職種 | 人数 |
|------------|--|---------|--------|----|
| 令和5年7月12日 | 感染症研修①(3苑合同)基本的な感染対策 | 全部署 | 全職種 | 11 |
| 令和5年4月11日 | 身体拘束廃止・虐待防止に係る研修① | 全部署 | 全職種 | 47 |
| 令和5年6月9日 | 事故対策委員会① | 全部署 | 全職種 | 40 |
| 令和5年9月6日 | 身体拘束廃止・虐待防止に係る研修② | 特養、ショート | リーダー以上 | 11 |
| 令和5年9月15日 | 中間管理職の面接技術及びモチベーションアップに関する研修 (キャリア形成学) | 全部署 | リーダー以上 | 17 |
| 令和5年10月11日 | 身体拘束廃止・虐待防止に係る研修③動画研修 | 全部署 | 全職種 | 55 |
| 令和5年10月11日 | 感染症研修② (結核低まん延状態における医療・対策の展望) WEB 研修 | 全部署 | 全職種 | 45 |
| 令和6年1月8日 | 喀痰吸引研修 | 特養 ショート | 介護職員 | 22 |
| 令和6年1月22日 | 事故対策委員会② (高齢者疑似体験研修) | 特養・ショート | 全職種 | 17 |
| 令和6年3月15日 | 嚥下評価研修 | 全部署 | 看護職員等 | 6 |
| 令和6年3月21日 | 褥瘡処置・ポジショニング研修 | 全部署 | 看護職員等 | 7 |
| 令和6年3月23日 | 看取り研修 | 特養 | 全職種 | 31 |

10 給食業務について

シダックスフードサービスとの契約が2年目となり、安心安全でより良い食事提供となるよう協力して給食業務に取り組むことができた。献立については、フェアメニューや旬の食材、要望の多い刺身献立の提供回数を増やし、利用者、職員からも好評を得ている。新型コロナウイルスが5類へと移行したが、以前のような外出が難しい利用者のために、施設内で季節のミニイベントを行い、地元の食材や手作りのおやつを提供し、普段とは違った雰囲気味わって頂けた。設備管理については、設備会社による定期点検を継続しているが、開苑から19年が経過しているため、給食の安定供給には不具合や異常の早期発見が必須となっている。

1) 行事食の実施状況

| 月 | 行事内容 | 月 | 行事内容 |
|----|------------------|-----|----------------------|
| 4月 | オープン記念献立、季節の献立 | 10月 | 収穫祭膳、ラーメンフェア |
| 5月 | 端午の節句献立、北海道フェア | 11月 | 季節の献立、ネギトロ丼 |
| 6月 | 初夏の献立、味噌汁紀行 | 12月 | 開苑記念刺身献立、クリスマス、年越しそば |
| 7月 | 七夕献立、うなぎ飯、唐揚げフェア | 1月 | 正月三が日、七草粥、甘酒 |
| 8月 | カレーフェア | 2月 | 節分献立、バレンタイン、ネギトロ丼 |
| 9月 | 敬老祝い膳、紅白饅頭、秋の味覚 | 3月 | ひな祭り、お彼岸、東北フェア |

2) 衛生管理

検便 (栄養士毎月、職員年2回)、厨房内の消毒、殺虫駆除 (6月・11月) を実施し、衛生管理に努めた。

3) 栄養ケアマネジメント

栄養ケアマネジメントは、入所者の栄養向上のために昨年同様、他職種の協力を得て取り組んだ。

11 地域との交流について

地元ボランティアによる草刈りや赤十字奉仕団による展示イベント、ちはまこども園とのリモート交流事業等、感染リスクの少ない交流事業をおこなった。今年度は、3年振りに国安地区の山車がくにやす苑の駐車場まで来苑し、利用者が大変喜ばれていた。また、小中学校等での福祉講話を延べ7回行い、くにやす苑北側交差点での交通安全街頭指導、静岡県が行う介護の未来ナビゲーター事業に参加した。こうした交流の様子については、Instagram等を活用し情報発信を行った。

令和5年度 事業報告附属明細書 くにやす苑拠点区分

令和5年度 事業報告の内容を補足する重要な事項について
該当事項なし。

令和5年度 小笠老人ホーム拠点区分 事業報告書

1. 令和5年度の総括について

○重点目標について

(1)「入所者の皆さんが、安心して楽しく生活が送れるよう、生活の質を維持向上させる為のサービスを提供する」

入所者に、健康で明るく心豊かな生活を送って頂けるよう、施設の維持管理に努め、安心安全な生活が送れるよう心掛けた。また、12月におこなった入所者に対するアンケートの結果、施設全体の満足度は(満足+やや満足)48%、(普通)46%、(不満+やや不満)6%であった。やや満足以上の満足度は、昨年に比べ6%増加した。9月から、ショッピングと外食ツアー、ボランティアの受け入れを再開し、その影響として全体のサービス内容の満足度が上昇したと思われる。また、食事については昨年より23%の高い上昇率であった。一方で職員の対応満足度では一部、不満度が上昇していた。これについては、来年度の課題として、取り組んでいく。

(2)「支援(介護)の重度化への対応」

支援(介護)の重度化への対応として、介護保険利用前は、生きがいデイサービスを利用し、介護保険申請後は、デイケアやデイサービス、入浴のヘルパー派遣を利用した。

また、毎朝の朝礼時に体操と健康チェック、施設周辺への散歩を行い、健康維持に取り組んだ。なお、散歩については、昨年に引き続き、入所者が歩いた距離を定期的に集計し、頑張って歩いたことが一目で分かるよう、玄関の壁に東海道五十三次宿場地図を掲示し、励みになる工夫を継続した。

2. 利用動向について

4月当初の入所者は42名で、2名入所5名が退所し、39名となった。なお、令和5年度の月平均入所者数は、当初目標の47名を8名下回る39名、平均入所率は78%となり、昨年の月平均入所者数よりも6.5名減少した。

日常生活動作の低下等により、今後の退所が見込まれる入所者もいる。安定経営を図るために、関係3市と地域包括支援センターに働きかけ、入所対象者の掘り起こしの要望や施設の有効活用を図るため、法人単独事業の短期入所などのPRを行ったが、入所率を維持することは出来なかった。

(1) 入退所者状況 定員50名

| 月 | 入 所 | | | 退 所 | | | 入所者数(月末) | | | 利用率(%) |
|----|-----|---|---|-----|---|---|----------|------|------|--------|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | |
| 4 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 19 | 22 | 41 | 82 |
| 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 | 21 | 39 | 78 |
| 6 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 18 | 21 | 39 | 78 |
| 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 | 21 | 39 | 78 |
| 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 | 21 | 39 | 78 |
| 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 18 | 20 | 38 | 76 |
| 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 | 20 | 38 | 76 |
| 11 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 19 | 20 | 39 | 78 |
| 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19 | 20 | 39 | 78 |
| 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19 | 20 | 39 | 78 |
| 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19 | 20 | 39 | 78 |
| 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19 | 20 | 39 | 78 |
| 計 | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 | 5 | 18.5 | 20.5 | 39.0 | 78.0 |

*退所理由 入院2名、自宅復帰0名、他施設3名、死亡0名

(2) 地区別入所者状況 令和6年3月末現在

| 市名 | 男 | 女 | 計 | 比率 (%) |
|------|----|----|----|--------|
| 菊川市 | 5 | 3 | 8 | 20.5 |
| 御前崎市 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 掛川市 | 12 | 15 | 27 | 69.3 |
| 磐田市 | 2 | 0 | 2 | 5.1 |
| 森町 | 0 | 2 | 2 | 5.1 |
| 計 | 19 | 20 | 39 | 100% |

(3) 介護認定の状況 令和6年3月末現在

| 区分 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 計 |
|----|------|------|------|------|------|------|------|----|
| 男 | 1 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 女 | 0 | 0 | 2 | 3 | 1 | 0 | 0 | 6 |
| 計 | 1 | 0 | 2 | 7 | 1 | 0 | 0 | 11 |

(4) 身体障害者手帳・療育手帳取得の状況 令和6年3月末現在

| 手帳区分 | 内容 | 男 | 女 | 計 |
|-------|--------|---|---|----|
| 身体障害者 | 視覚障害 | 0 | 1 | 1 |
| | 聴覚言語障害 | 0 | 1 | 1 |
| | 肢体不自由 | 2 | 3 | 5 |
| | 精神 | 2 | 0 | 2 |
| | 内部障害 | 1 | 0 | 1 |
| 療育 | 療育A | 0 | 1 | 1 |
| | 療育B | 3 | 0 | 3 |
| 計 | | 8 | 6 | 14 |

(5) 短期入所利用状況（入所を前提としたショート利用）

| 項目 | 令和5年度 | (参考 令和4年度) |
|------|-------|------------|
| 利用者数 | 2名 | (3名) |
| 利用日数 | 7日 | (38日) |

3. 職員体制について

○職員配置状況 ※令和6年3月末現在：職員資格 介護福祉士10名 社会福祉主事2名

| | 施設長 | 相談員 | 支援員 | 事務員 | 看護師 | 栄養士 | 夜勤支援 | 宿直 | 嘱託医 | 合計 |
|-------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|----|-----|----|
| 総計 | 1 | 2 | 5 | 2 | 1 | 1 | 3 | 7 | 1 | 23 |
| 常勤 | 1 | 1 | 4 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| 8時間非常勤 (再雇用者含) | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 短時間等 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 7 | 1 | 12 |

4. 行事報告について

今年度は、地域の感染状況の把握に努めながら、感染予防対策を講じ、段階を経ながら行事やボランティア団体の受け入れを再開した。

入所者が楽しみにしている外食ツアーは、貸し切りの対応をすることで再開できたが、いきいき交流会（地域の方との交流会）、園児との交流会は、再開を見合わせた。

| 実施月日 | 行 事 | 内 容 |
|--------|----------|---------------------------------------|
| 4月18日 | 4月誕生会 | 4月誕生者7名の希望献立とカラオケなどでお祝会を行う。 |
| 4月20日 | おやつ作り | 柏餅を作り、おやつ時に食べた。(参加者：入所者10名) |
| 5月16日 | 5月誕生会 | 5月誕生者2名の希望献立とカラオケなどでお祝会を行う。 |
| 5月26日 | 梅の収穫 | ホーム内の梅の木から収穫して、梅ジャムと梅干しにした。48kg |
| 6月13日 | 夜間避難訓練 | 夜間支援員、宿直管理人、日勤職員が参加し、夜間避難訓練を行った。 |
| 6月20日 | 6月誕生会 | 6月誕生者2名の希望献立と催しなどでお祝会を行う。 |
| 7月3日 | 七夕飾り | 七夕飾りを作り、竹に願い事を書いた短冊と一緒に付けた。スイカを飾る。 |
| 7月6日 | 盆供養・法話 | 貞永寺住職によるお盆供養と法話・お念仏を唱えた。 |
| 7月7日 | かき氷喫茶 | おやつにかき氷を作り楽しく食べた。 |
| 7月18日 | 7月誕生会 | 7月誕生者1名の希望献立と、カラオケなどでお祝会を行う。 |
| 7月27日 | 納涼祭 | 施設のみで、昼食を食べながら歌・踊り・余興を楽しんだ。 |
| 8月4日 | かき氷喫茶 | おやつにかき氷を作り楽しく食べた。 |
| 8月15日 | 8月誕生会 | 8月誕生者6名の希望献立と、カラオケ等でお祝会を行う。 |
| 8月30日 | かき氷喫茶 | おやつにかき氷を作り楽しく食べた。 |
| 9月19日 | パンバイキング | 入所者の希望パンや、手作りパンなどでバイキングを行う。 |
| 9月21日 | 彼岸供養・法話 | 貞永寺住職によるお彼岸の供養と法話・お念仏を唱えた。 |
| 9月12日 | 敬老会 | 市長代理と理事長、事務局長が出席し式典を開催。昼食は、お祝い膳を用意した。 |
| 9月28日 | 外食ツアー | 入所者22名と職員4名で「寅や」にて外食ツアーを行った。 |
| 10月17日 | 10月誕生会 | 10月誕生者3名の希望献立と、余興などでお祝会を行う。 |
| 10月20日 | おやつ作り | 施設の畑で採れたじゃが芋を使いじゃが餅を作りおやつ時に食べた。参加11名 |
| 11月8日 | 夜間避難訓練 | 夜間支援員、宿直管理人、日勤職員が参加し、夜間避難訓練を行った。 |
| 11月10日 | コーヒー喫茶 | おやつ時間にコーヒーやミルク、紅茶で喫茶気分を味わう。 |
| 11月15日 | 芋汁会 | 入所者の方と、自然薯をすり鉢でするなどして、皆さんで味わう。 |
| 11月21日 | 11月誕生会 | 11月誕生者5名の希望献立と、カラオケ等でお祝会を行う。 |
| 12月7日 | 忘年会 | 入所者と職員で踊りと歌、余興を行い、お好み握り寿司で楽しい時間を過ごした。 |
| 12月14日 | 外食ツアー | 中華料理店「好」にて入所者21名、職員4名にて昼食時に外食をした。 |
| 12月19日 | 12月誕生会 | 12月誕生者6名の希望献立と、余興等でお祝会を行う。 |
| 1月1日 | 正月祝い膳 | 元旦におせち盛り合わせと雑煮で正月を祝う。 |
| 1月16日 | 1月誕生会 | 1月誕生者6名の希望献立と、カラオケ等でお祝会を行う。 |
| 2月2日 | 節分 | 玄関で年男・年女による豆まきを行い、福を迎え鬼は追い出した。 |
| 2月14日 | お花見(梅) | 入所者18名と職員5名で黒田代官屋敷、田ヶ池を散策した。 |
| 2月22日 | カラオケ会 | 入所者と職員の歌の披露で楽しんだ。 |
| 3月12日 | 彼岸供養・法話 | 貞永寺住職によるお彼岸の供養と法話・お念仏を唱えた。 |
| 3月14日 | 防災・炊出し訓練 | 非常食の期限が間近な、ラーメンの炊出し訓練を行い、昼食時に食した。 |
| 3月19日 | 3月誕生会 | 3月誕生者1名の希望献立と、余興等でお祝会を行う。 |
| 3月21日 | 外食ツアー | 「海鮮亭いっき」にて入所者21名と職員4名で昼食時に外食ツアーを行った。 |
| 3月28日 | おやつ作り | 桜もちを作り、おやつ時に入所者の方で召し上がった。参加者10名 |
| 3月30日 | お花見(桜) | 入所者11名と職員4名で貞永寺、北グラウンド、北公民館を散策した。 |

5. 防災訓練について

職員が少ない日直及び夜勤体制下での火災発生を想定した避難訓練を重点的に実施した。高齢化に伴い、歩行が不安定な入所者が増えているため、少ない職員人数で、どう判断し、行動することが適切であるのか見直しを行った。また、昨年に引き続き、地震発生を想定し、本部及び各編成班の機能が、効果的に発揮することを目的とした訓練を実施した。

地域の協力体制は不可欠であるため、10月と12月に合同の防災訓練を計画したが、感染対策の観点から、地域の方の参加は取り止め、入所者と職員で行った。入所者、職員とも、現在の施設や地域の状況を踏まえ、日頃から「自助」、「共助」、「公助」の連携ができる訓練を目指したい。

| 実施月日 | 訓練種別 | 目的・内容 |
|----------------|-------------------------------|---|
| 4月11日 | 避難誘導訓練 消火栓放水訓練 | 日直体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。また、消火栓の正しい使用方法の確認も行った。 |
| 5月12日 | 情報伝達訓練 | 各職員へ電話による情報伝達訓練を行った。 |
| 5月16日 | 情報伝達訓練 | 各職員へラインによる情報伝達訓練を行った。 |
| 5月18日 | 避難誘導訓練 消火栓放水訓練 | 日直体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。また、消火栓の正しい使用方法の確認も行った。 |
| 5月9日～ 5月15日 | 夜勤職員防災設備の 点検 | 夜勤職員が防災器具の設置状況を確認した。 |
| 6月13日 | 避難誘導訓練 | 夜勤体制下における火災発生を想定し、消火活動・避難誘導訓練を実施した。夜勤支援員及び管理人も参加するよう呼びかけた。 |
| 7月24日 | 避難誘導訓練 | 日勤体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。 |
| 8月8日 | 土砂災害及び風水害 訓練 | 土砂災害及び風水害時に職員が円滑かつ迅速な対応ができ、利用者の安全を確保することを目的に行った。訓練終了後、ストレッチャー及び担架での搬送訓練を行った。 |
| 9月14日 | 地震総合防災訓練 | 南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が発せられたと想定し、災害応急対策訓練を実施した。終了後、職員の本部立ち上げ訓練を実施し、担当班で昨年度からの課題や新たな検討課題を協議した。 |
| 10月5日 | 避難誘導訓練（夜間） | 夜間帯での避難訓練を実施することで、少ない職員体制での動きの基本を確認し、入所者の安全を確保することを目的に行った。 |
| 11月14日 | 避難誘導訓練 非常通報装置訓練 | 日直体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。また、実際に消防署に火災の通報をし、消防署からの返信に応える訓練も実施した。 |
| 12月21日 | 地震防災訓練 | 日勤体制下における突発地震発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。また、入所者を交え、発電機・投光器の使い方のデモンストレーションを行った。 |
| 1月18日 | 職員本部立ち上げ訓 練 | 職員は本部を立ち上げ、担当班に分かれ、9月協議の課題検討や新たな検討課題を話し合った。 |
| 2月13日 | 地震防災訓練 起震者の体験と吹き 出し訓練 | 消防署に起震車体験を依頼。消防署の指導のもと、入所者・職員が起震車を体験し地震の恐さを知り、実際の地震に備える。 |
| 3月14日 | 避難誘導訓練 非常通報装置訓練 消火器消火訓練 | 日勤体制下における火災発生を想定し、通報・消火活動と避難誘導訓練を実施し、消火栓の正しい使用方法の確認をした。また、実際に消防署に火災の通報をし、消防署からの返信に応える訓練も実施した。 |

6. ボランティアの状況について

| 実=実人数 延=延べ人数 団体 () =団体数 | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|------------|----------|------------|----------|------------|-----------|------------|
| 月 | 4月 | | 5月 | | 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | |
| | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 |
| 個人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 団体 | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 14 (3) | 14 (3) |
| 月 | 10月 | | 11月 | | 12月 | | 1月 | | 2月 | | 3月 | |
| | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 | 実 | 延 |
| 個人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 団体 | 33 (4) | 43 (7) | 7 (2) | 50 (9) | 10 (1) | 60 (10) | 9 (2) | 69 (12) | 3 (1) | 72 (13) | 15 (3) | 87 (16) |

7. 健康管理について

入所者の身体能力に応じ、自立した生活ができ、健康が維持できるように、朝礼後に朝の体操を実施した。また、真夏や真冬、梅雨等で散歩ができない時期には、ビデオ体操を日に2回行った。散歩は施設周りや施設を出た外周りのコースを設け、各自が体調に応じて参加した。

入所者の高齢化に伴い、筋力低下、認知力、視力の低下が見られ、昨年度と同様に転倒者が多くなっており、転倒事故が40件起きている。同じ入所者が何度も転倒している。内訳は、6回転倒した方2名、4回転倒した方1名である。他は1回転倒であった。転倒により骨折した入所者は6名であり、うち4名が大腿骨頸部骨折、2名が腰椎圧迫骨折となっている。転倒した場所は風呂場、集会室、トイレ、廊下、居室、物干し場、食堂、洗面所であった。

転倒以外の事故では、誤嚥が2件あり、2件とも同じ入所者で、嚥下機能の衰えによるものであった。また、無断外出が1件あり、自己の欲求が満たされない事によるものだが、個々の対応が難しく、今後も対応の仕方などが課題となる。今後も体操や散歩を継続し、レクリエーション活動にも積極的に参加するよう声掛けを行い、体力維持を図っていく。

入所者の多様化に伴い、精神疾患を患い精神科や嘱託医に通院している入所者が10名いる。内服で落ち着くときもあれば、多動多弁で被害妄想が強く不穏になり、周りの入所者に迷惑をかけてしまうときもある。定期的に精神科医に相談しながら対応しているが、対応が難しいケースについては定期受診を待たず早めに受診を行った。当施設で対応が難しい状況となり、他の施設へ移る事例もあった。

令和5年12月24日から令和6年1月4日まで新型コロナウイルスに1名が感染。(デイサービスにて感染) 隔離期間中は感染者以外の入所者も居室で4日間行動制限した。令和4年度のコロナ感染の際の対応を反省し、隔離期間中も筋力低下をしないように、感染者以外は時間を分けて施設周りのみ散歩を行った。今年度は1名のみで収束し、感染拡大を防ぐことが出来た。

○定期健診結果について

| | 異常なし | 心配なし | 経過観察 | 治療継続 | 要精査 | 要治療 | 合計 |
|---------------|------|------|------|------|-----|-----|-----|
| 1回目 令和5年8月24日 | 1名 | 13名 | 19名 | 0名 | 4名 | 0名 | 37名 |
| 2回目 令和6年2月15日 | 3名 | 6名 | 27名 | 0名 | 3名 | 0名 | 39名 |

(注) 1回目の定期健診は、入所者39名中、2名が大腿骨骨折にて入院中の為、37名が行った。健診結果は、要精査の方が4名あり、2名は胸部レントゲン異常にて総合病院で検査し、経過観察。

1名は胸水にて嘱託医診察し、内服治療。1名は貧血にて嘱託医経過観察中。

2回目の健診は、入所者39名が行った。健診結果は、要精査の方が3名あり、1名は貧血にて専門病院受診、他2名は嘱託医経過観察中。他は心配なしや経過観察者が大半を占めた。

また、今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されたため、検温、マスク、手洗い、手指消毒の励行や環境整備として居室の換気を行うと共に、ロビーや集会室では空気清浄機を設置し、適度な温度や湿度調整を図り、快適な居住環境に努めた。

(1) 入所者の主な健康管理について

- ①定期健診 第1回目 令和5年8月24日 胸部レントゲン、採血、検尿
入所者39名中37名実施(2名入院中)
第2回目 令和6年2月15日 採血、検尿
入所者39名実施
- ②歯科検診、受診 令和5年4月1日～令和6年3月31日の間に30名が受診した。
検診、受診は、第2・4木曜日に行った。
入所者39名中歯科治療者は17名であった。
問題なし11名、治療した方が良い方(急ぎでない方)1名
治療希望者：往診14名、牧野歯科通院3名
新規義歯・部分入れ歯作製3名

※今年度も義歯に不具合のある入所者が多数を占めた。歯科検診、治療を行うことにより、義歯が落ちることなく、装着できるようになり、「食事が食べやすくなり美味しくなった。」「かみしめられるようになった。」「話しやすくなった。」等の効果が見受けられた。その一方で、長年義歯を使用していない入所者への義歯の作成は、義歯が合わないと訴えが続き、調整や使い慣れるまでに時間がかかった。また、歯科医が義歯の作製を勧めても、治療を拒まれ長年義歯なしでいる入所者もある。一概に義歯を作製するのが良いわけではなく、本人の意向を踏まえた対応が必要である。虫歯の治療者も多く、治療に3ヶ月～1年以上を要している方もいたが、今年度ようやく治療を終えることができた。

- ③インフルエンザ予防接種 令和5年11月16日実施
入所者38名中34名実施(1名拒否、3名入院中)
上記で接種できなかつた方1名：入院中病院で接種、1名：令和5年11月28日接種
- ④高齢者肺炎球菌ワクチン接種 令和5年9月21日 4名実施
- ⑤新型コロナウイルスワクチン接種 6回目 令和5年6月1日 33名(1名拒否、2名入院中、1名体調不良)
7回目 令和5年10月19日 35名(1名拒否、1名入院中、1名手術前にて接種不可)
上記で接種できなかつた方：
6回目 令和5年6月8日 3名、令和5年7月3日 1名、入院中病院で接種 1名
7回目 令和5年12月8日 1名

(2) 日常検診 血圧測定・体重測定は月1回、身長測定は年1回実施した。

(3) 菅沼和人嘱託医(菅沼医院)による診察

- ①来診日 毎月第3木曜日 午後3時から診察(体調不良者診察、健康管理指導)
- ②通院日 毎月第2・4火曜日 午後1時30分から診察

8. 定例会議について

| 会議名 | 開催時期 | 会議名 | 開催時期 |
|-----------|------|-----------|-------------------|
| 職員会議 | 月1回 | わかば会役員会 | 月1回 |
| ケア部会 | 月1回 | 感染対策委員会 | 年4回(5, 8, 11, 2月) |
| 調理部会 | 月1回 | 組合連絡会 | 月1回 |
| わかば会(入所者) | 月1回 | 組合議会・監査 | 年各2回(7, 8, 3月) |
| 事故防止委員会 | 月1回 | 身体拘束廃止委員会 | 年4回(4, 7, 10, 1月) |

9. 主な職員研修について

(1) 施設（法人）外研修

| 月 日 | 研 修 名 | 研修場所 | 主 催 者 | 参 加 者 |
|--------|------------------------------------|--------------|------------------------|--------|
| 6月15日 | 福祉職が知っておきたいコンプライアンス | シズウェル | 静岡県社会福祉協議会 | 支援員 長嶋 |
| 6月19日 | 衛生推進者講習 | 静基連会館 | 静岡県労働基準協会連合会 | 施設長 溝口 |
| 6月26日 | 令和5年度実態調査、情報交換 | 総合社会福祉会館 | 静岡県老人福祉施設協議会・養護委員会 | 施設長 溝口 |
| 7月12日 | 基本的な感染対策 | くにやす苑 | 中東遠医療センター感染管理認定看護師 | 看護師 杉山 |
| 7月13日 | 基本的な感染対策 | くにやす苑 | 中東遠医療センター感染管理認定看護師 | 支援員 荒木 |
| 7月15日 | 人生最後の過ごし方、在宅での終末期について | 大東支所市民交流センター | 訪問看護ステーション大東 | 施設長 溝口 |
| 7月21日 | 生活相談員研修会 | 養護老人ホーム 慈恵園 | 中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会 | 相談員 岡本 |
| 9月11日 | 感染症講座中級編 | リモート研修 | 静岡済生会病院 TQRM センター感染対策室 | 看護師 杉山 |
| 9月13日 | 栄養士研修会 | 西部健康福祉センター | 給食協会掛川支部 | 栄養士 鈴木 |
| 9月27日 | 看護師研修会 | リモート研修 | 中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会 | 看護師 杉山 |
| 10月18日 | 高齢者の転倒予防講座 | シズウェル | 静岡県社会福祉協議会 | 支援員 瀧井 |
| 11月9日 | 全職員向け基礎研修・ケア実践者向け研修 | アクトシティ浜松 | ふじのくに感染管理センター | 支援員 新保 |
| 11月21日 | 支援員研修会 | 静岡老人ホーム | 中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会 | 支援員 荒木 |
| 11月22日 | 感染防止のためのリーダー育成研修 | 西之島の郷 | 公益社団法人静岡県病院協会 | 支援員 瀧井 |
| 11月27日 | 言いにくいことを伝える技術～アサーティブコミュニケーションを学び合う | リモート研修 | 静岡県社会福祉協議会 | 支援員 熊切 |
| 12月20日 | 認知症の人のコミュニケーションとレク作りポイント講座 | リモート研修 | 静岡県社会福祉協議会 | 支援員 新保 |
| 12月13日 | 介護施設・事務所における高齢者虐待の予防と対応 | リモート研修 | 静岡県社会福祉協議会 | 相談員 岡本 |
| 12月20日 | 介護支援専門員実務研修 | リモート研修 | 静岡県介護支援専門員協会 | 支援員 瀧井 |
| 12月26日 | 介護支援専門員実務研修 | リモート研修 | 静岡県介護支援専門員協会 | 支援員 瀧井 |
| 1月11日 | 介護支援専門員実務研修 | リモート研修 | 静岡県介護支援専門員協会 | 支援員 瀧井 |
| 1月16日 | 介護支援専門員実務研修 | リモート研修 | 静岡県介護支援専門員協会 | 支援員 瀧井 |
| 1月23日 | 介護支援専門員実務研修 | リモート研修 | 静岡県介護支援専門員協会 | 支援員 瀧井 |
| 1月26日 | 介護支援専門員実務研修 | プラザけやき | 静岡県介護支援専門員協会 | 支援員 瀧井 |

| | | | | |
|-------|----------------|----------|----------------|--------|
| 1月30日 | 介護支援専門員実務研修 | プラザけやき | 静岡県介護支援専門員協会 | 支援員 瀧井 |
| 2月8日 | 介護支援専門員実務研修 | プラザけやき | 静岡県介護支援専門員協会 | 支援員 瀧井 |
| 2月27日 | 介護支援専門員実務研修 | リモート研修 | 静岡県介護支援専門員協会 | 支援員 瀧井 |
| 3月5日 | 介護支援専門員実務研修 | リモート研修 | 静岡県介護支援専門員協会 | 支援員 瀧井 |
| 3月13日 | 介護支援専門員実務研修 | リモート研修 | 静岡県介護支援専門員協会 | 支援員 瀧井 |
| 3月21日 | 介護支援専門員実務研修 | リモート研修 | 静岡県介護支援専門員協会 | 支援員 瀧井 |
| 1月15日 | 社会福祉施設・事業所のBCP | 動画配信 | 静岡県社会福祉協議会 | 相談員 岡本 |
| 3月6日 | 人間学に基づく認知症介護講座 | 動画配信 | 静岡県社会福祉人材センター | 相談員 柴田 |
| 3月12日 | 発達障害研修 | 動画配信 | 静岡市発達障害センターきらり | 栄養士 鈴木 |
| 3月12日 | 施設長研修 | アクトシティ浜松 | 静岡県老人福祉協議会西部支部 | 施設長 溝口 |
| 3月15日 | 嚥下評価研修 | くにやす苑 | くにやす苑 | 支援員 新保 |
| 3月15日 | 嚥下評価研修 | くにやす苑 | くにやす苑 | 看護師 杉山 |

10. 給食業務について

(1) 行事食の実施状況

- ①令和5年度4月1日からの給食業務委託はプロポーサルにより、富士産業株式会社に決定した。
- ②毎月の誕生会は、誕生者から食事の希望を聞き、喜ばれる献立作りと、配膳方法を工夫し、お祝い膳らしく提供できた。
- ③コロナ禍で、食材の調達が困難なことや流通不良などによる食材高騰に対応する為、代替品として品質の優れた冷凍野菜を取り入れるなどして、食べやすく美味しい食事を提供した。
- ④小笠老人ホーム敷地内の畑で採れた新鮮で安心安全な野菜を使用することが出来た。
- ⑤年3回入所者と一緒に行う手作りおやつのお祝い献立は、支援員と連携して考えた。

| 月 | 行事 | 献立表 |
|----|-----|--|
| 4月 | 誕生会 | サラダ寿司・天ぷら盛合せ(きす、かきあげ、南瓜) さつま芋ミルク煮・すまし汁・桜もち・乾杯ドリンク・お茶 |
| 5月 | 誕生会 | カツカレー付け合わせ・菜の花ミモザサラダ・すまし汁・フルーツ牛乳羹・乾杯ドリンク・お茶 |
| 6月 | 誕生会 | お桜ごはん・かつおの刺身・茶碗蒸し・炊合わせ・酢の物・すまし汁・カットケーキ・お祝いドリンク・お茶 |
| 7月 | 誕生会 | うなぎ丼・だし巻き卵・すまし汁・オクラ和え・漬物・ロールケーキ・お祝いドリンク・お茶 |
| | 納涼祭 | 唐揚げ・稲荷寿司・焼きそば・ミニ赤飯握り・皮付きポテト・水餃子・スイカ・ぶどう・選べるジュース・お茶 |
| 8月 | 誕生会 | 海老天丼・照り焼きサラダ・漬物盛合せ・赤だしみそ汁・手作りシフォンケーキ・巨峰・乾杯ドリンク・お茶 |
| 9月 | 敬老会 | 弁当箱：赤飯・刺身・炊合わせ・酢の物・漬物 すまし汁・果物(メロン、梨)・お祝い菓子・乾杯ドリンク・お茶 |

| | | |
|-----|---------|--|
| | お楽しみランチ | ツナロール・玉子ロール・ナポリタンロール・コーンスープ・果物（バナナ・梨） ミートパン・焼きそばパン・ソーセージパン・ピザパン 手作りパン：あんチーズ・シナモンロール・レーズンくるみ・チョコチップ・ジャムパン・牛乳・コーヒー・カフェオレ【パンバイキング】 |
| 10月 | 誕生会 | ご飯・餃子・漬けマグロ・生野菜サラダ・帆立のスープ・手作りロールケーキ・乾杯ドリンク・お茶 |
| 11月 | 誕生会 | 弁当箱：稲荷とまぐろ握り・天ぷら盛合せ・白和え・甘酢生姜・お吸い物・手作りモンブラン・乾杯ドリンク・お茶 |
| 12月 | 誕生会 | 大きいエビフライ・まぐろの小付け・かぶの漬物・青さのみそ汁・カットケーキ・乾杯ドリンク・お茶 |
| | 忘年会 | お好み握り寿司（注文をバイキング形式で）豚汁・デザート盛合せ（いちご、キウイ、シュークリーム・カフェオレムース・乾杯ドリンク・お茶 |
| 1月 | 誕生会 | 鉄火丼・おでん・茶碗蒸し・ねぎぬた・ストロベリーパフェ・乾杯ドリンク・お茶 |
| | 元旦祝い膳 | おせち盛合せ（伊達巻・信田巻き・祝いかまぼこ・ボイルえび・数の子・栗きんとん・カニ棒・わさび漬）雑煮・みかん |
| 2月 | 誕生会 | 天井・鯛のカルパッチョ・玉子豆腐きのこあんかけ・そば汁・法多山の厄除け団子・乾杯ドリンク・お茶 |
| 3月 | 誕生会 | ご飯・刺身盛合せ（まぐろ・サーモン・鯛）すき焼き風煮・えびとえんどうの汁物・カステラ・乾杯ドリンク・お茶 |

（2）衛生管理

【保菌検査】保菌検査を栄養士は、毎月実施した。なお、6月から9月までの食中毒多発期間の4ヶ月間は、月2回実施した。

看護師、介護職員は、4月、7月、10月、1月の4回実施し、夜間支援員、宿直管理人は、5月、8月、11月、2月の4回実施した。

（3）栄養ケア・マネジメント

- ①日常の摂取状況、血液検査（年2回）、体重（毎月）・身長（2回/年）から割り出すBMI（体格指数）の状況から、支援員、看護師、相談員、栄養士の4者で、食事調整を行った。
- ②適切な栄養ケア・マネジメントにより、入所者個々（療養食含む）の健康管理を行った。
- ③入所者に係わる必要な情報を給食委託業者に伝え、個々の状態を理解して頂き、安全で美味しい食事の提供に努めた。

（4）その他

- ①感染症予防の対策として、職員に食中毒・感染症等発生時の対処の仕方を指導した。
また、給食業務委託業者調理員の保菌検査や衛生研修状況を確認した。
- ②毎月1回調理部会を開催し、課題解消を目的とした情報交換等を行った。
- ③毎月の献立・食材料・栄養価の確認を行った。
- ④保存食の検品は、給食業者と漏れないように、お互いにチェックを行い、記録に残した。
- ⑤温かいものを温かいうちに摂取して頂く為に、ご飯と主菜の配膳方法を検討し、なるべく喫食間際の配膳を行うようにした。
- ⑥衛生管理の見直しもかね、食品庫の在庫管理と清掃を行った。
- ⑦災害時の対応に困らない様、非常食確認、在庫管理、非常食庫の清掃を行った。
- ⑧R6年度給食マニュアルの検討を行った。

11. 施設整備（修繕）について

組合予算も活用して、施設整備（修繕）や備品購入を実施した。

| 区分 | No | 主 要 な 項 目 | 目 的 | 法人・組合の別 |
|--------------|----|--------------------------|------|---------|
| 施設整備 （修繕） | 1 | 居室3部屋（11.12.21号室）空調機取替工事 | 環境改善 | 組 合 |
| | 2 | 照明器具LED工事 | 環境改善 | 組 合 |
| | 3 | 脱衣室床張り替え工事 | 事故対策 | 組 合 |
| | 4 | 食堂空調機更新工事 | 老朽化 | 組 合 |
| | 5 | 給水ポンプユニット交換工事 | 老朽化 | 組 合 |
| | 6 | 玄関前アスファルト補修工事 | 環境改善 | 組 合 |
| | 7 | アコーディオンカーテン取り換え | 老朽化 | 法 人 |
| | 8 | 網戸修繕 | 環境改善 | 法 人 |
| | 9 | ロビー、床改修 | 環境改善 | 法 人 |
| | 10 | トイレ換気扇交換 | 老朽化 | 法 人 |
| 備品購入 | 1 | 自走式草刈り機 | 事故対策 | 組 合 |
| | 2 | 除湿器 | 環境改善 | 法 人 |

令和5年度 事業報告附属明細書 小笠老人ホーム拠点区分

令和5年度 事業報告の内容を補足する重要な事項について
該当事項なし。

